

ポータブル メモリーレコーダー

取扱説明書

PMW-RX50

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよく読みのうえ、
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

XDCM **SXS** **HDMI**

MPEG HD422



XAVC

目次

概要

各部の名称	6
前面	6
後面	7
上面パネル	7
オーディオ入力ボックス（付属）	8
赤外線リモートコマンダー（付属）	8
サイドスパーサー（付属）	9
画面表示	10

準備

電源	12
バッテリーパックを使う	12
AC 電源を使う（DC IN 電源）	13
電源を入れる／切る	13
時計を合わせる	13
SxS メモリーカードを使う	14
他のメディアを使う	16
XQD メモリーカード	16
SD カード	17
オーディオ入力ボックスを取り外す／取り付ける	18
オーディオ入力ボックスを取り外す	18
オーディオ入力ボックスを取り付ける	19
USB ワイヤレス LAN モジュール IFU-WLM3 で本機とデバイス をワイヤレス LAN 接続する	20
IFU-WLM3 を取り付ける	20
IFU-WLM3 を使ってワイヤレス LAN 接続する	20
Web メニューを使用する	22
プランニングメタデータを送受信する	22
本機をリモート操作する	23
ワイヤレスアダプター CBK-WA100 で本機とデバイスを ワイヤレス LAN 接続する	24
CBK-WA100 を取り付ける	24
CBK-WA100 でワイヤレス LAN 接続する	26
プロキシファイル（低解像度）を記録する	26
ワイヤレス LAN 経由でファイルを転送する	26
ワイヤレス LAN 経由でモニタリングする	26
ソニーの QoS 技術を用いた高品質なストリーミング	26
「Content Browser Mobile」アプリケーションを使用する	26
対応デバイスについて	27

記録

基本設定を変更する	28
入力信号を選択する.....	28
ビデオフォーマット.....	28
タイムデータ.....	30
送出モードを設定する.....	30
記録する	31
便利な機能を使う	33
カラーバー／基準音声信号.....	33
ショットマーク [UDF] [exFAT] [FAT/HD].....	33
OK/NG/KP フラグ [UDF] [exFAT].....	33
OK マーク [FAT/HD].....	34
アサインابلボタン.....	34
クリップコンティニューアスレック [UDF] [exFAT].....	34
ループ記録 [UDF] [exFAT].....	35
2 スロット同時記録 [UDF/HD] [exFAT/HD].....	36
クリップの削除.....	36
設定データの保存と呼び出し.....	37
プランニングメタデータ.....	37

再生

サムネイル画面	42
サムネイル画面の構成.....	42
サムネイル画面の種類を変更する.....	43
クリップの再生	44
選択したクリップ以降のクリップを連続再生する.....	44
イン点ーアウト点間を再生する.....	45
クリップを繰り返し再生する.....	46
音声を聞く.....	46
頭出しする.....	46
クリップ操作	47
クリップ操作メニュー構成.....	47
クリップ操作メニューの基本操作.....	47
クリップの詳細情報を表示する.....	49
OK/NG/KP フラグ [UDF] [exFAT].....	50
OK マーク [FAT/HD].....	50
クリップのコピー.....	50
クリップの削除.....	51
クリップエクスパンド画面.....	51
ショットマーク画面 [UDF] [exFAT] [FAT/HD].....	52
クリップの代表画を変更する [UDF] [exFAT] [FAT/HD].....	53
クリップを分割する [FAT/HD].....	53

ステータス画面

ステータス画面を表示する	55
オーディオステータス画面	55
ビデオステータス画面	55
ボタン／リモートステータス画面	56
バッテリー／メディアステータス画面	56

メニュー表示と詳細設定

セットアップメニューの構成と階層	58
セットアップメニューの階層	58
セットアップメニューの基本操作	59
セットアップメニュー一覧	60
[AUDIO SET] メニュー	60
[VIDEO SET] メニュー	62
[LCD SET] メニュー	65
[TC/UB SET] メニュー	66
[OTHERS] メニュー	67

外部機器を接続する

外部モニターやカムコーダーなどを接続する	79
オーディオ機器を接続する	80
コンピューターを接続する	81
i.LINK で接続する	82
本機の画像を外部機器で記録する [FAT]	82
ノンリニア編集する [FAT]	82
外部入力信号を記録または SDI 出力する	83
MXF DV で記録する／MXF DV クリップを再生する [UDF]	83
USB メディアを接続する	84
本機で使用可能な USB メディア	84
クリップをコピーする	85
USB メディアのサムネイル画面を表示する	85

付録

使用上のご注意	87
記録ビデオフォーマット（[Rec Format]）	89
出力のフォーマットと制限	91
バックアップ電池の交換	99
トラブル時の対処	100
ライセンスについて	105

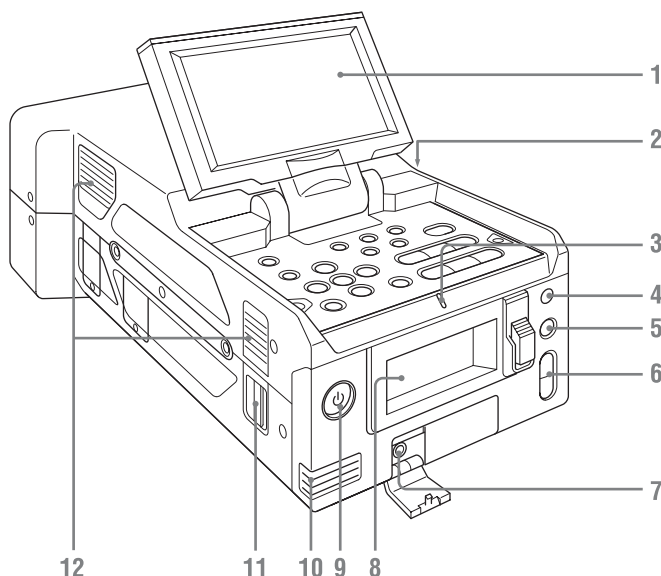
MPEG-4 AVC Patent Portfolio License について	105
ビットマップフォントについて	105
GPL 適用ソフトウェアの入手について	105
OpenSSL について	105
JQuery,Sizzle.js について	108
保証書とアフターサービス	109
ソフトウェアのダウンロードについて	109
主な仕様	110

概要

各部の名称

◆それぞれの機能・使いかたについて詳しくは、() 内のページをご覧ください。

前面



◆上記は、オーディオ入力ボックスを取り外したときの図です。オーディオ入力ボックスの各部については、「オーディオ入力ボックス（付属）」(8ページ)をご覧ください。

1. LCDモニター

LCDモニターを起こした状態で時計回りに180度、反時計回りに90度回転することができます。画面を上にしたまま本体上面に格納することもできます。

LCDモニターを回転する場合は、手前に少し傾けた状態（約80度）で回転させてください。

2. 排気口

排気口をふさがないでください。

3. TALLY（タリー）ランプ

4. 赤外線リモコン受光部

5. SLOT SELECTボタン

6. VOLUME（音量調節）スイッチ

7. ヘッドホン端子

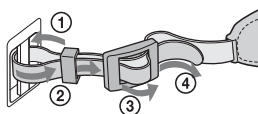
8. メモリーカードスロット部（14ページ）

9. 電源ボタン／ランプ（13ページ）

10. 内蔵スピーカー

11. ショルダーベルト取り付け部

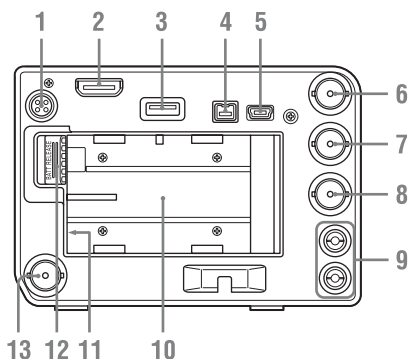
付属のショルダーベルトを図のように取り付けます。



12. 吸気口

吸気口をふさがないでください。

後面



1. DC OUT端子 (4ピン) (CBK-WA100専用) (25ページ)

ご注意

バッテリー駆動時は、バッテリーの電圧で出力されます。

2. HDMI OUT端子 (79ページ)
3. 外部機器接続端子

「ワイヤレスアダプター CBK-WA100 (別売)、USBワイヤレスLANモジュールIFU-WLM3 (別売)、またはUSBメモリーを接続します。

CBK-WA100/IFU-WLM3の接続時：本機とデバイスをワイヤレスLAN接続（無線接続）できます。

USBメモリーの接続時：以下のデータを記録、保存、呼び出しできます。

- プランニングメタデータ (37ページ参照)

ご注意

この端子は、CBK-WA100またはIFU-WLM3やUSBメモリー、USBメディアの接続に使用してください。USBハブなど、他の機器を接続して使用することはできません。

- ◆ワイヤレスLAN接続について詳しくは、「USBワイヤレスLANモジュールIFU-WLM3で本機とデバイスをワイヤレスLAN接続する」(20ページ) および「ワイヤレスアダプター CBK-WA100で本機とデバイスをワイヤレスLAN接続する」(24ページ) をご覧ください。

4. i.LINK (HDTV) 端子 (4ピン、IEEE1394準拠S400) (79ページ)

5. PC接続端子

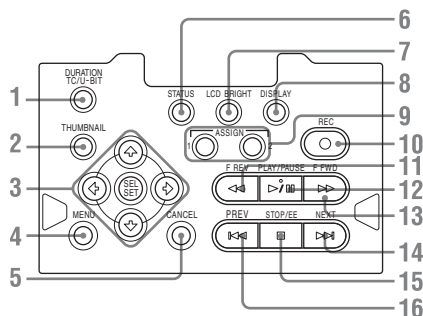
本機をUSB接続モードに切り換えて、コンピュータの外部記憶装置として使用するための端子です。

6. SDI IN (シリアルデジタル入力) 端子 (BNC型) (80ページ)
7. SDI OUT (シリアルデジタル出力) 端子1 (BNC型) (79ページ)
8. VIDEO OUT (アナログビデオ出力) 端子 (BNC型) (79ページ)
9. AUDIO OUT (アナログオーディオ出力) 端子 (CH-1/CH-2) (79ページ)
10. バッテリーパック装着部 (12ページ)
11. DC IN (DC電源入力) 端子 (13ページ)
12. BATT RELEASE (バッテリー取り出し) ボタン (12ページ)
13. SDI OUT (シリアルデジタル出力) 端子2 (BNC型) (79ページ)

ご注意

DC OUT端子と外部機器接続端子から外部機器への電源供給は、どちらか一方になります。同時に電源供給することはできません。

上面パネル



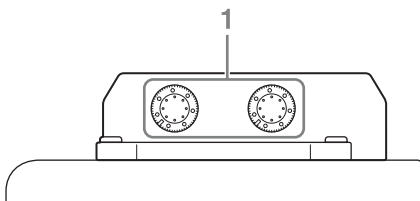
1. DURATION/TC/U-BIT (タイムデータ切り換え) ボタン (30ページ)
2. THUMBNAIL (サムネイル表示) ボタン (42ページ)
3. 上/下/左/右ボタン、SEL/SET (選択/確定) ボタン (59ページ)
再生／一時停止中に左/右ボタンを押すと、スロー再生を行います。

4. **MENU** (メニュー表示ON/OFF) ボタン (59ページ)
5. **CANCEL** (キャンセル) ボタン (59ページ)
6. **STATUS** (ステータス表示切り換え) ボタン (55ページ)
ASSIGN 3 (アサインابل3) ボタンとしても使用できます。(34ページ)
7. **LCD BRIGHT** (LCDモニター明るさ調整) ボタン
ASSIGN 4 (アサインابل4) ボタンとしても使用できます。(34ページ)
8. **DISPLAY** (画面表示) ボタン (10ページ)
ASSIGN 5 (アサインابل5) ボタンとしても使用できます。(34ページ)
9. **ASSIGN 1/2** (アサインابل1/2) ボタン (34ページ)
10. **REC** (記録) ボタン (31ページ)
11. **F REV** (逆高速再生) ボタン (46ページ)
12. **PLAY/PAUSE** (再生／一時停止) ボタン (44ページ)
13. **F FWD** (高速再生) ボタン (46ページ)
14. **NEXT** (順方向クリップジャンプ) ボタン (46ページ)
15. **STOP/EE** (停止) ボタン (31、42ページ)
16. **PREV** (逆方向クリップジャンプ) ボタン (46ページ)

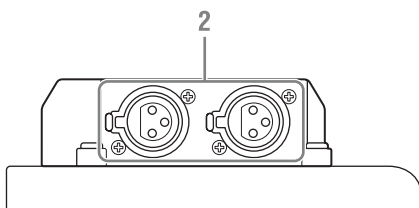
オーディオ入力ボックス (付属)

- ◆オーディオ入力ボックスは着脱式です。
「オーディオ入力ボックスを取り外す／取り付ける」(18ページ) をご覧ください。

前面



後面

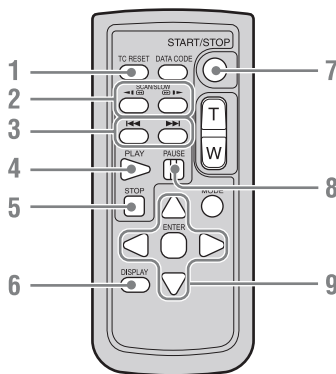


1. **AUDIO LEVEL CH-1/CH-2** (オーディオレベルCH-1/CH-2) 調整つまみ (80ページ)
2. **AUDIO IN CH-1/CH-2** (オーディオ入力チャンネル1／チャンネル2) 端子 (XLR型、3ピン) (80ページ)

- ◆AUDIO IN端子から音声信号を入力する場合は、[AUDIO SET] メニューの [Audio Input] (60ページ) の設定が必要です。

赤外線リモートコマンダー (付属)

初めて使用するときは、絶縁シートを引き抜いてください。



1. **TC RESET** (タイムコードリセット) ボタン

2. SCAN/SLOW ◀▶ (逆高速再生／高速再生) ボタン
3. ◀▶▶▶ (順方向／逆方向クリップジャンプ) ボタン
4. PLAY (再生) ボタン
5. STOP (停止) ボタン
6. DISPLAY (画面表示) ボタン
7. START/STOP (記録開始／一時停止) ボタン
8. PAUSE (一時停止) ボタン
9. ◀▶/▲/▼/ENTER ボタン

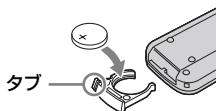
ご注意

- DATA CODE、T/W (ズーム)、MODE ボタンは、本機では使用しません。
- 誤動作を防ぐため、本体の電源を切るとリモコン操作が自動的に無効に戻るよう設定されています。電源を入れることに有効に切り換えて使用してください。

リモコンの電池を交換する

市販のリチウム電池CR2025を使用します。CR2025 以外の電池は使用しないでください。

- 1 タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
- 2 +面を上にして新しい電池を入れる。
- 3 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。



警告

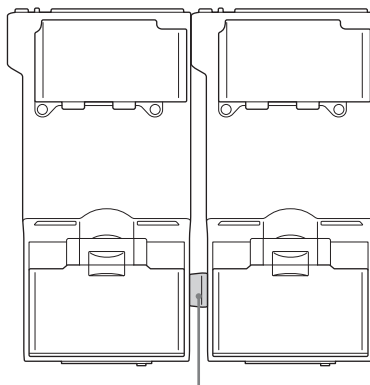
直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

ご注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。
必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

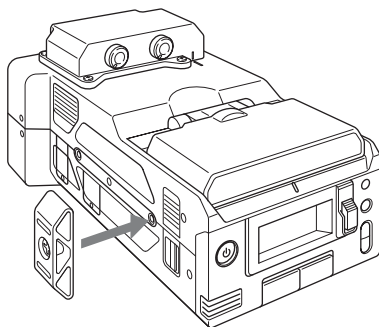
サイドスペーサー (付属)

本機を並べて使用するとき、付属のサイドスペーサーを左側面に取り付けると、平行に置くことができます。



サイドスペーサー

図のように、サイドスペーサーを本機の左側面に取り付けます。

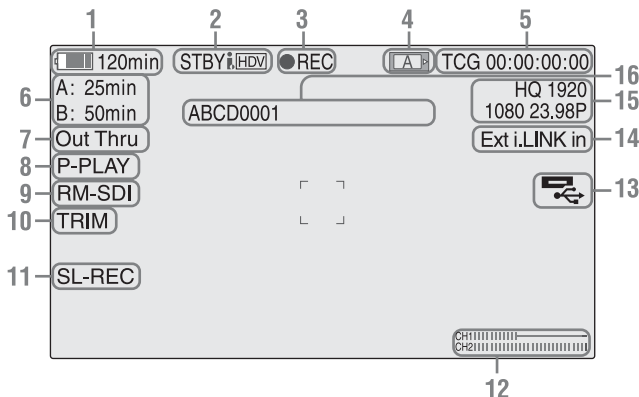


画面表示

記録中/記録待機中にDISPLAYボタンを押すと、LCDモニターの映像に本機の状態や設定が重ねて表示されます。

名称の注釈

[M] : [LCD SET] メニューの [Display On/Off] で個別に表示/非表示を選択できます (65 ページ)。



1. バッテリー残量/DC IN電圧表示 [M] (12 ページ)

2. i.LINK状態表示 (82ページ)

i.LINK接続されている場合のみ、接続機器の状態を表示します。

3. 特殊記録/動作状態表示

●REC	録画中
STBY	録画待機中
CONT	クリップコンティニユアス録画待機中
点灯	クリップコンティニユアスレック時にクリップ継続中の場合
点滅	クリップコンティニユアスレック時に継続しているクリップがない場合
●SML REC	2スロット同時録画中
SML STBY	2スロット同時録画待機中

4. メディア状態表示

有効なメモリーカードスロットを表示します。

5. タイムデータ表示 [M] (30ページ)

6. メディア残量表示 [M] (15ページ)

7. 送出モード表示 (30ページ)

送出モードを [THROUGH] に設定したときは「Out Thru」を、[AUTO] に設定したときは「Out Auto」を表示します。

8. イン点アウト点間再生表示 (45ページ)

イン点ーアウト点間再生をしているときに「P-PLAY」を表示します。

9. 同期記録表示 [M]

[VIDEO SET] メニューの [SDI Rec Control] が [On] のとき「RM-SDI」を表示します。
CBK-WA100使用時、RECトリガー信号を出力しているとき「Rec2」を表示します。

10. トリム表示 (45ページ)

11. ループ記録表示 (35ページ)

ループ記録を行っているときに表示します。

12. オーディオレベルメーター [M]

13. USBメディアアイコン表示 (84ページ) またはワイヤレスアダプター状態表示 (24ページ)

有効なUSBメディア (USB接続のHDD、USBメモリーなど) が接続されているときにアイコンを表示します。メディアがプロテクトされている場合は、 マークを表示します。

ワイヤレスアダプター CBK-WA100を接続している場合は、下記の「ワイヤレスアダプター状態表示」に示す内容が表示されます。

14. 入力信号表示

[VIDEO SET] メニューの [Input Source Select] で選択した入力ソースから信号が入力されているときに表示する。

Ext SDI in	SDI IN端子からの入力
Ext i.LINK in	i.LINK端子からのHDD/ DVCAM入力
SG	カラーバー出力

ご注意

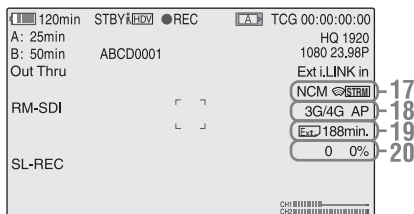
表示が点滅している場合は、[REC Format] が入力信号と合っているか、入力信号が乱れていないか確認してください。

15. ビデオフォーマット表示 [M] (28ページ)

16. クリップ名表示 [M] (32ページ)

ワイヤレスアダプター状態表示

CBK-WA100を接続して使用する場合は、LCDモニターの映像にネットワークの状態や設定が表示されます。



17
18
19
20

18. ネットワーク接続状態表示 [M]

ネットワークの接続状態を表示します。

AP	ワイヤレスLAN接続 (Access Point モード)
	ワイヤレスLAN接続 (Stationモー ド)
3G/4G	モデム接続
LAN	有線LAN接続

19. SDカード残量表示 [M]

CBK-WA100のSDカードスロットにSDカードが挿入されているときに、SDカードの残量を表示します。

20. クリップ転送状態表示 [M]

CBK-WA100経由でネットワークに接続してクリップ転送している際に、転送状態を表示します。転送する残りクリップ数と転送率 (%) を表示します。

17. ネットワーククライアントモード状態表示

／ストリーミング状態表示 [M]

ネットワーククライアントモードの接続状態、およびストリーミング状態を表示します。

電源

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。

安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーパックおよびACアダプターを使用しないでください。

リチウムイオンバッテリーパック

BP-U30/BP-U60/BP-U90

バッテリーチャージャー／ACアダプター

BC-U1/BC-U2



警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

ご注意

本機にバッテリーパックを装着した状態でACアダプターを接続することはできません。

バッテリーパックを使う

バッテリーパックをバッテリーパック装着部（7ページ）の奥まで差し込んで、右にスライドさせてロックします。

取り外すときは、BATT RELEASEボタン（7ページ）を押しながらバッテリーパックを左にスライドさせてロックを外し、引き抜きます。

ご注意

- 装着する前に、専用のバッテリーチャージャーBC-U1またはBC-U2を使用して充電してください。
- 使用直後でバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。
- バッテリーパックBP-U90は大容量でサイズが大きいため、装着時に本体からの突出が大きくなります。

残量を確認する

バッテリーパックを使用して記録・再生しているときは、LCDモニター／ビューファ

インダー画面（10ページ）にバッテリー残量アイコンと残り時間が表示されます。

アイコン	残量
	100%～91%
	90%～71%
	70%～51%
	50%～31%
	30%～11%
	10%～0%

残り時間は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合の使用可能時間を分単位で表示します。

バッテリーパックの容量が低下すると

使用中にバッテリーパックの容量が一定の値まで低下すると（Low BATT状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージが画面に表示され、タリーランプの点滅とブザー音で警告します。

さらに容量が減り、動作が継続不可能な状態になると（BATT Empty状態）、バッテリーパックの残りが無いことを知らせるメッセージに切り換わります。

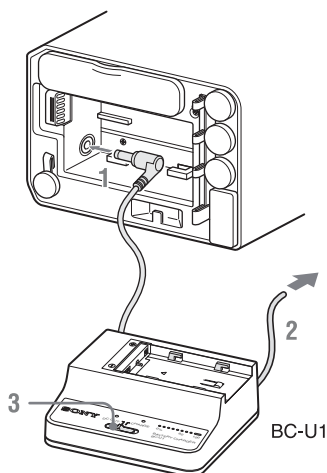
充電されたバッテリーパックに交換してください。

警告残量を変更する

工場出荷時には、「Low BATT」はフル充電の10%、「BATT Empty」は3%に設定されています。これらの設定は、[OTHERS] メニューの [Battery Alarm]（70ページ）で変更することもできます。

AC電源を使う（DC IN電源）

接続例：BC-U1 の場合



- 1 **BC-U1のDC電源出力ケーブルを本機のDC IN端子に接続する。**
- 2 **BC-U1の電源コードをAC電源に接続する。**
- 3 **BC-U1のモード切り換えスイッチをDC OUTに設定する。**

電源を入れる／切る

電源を入れるときは、電源ボタン（6ページ）を押します（電源ランプ点灯）。

電源を切るときは、もう一度電源ボタンを押します。

ご注意

- 本機は、電源ボタンをOFFにした状態でも、わずかに待機電力を消費します。本機を長時間使用しないときは、バッテリーパックを取り外してください。
- バッテリーパックやDC IN電源は、電源をOFFにしてから取り外してください。ONのまま取り外すと、本機やSxSメモリーカードの故障の原因となることがあります。

時計を合わせる

本機を初めて使用するときやバックアップ電池を交換（99ページ）した後に、初めて本機の電源を入るとLCDモニターに初回設定画面が表示されます。

Time Zone について

UTC(協定世界時)からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

Date/Timeを設定する

カーソルを移動し、SEL/SETボタンを押して各項目を設定します。最後にカーソルを[Finish] に合わせてSEL/SETボタンを押すと、設定画面が消えて時計合わせが完了します。

設定画面が消えた後は、[OTHERS] メニューの [Time Zone]（68ページ）および [Clock Set]（68ページ）を使用して [Time Zone] および [Date/Time] の設定を変更できます。

ご注意

- 動作電源が供給されていない（バッテリーパックもDC IN電源も接続されていない）状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入ると初回設定画面が表示されます。
- 初回設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。

SxSメモリーカードを使う

SxSメモリーカード（別売）（以降、メモリーカードと表記）をカードスロットに入れて、映像・音声を記録します。

◆本機で使用可能なその他のメディアについては、「他のメディアを使う」（16ページ）をご覧ください。

本機で使用可能なSxSメモリーカード

下記のソニー製メモリーカードをご使用ください。

他社製メディアの動作については、各社メディアの取扱説明書やメーカー情報をご確認ください。

SxS PRO+ シリーズ

SxS PRO シリーズ

SxS-1 シリーズ

SxS PROおよびSxS-1シリーズは、ExpressCard規格に準拠したメモリーカードです。

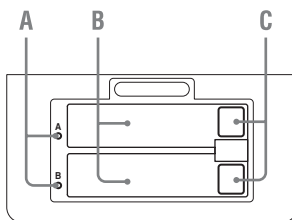
ご注意

SxS-1シリーズを使用する場合、ご使用になるカードによっては、XAVC-I 1080/59.94P、50Pで正常に記録できないことがあります。SxS PRO+シリーズまたはSxS PROシリーズのご使用を推奨します。

メモリーカードを入れる

- 1 カードスロットのカバーを開ける。
- 2 メモリーカードをラベルを上にしてカードスロットに差し込み、カバーを閉める。

カバーを開けたところ



A. ACCESS（アクセス）ランプ

B. SxSメモリーカードスロット

C. EJECT（SxSメモリーカード取り出し）ボタン

ACCESS ランプによる状態表示

ランプ スロットの状態

赤点灯	装着されているメモリーカードにアクセス中（データの書き込み/読み出し中）
緑点灯	スタンバイ状態（装着されているメモリーカードを使用して記録・再生を行う。）
消灯	- メモリーカードが装着されていない。 - 使用できないカードが装着されている。 - 別のスロットのカードが選択されている。

メモリーカードを取り出す

- 1 カードスロット部のカバーを開け、EJECTボタンを押してボタンを引き出す。
- 2 もう一度EJECTボタンを押し込んでカードを抜く。

ご注意

メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ずACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。

使用するメモリーカードを切り換える

SLOT SELECTボタン（6ページ）を押します。

記録実行中にカードがフルになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り換わります。

ご注意

再生中は、SLOT SELECTボタンは無効になります。ボタンを押しても切り換わりません。サムネイル画面（42ページ）表示中はボタン操作が有効です。

メモリーカードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたメモリーカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」がLCDモニターに表示されます。本機で使用するメモリーカードは、本機でフォーマットしてください。

フォーマット（初期化）を実行する

[OTHERS] メニューの [Format Media]（73ページ）で、スロットを指定し、[Execute] を選択します。確認メッセージが表示されたら、もう一度 [Execute] を選択します。

フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

フォーマット実行中の記録・再生

フォーマット中でも、もう一方のカードスロットに装着したメモリーカードを使用して記録・再生が可能です。

フォーマットできなかったときは

プロテクトされたメモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットされません。使用できるメモリーカードに交換してください。

ご注意

- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。
- 本機で使用するSxSメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機で再度フォーマットする必要があります。

本機とコンピューターの接続

XDCAM/XDCAM EXシリーズで記録したメモリーカードを本機側のスロットに装着して、本機とコンピューターをUSBケーブルで接続して使用してください。

残りの記録可能時間を確認する

記録中／記録待機中は、LCDモニター（10ページ）の記録メディア残量表示部で、各スロットに装着したメモリーカードの残量を確認できます。

現在設定されているビデオフォーマット（記録ビットレート）で記録可能な時間を分単位で表示します。

バッテリー／メディアステータス画面（56ページ）を表示させると、残量をメーター形式で確認することもできます。

ご注意

- メモリーカードがプロテクトされている場合は、 マークが表示されます。
- 表示されるメモリーカードの残量は目安です。メモリーカードへの記録は、映像データ以外に管理領域などが含まれており、実際に記録できる容量は残量表示より少なくなります。

メモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分をきると、警告メッセージ「メディア残量がわずかです」（Media Near Full）が表示され、タリールンプの点滅とブザー音で警告します。空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージが「メディア残量がありません」（Media Full）に変わり記録が停止します。

ご注意

1枚のメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。記録できるクリップ数の上限に達すると、残時間表示が「0」になり、メッセージ「メディア残量がありません」（Media Full）が表示されます。

メモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。

修復が必要なメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがLCDモニターに表示されます。

修復を実行する

Executeを選択し、SEL/SETボタンを押します。

修復が終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

修復できなかったときは

- プロテクトされたメモリーカードや、エラーが発生したメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別のメモリーカードに交換してください。
 - エラーが発生したメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
 - 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。
 - 修復を実行しても繰り返し「一部修復ができませんでした」とメッセージが表示されるようになったメモリーカードは、以下の手順で正常に戻せる場合があります。
- 1 本機のコピー機能（50ページ）または専用アプリケーションソフトウェア（109ページ）を用いて、必要なクリップを他のメモリーカードへコピーする。
 - 2 問題のあるメモリーカードを本機でフォーマットする。
 - 3 必要なクリップをフォーマットしたメモリーカードにコピーして戻す。

修復中の記録・再生

修復中でも、もう一方のカードスロットに装着したメモリーカードを使用して、記録・再生が可能です。

ご注意

本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。
本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。

他のメディアを使う

ご注意

- プロフェッショナル用途のSxSメモリーカードと同等の高い信頼性・耐久性を得られるものではありません。
- すべてのメモリーカードの動作を確認したわけではありません。動作確認済みのメモリーに関しては各販売店にお問い合わせください。
- 本機で使用するメディアは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてからご使用ください。

XQDメモリーカード

本機では、別売のメディアアダプター QDA-EX1を使用することによって、XQDメモリーカードをSxSメモリーカードスロットに入れて、SxSメモリーカードと同様に記録・再生が行えます。

- ◆ メディアアダプター QDA-EX1の使いかたについて詳しくは、アダプターに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- XQDメモリーカードを使って高速再生（8ページ）を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- ご使用になるXQDメモリーカードによっては、XAVC-Iで正常に記録できない場合があります。SxS PRO+シリーズまたはSxS PROシリーズのご使用を推奨します。

フォーマット（初期化）する

本機で初めてXQDメモリーカードを使用するときは、フォーマットが必要です。
本機で使用するXQDメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。XQDメモリーカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

本機が対応していないフォーマットで初期化されたXQDメモリーカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」がLCDモニター画面に表示されます。
下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

フォーマット（初期化）を実行する

OTHERSメニューのFormat Media（73ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロットB）かを指定し、Executeを選択する。

実行中はメッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

ご注意

XQDメモリーカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も含めて、すべてのデータが消去され、復元できません。

本機とコンピューターの接続

XDCAM/XDCAM EXシリーズで記録したXQDメモリーカードを本機側のスロットに装着して、本機とコンピューターをUSBケーブルで接続して使用してください。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

SDカード

本機では、別売のメディアアダプターMEAD-SD02を使用することによって、SDカードをSxSメモリーカードスロットに入れて、SxSメモリーカードと同様に記録・再生が行えます。

◆メディアアダプター MEAD-SD02の使いかたについて詳しくは、アダプターに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

SDカードを使って高速再生（8ページ）を行う場合、正しく動作しないことがあります。

SDHCカード（FATのみ）

SDHCカード
(SDスピードクラス：Class10)

ご注意

UDFモードおよびexFATモード時は使用できません。

SDXCカード（exFATのみ）

SDXCカード
(SDスピードクラス：Class10)

ご注意

- exFATモード時以外は使用できません。
- SDXCカードと他のメモリーカードを同時に使用しないでください。種類の異なるメディアがフルになっても自動切り換えはできません。
- ご使用になるSDXCカードによっては、XAVC-Iで正常に記録できない場合があります。SxS PRO+シリーズまたはSxS PROシリーズのご使用を推奨します。
- SDXCカードの互換について
PMWシリーズおよびPXWシリーズのカムコーダーで記録したSDXCカードは、本機で再生できます。ただし、機種によっては、本機での記録およびサムネイル画面でのクリップ詳細表示ができない場合があります。詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

フォーマット（初期化）する

本機で初めてSDカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。SDカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

本機が対応していないフォーマットで初期化されたSDカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」がLCDモニター画面に表示されます。下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

フォーマット（初期化）を実行する

OTHERSメニューのFormat Media（73ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロットB）かを指定し、Executeを選択する。

実行中はメッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。

フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

ご注意

SDカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も含めて、すべてのデータが消去され、復元できません。

本機とコンピューターの接続

XDCAM/XDCAM EXシリーズで記録したSDカードは、本機をUSBでコンピューターに接続して本機側のスロットに装着して使用するか、指定のUSBカードリーダー SBAC-US20を使用してください。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

オーディオ入力ボックスを取り外す／取り付ける

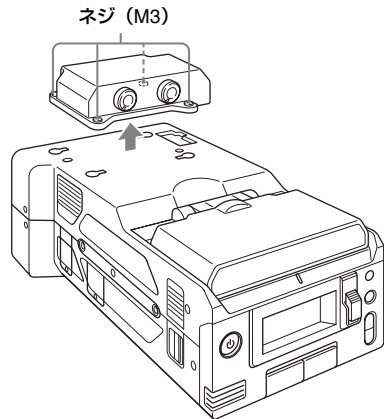
オーディオ入力ボックスは着脱式です。オーディオ入力ボックスを使用しない場合は、取り外しておくことができます。

ご注意

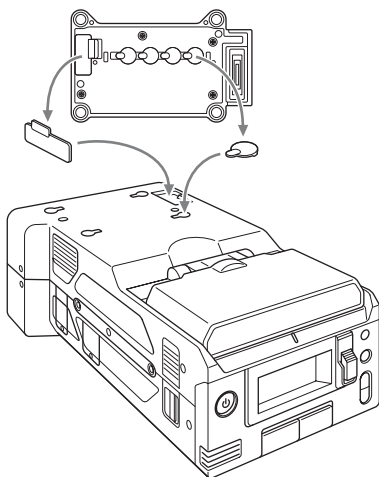
オーディオ入力ボックスを取り付けまたは取り外すときは、本機の電源を切ってから行ってください。

オーディオ入力ボックスを取り外す

- 1 オーディオ入力ボックスのネジ（M3）4本を緩め、真上に持ち上げて取り外す。

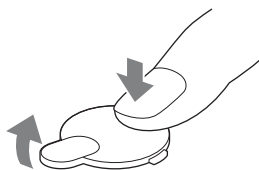


- 2 オーディオ入力ボックスの底面に収納されているカバーを取り外し、本体の穴にはめる。



メモ

ネジ穴用のカバーを取り外すときは、図の部分を押すと、外しやすくなります。



オーディオ入力ボックスを取り付ける

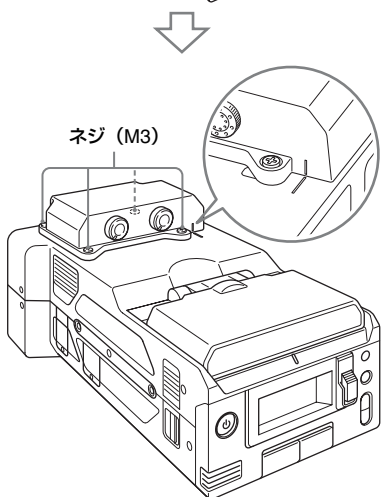
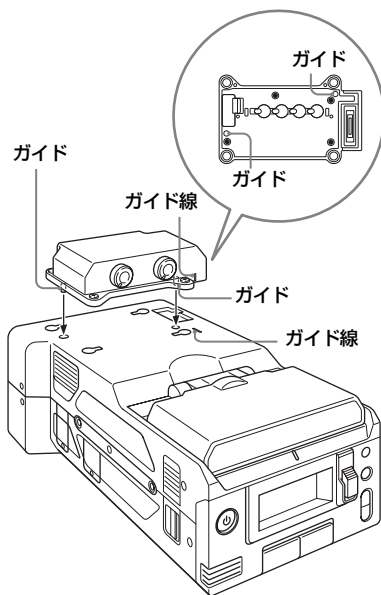
- 1 本体にはめてあるカバーを取り外し、オーディオ入力ボックスの底面にはめる。

紛失しないように、取り外したカバーは、必ずオーディオ入力ボックス底面にはめておいてください。

- 2 オーディオ入力ボックスを本体に置き、ネジ (M3) 4本で固定する。

オーディオ入力ボックス底面のガイド (2か所) を本体の穴に合わせて、まっすぐに置いてください。

また、本体の上面とオーディオ入力ボックス前面に位置合わせのガイド線が付いています。2本のガイド線が合うようにして置くと、位置が合わせやすくなります。



USBワイヤレスLANモジュールIFU-WLM3で本機とデバイスをワイヤレスLAN接続する

本機にUSBワイヤレスLANモジュールIFU-WLM3（別売）を取り付けると、コンピュータやスマートフォン、タブレットなどのデバイス（以下、デバイスと表記）と本機をワイヤレスLAN接続することができます。

IFU-WLM3を使ってワイヤレスLAN接続されたデバイスと本機の間では、以下のような操作が可能です。

- Webメニューの使用（22ページ）
- デバイスと本機間のプランニングメタデータ送受信（22ページ）
- デバイスでの本機のリモート操作（23ページ）

IFU-WLM3を取り付ける

外部機器接続端子にIFU-WLM3を取り付けます。

ご注意

- 外部機器接続端子には、指定の機器以外は接続しないでください。
- IFU-WLM3は国・地域によって利用できない場合があります。
- IFU-WLM3を取り付け、または取り外すときは、本機の電源を切ってから行ってください。
- IFU-WLM3を使用するときは、ワイヤレスアダプター CBK-WA100は使用できません。
- i.LINK接続とUSBワイヤレスLANモジュールの同時使用はできません。
外部機器接続端子にUSBワイヤレスLANモジュールIFU-WLM3を直接挿してワイヤレス接続する場合、i.LINKに接続しないでください。
- 他の無線機器を本機の近くで使用すると、誤動作することがあります。本機の近くでは、無線機器の電源をできるだけ切ってください。

IFU-WLM3を使ってワイヤレスLAN接続する

IFU-WLM3を使ってワイヤレスLAN接続するには、デバイスと本機を一对一で接続する「アドホックモード」と、無線LANアクセスポイントを介して1台のデバイスに複数のカムコーダーを接続する（LANを構成する）「インフラストラクチャーモード」の、2つの方法があります。

ネットワークを設定するには

必要に応じて、メニューの [OTHERS] > [Network] の設定を変更します。

項目	設定内容
DHCP	DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するかどうかの設定 Enabled : 自動取得する Disabled : 自動取得しない (工場出荷時の設定)
IP Address	IPアドレス ^{a)} (工場出荷時の設定 : 192.168.1.10)
Subnet Mask	サブネットマスク (工場出荷時の設定 : 255.255.255.0)
Default Gateway	デフォルトゲートウェイ (工場出荷時の設定 : 0.0.0.0)
User Name	ログインするときのユーザー名 (工場出荷時の設定 : admin)
Password	ログインするときのパスワード (工場出荷時の設定 : 機種名「pmw-rx50」)

a) DHCPサーバーにより決定されたIPアドレスが、この欄に表示される。

設定を変更したときは

[Set] を [Execute] に設定します。

アドホックモードで接続するには

- 1 本機と接続するデバイス側のネットワーク接続設定を行う。
- 2 デバイスで接続を開始する。

3 メニューの [OTHERS] > [Wi-Fi] > [Wi-Fi] を [Enable] に設定する。

4 メニューの [OTHERS] > [Wi-Fi] > [Scan Networks] で [Execute] を選択して、SEL/SETボタンを押す。
本機が接続先の検出を開始します。
接続先を見つけると、NETWORK SCANリストが表示されます。

5 上/下ボタンで接続先を選択し、SEL/SETボタンを押す。
OTHERSメニュー画面に戻ります。

6 Wi-Fiの設定内容が接続先の設定と一致していることを確認する。

SSID (ネットワーク名) : 選択した接続先の名前

Network Type (接続モード) : Adhoc
Ch (無線チャンネル) : 1

Authentication (ネットワーク認証方法) : デバイス側の設定に応じて
Open, Shared, またはWPA

Encryption (暗号化方式) : デバイス側の設定に応じてDisable, WEP, TKIPまたはAES

WEP Key Index (キーのインデックス) : EncryptionがWEPの場合は1

Input Select (キーの入力形式) : ネットワークキー (またはセキュリティキー) に応じて、EncryptionがWEPの場合はASCII5、ASCII13、HEX10またはHEX26、EncryptionがTKIPまたはAESの場合はASCII8-63またはHEX64

7 Keyにデバイス側で設定したネットワークキー (またはセキュリティキー) を入力し、カーソルをENDに移動し、SEL/SETボタンを押す。

8 [Set] を [Execute] に設定してSEL/SETボタンを押す。

「Wi-Fi Setting Executing...」が表示され、本機が接続を開始します。
デバイスとの接続が完了すると、表示が「Wi-Fi Setting OK」に変わります。
Wi-Fi Statusの欄に接続状態を示す■が表示されます (■の数が多いほど接続状態が良好)。また、Wireless Modeの欄

に確立した接続のIEEE802.11規格 (802.11b、802.11gまたは802.11n) が表示されます。

メモ

本機で先にワイヤレスLAN接続を開始し、デバイスから本機にアクセスして接続することもできます。

接続を切断するには

デバイス側で接続を切断します。

初期設定に戻す (リセットする) には
うまく接続できない場合や設定をやり直したい場合は、ワイヤレスLAN接続に関する設定を初期設定に戻すことができます。

メニューの [OTHERS] > [Network] > [Net Config Reset] で [Execute] を選択して、SEL/SETボタンを押します。
リセットが完了すると「Done」が表示されます。
本機は、MACアドレスをSSIDとするネットワーク対して接続を試みている状態になります。

インフラストラクチャーモードで接続するには

無線LANアクセスポイント側の設定

次の設定が必要です。

- ネットワークID (SSID)
- 暗号化方式例 (Encryption)
- ネットワークキー (Key)

◆無線LANアクセスポイントの設定操作については、無線LANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

本機から無線LANを検索して接続するには

「アドホックモードで接続するには」(20ページ)と同様の手順を行います。
ただし、以下の違いがあります。

- 手順1と2を行いません。
- 手順6の設定は次のように変わります。

SSID (ネットワーク名) : 選択した接続先の名前

Network Type (接続モード) : Infra
Ch (無線チャンネル) : 自動設定

Authentication（ネットワーク認証方法）：アクセスポイント側の設定に応じてOpen、Shared、WPAまたはWPA2

Encryption（暗号化方式）：アクセスポイント側の設定に応じてDisable、WEP、TKIPまたはAES

WEP Key Index（キーのインデックス）：EncryptionがWEPの場合は1

Input Select（キーの入力形式）：ネットワークキー（またはセキュリティキー）に応じて、EncryptionがWEPの場合はASCII5、ASCII13、HEX10またはHEX26、EncryptionがTKIPまたはAESの場合はASCII8-63またはHEX64

Webメニューを使用する

ワイヤレスLAN接続時は、本機に内蔵されたWebメニューにデバイスからアクセスすることができます。

Webメニューで、本機の情報／設定状態を確認したり、プランニングメタデータファイルをアップロードすることができます。

ご注意

記録／再生中にWebメニューにアクセスすることはできません。（ワイヤレスLAN接続を介してファイルを送受信することができません。）

Webメニューの表示例

Product Information（製品情報）

- Model name（機器名）
- Serial No.（シリアル番号）

Network（ネットワーク設定）

- MAC Address（MACアドレス）
- IP Address（IPアドレス）
- Subnet Mask（サブネットマスク）

Wi-Fi Status（ワイヤレスLAN設定）

- Wireless Mode（無線LAN規格）
- SSID
- Type（接続モード）
- Channel（チャンネル）
- Authentication（ネットワーク認証方法）

- Data Encryption（暗号化方式）

Planning Metadata（プランニングメタデータ）

「Upload」をクリックするとPlanning Metadata画面が表示され、プランニングメタデータファイルをアップロードすることができます（23ページ参照）。

Wi-Fi Remote（Wi-Fiリモコン）

「Control Panel」をクリックするとWi-Fiリモコン画面が表示され、本機をリモート操作することができます（23ページ）。

ご注意

Webメニューの表示レイアウトは、使用するブラウザによって変わります。

Webメニューを表示するには

- 1 デバイスでウェブブラウザを起動し、「http://本機のIPアドレス（メニューの【OTHERS】>【Network】>【IP Address】の設定値）/」にアクセスする。

例：IPアドレスが「192.168.1.10」の場合アドレスバーに「http://192.168.1.10/」と入力する。

接続が完了すると、ユーザー名（User name）とパスワード（Password）を入力する画面が表示されます。

- 2 ユーザー名とパスワードを入力して、OKをクリックする。

User name：admin

Password：pmw-rx50（機種名を小文字で入力）

プランニングメタデータを送受信する

あらかじめ作成したプランニングメタデータを本機に転送し、クリップ名やショットマークを指定することができます。

プランニングメタデータファイルをアップロードするには

- 1 本機にSxSメモリーカードなどのメディアを挿入する。
- 2 Webメニューの「Upload」をクリックする。
Planning Metadata画面が表示されます。
- 3 「Select」をクリックして、「Choose File」ダイアログを表示する。
- 4 アップロードしたいプランニングメタデータファイルを選択し、「Open」をクリックする。
選択したファイルのパスが表示されます。
- 5 「Execute」をクリックする。
プランニングメタデータが本機のメモリーに読み込まれ、SxSメモリーカード内に格納されます。
転送が完了すると「Status」欄に「OK」が表示されます。

プランニングメタデータファイルを自動で読み込むには

読み込みたいプランニングメタデータファイルのPlanningMetadataタグでload属性を「True」に指定しておくと、Webメニューを表示し、メディアを挿入した時点で自動的にカムコーダーのメモリーに読み込まれます。

記述例：<PlanningMetadata ...
sp[load="true"]sp version="1.00">

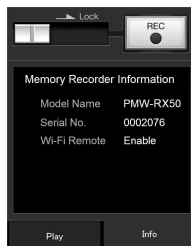
- ◆ プランニングメタデータについて詳しくは、本機の取扱説明書をご覧ください。

本機をリモート操作する

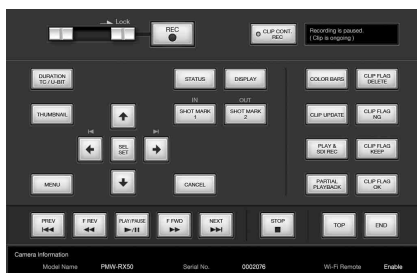
Wi-Fiリモコンを使用してデバイスから本機をリモート操作することができます。Wi-Fi

リモコンを使用すると遠隔から本機を操作できます。遠隔操作で再生や記録の開始／停止ができるため、本機を離れた場所に固定する場合などに大変便利です。

Wi-Fi Remote画面（スマートフォン）



Wi-Fi Remote画面（タブレット）



Wi-Fiリモコンを表示するには

デバイスの画面にWi-Fiリモコンを表示するには、本機とデバイスそれぞれに設定が必要です。

本機の設定をする

- 1 メニューの [OTHERS] > [Wi-Fi] > [Wi-Fi] を [Enable] に設定する。
- 2 メニューの [OTHERS] > [Wi-Fi] > [Wi-Fi Remote] を [On] に設定する。

デバイスの設定をする

スマートフォン、タブレット、コンピューターなどの設定をします。

- 1 本機とデバイスをワイヤレスLAN接続 (20 ページまたは26 ページ) する。
- 2 デバイスでブラウザーを起動し、「http://本機のIPアドレス (メニューの [OTHERS] > [Network] > [IP Address] の設定値) /rm.html」にアクセスする。

例：IPアドレスが「192.168.1.10」の場合アドレスバーに「http://192.168.1.10/rm.html」と入力します。接続が完了すると、デバイスにWi-Fi Remote画面が表示されます。以降は、画面表示のとおりに操作してください。

Lockつまみを右にスライドすると、RECボタンの操作を禁止することができます。

ご注意

- スマートフォン用のページを表示したい場合は、アドレスの最後を「rms.html」に、タブレット用のページを表示したい場合は「rmt.html」に置き換えて入力してください。通常は「rm.html」と入力すれば、各ページに自動的に移動します。デバイスによっては正常に動作しない場合があります。
- 次の場合は、Wi-Fi Remote画面と本機の状態が一致なくなることがあります。その場合は、ブラウザーの表示を更新してください。
 - 接続中に本機を再起動した場合
 - 接続中に本機を操作した場合
 - デバイスを再接続した場合
 - ブラウザーで進む / 戻るを操作した場合
- 電波状態が著しく悪い場合、Wi-Fi Remoteが機能なくなることがあります。
- ご利用のスマートフォン、タブレット端末によっては、アドホックモードを搭載していない場合があります。詳しくは、スマートフォン、タブレット端末の取扱説明書をご覧ください。

ワイヤレスアダプター CBK-WA100で本機とデバイスをワイヤレスLAN接続する

本機にワイヤレスアダプター CBK-WA100 (別売) を取り付けると、コンピュータやスマートフォン、タブレットなどのデバイス (以下、デバイスと表記) と本機をワイヤレスLAN接続することができます。CBK-WA100を使ってワイヤレスLAN接続されたデバイスと本機の間では、以下のような操作が可能です。

- Webメニューの使用 (22ページ)
- デバイスと本機間のプランニングメタデータ送受信 (22ページ)
- デバイスでの本機のリモート操作 (23ページ)
- プロキシファイル (低解像度) の記録 (26ページ)
- ワイヤレスLAN経由でのファイル転送 (26ページ)
- ワイヤレスLAN経由でのモニタリング (26ページ)
- ソニーのQoS技術を用いた高品質なストリーミング (26ページ)
- 「Content Browser Mobile」アプリケーションの使用 (26ページ)
- 「Content Browser Mobile」アプリケーションでは上記の操作に加え、以下の操作が可能です。
 - プロキシファイルおよびオリジナルファイルの部分転送
 - ライブロギング機能

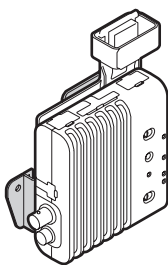
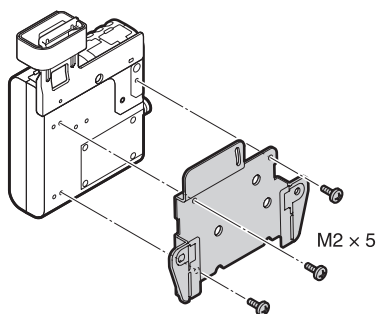
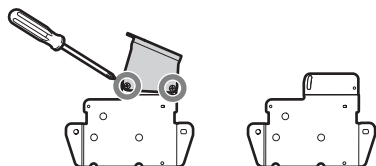
CBK-WA100を取り付ける

ご注意

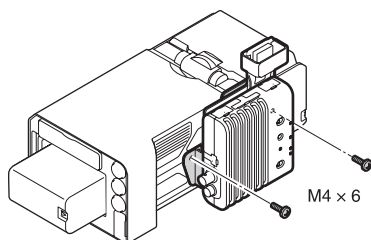
- CBK-WA100を取り付け、または取り外すときは、本機の電源を切ってから行ってください。
- CBK-WA100を使用するときは、USBワイヤレスLANモジュールIFU-WLM3は使用できません。

- 他の無線機器を本機の近くで使用すると、誤動作することがあります。本機の近くでは、無線機器の電源をできるだけ切ってください。

1 部品を取り外し、CBK-WA100に付属のネジ（M2×5）3本を使って取り付け



2 CBK-WA100に付属のネジ（M4×6）2本を使って、本機側面に取り付ける。



3 CBK-WA100に付属のUSBケーブルを使って、本機後面の外部機器接続端子（7ページ）とCBK-WA100のMini USB端子を接続する。

4 CBK-WA100に付属のBNCケーブルを使って、本機後面のSDI OUT端子2または1（7ページ）とCBK-WA100のSDI IN端子を接続する。

ご注意

SDI OUT端子1を使用した場合、[VIDEO SET] メニューの [SDI OUT1 Mode Select] で選択した設定によっては、接続できないことがあります。

5 本機からCBK-WA100に電源を供給する場合は、CBK-WA100に付属のDC電源ケーブルを使って、本機後面のDC OUT端子（7ページ）とCBK-WA100の (DC IN) 端子を接続する。

別売のACアダプターを使用するときは、CBK-WA100のBK-WA100の  (DC IN) 端子にACアダプターを接続します。

ご注意

DC OUT端子と外部機器接続端子から外部機器への電源供給は、どちらか一方になります。同時に電源供給することはできません。

CBK-WA100でワイヤレスLAN接続する

- 1 **CBK-WA100の電源スイッチを | にする。**
- 2 **本機の電源を入れる。**
- 3 **本機からCBK-WA100に電源を供給する場合は、メニューの [OTHERS] > [Power Enable] を [Sony Wireless Adapter] に設定する。**
設定を変更すると、本機が再起動し、CBK-WA100の電源が入ります。
- 4 **メニューの [VIDEO SET] > [SDI OUT2 OUTPUT Select] で、CBK-WA100と接続しているSDI OUT端子2または1からの出力信号を [HD] に設定する。**

プロキシファイル（低解像度）を記録する

本機および接続したデバイスのWi-Fiリモコンメニューから、以下のメニュー操作でプロキシファイル（低解像度）を記録できます。

- 本機のアサインابلボタンにアサインした [Play & SDI Rec]（69ページ）またはWi-Fiリモコンの [PLAY & SDI REC]
- 本機のクリップ操作メニュー [P-PLAY&SDI REC]（45ページ）

ワイヤレスLAN経由でファイルを転送する

CBK-WA100に装着したSDカードに記録されたプロキシファイル（低解像度）や本機で記録したオリジナルファイル（高解像度）を、ワイヤレスLAN経由でサーバーに転送することができます。

ワイヤレスLAN経由でモニタリングする

本機への入力映像や再生映像からストリーム（H.264）を作成し、ワイヤレスLAN経由でデバイスから「Content Browser Mobile」アプリケーションを使ってモニタリングとライブロギングすることができます。

ソニーのQoS技術を用いた高品質なストリーミング

ソニー製ネットワークRX ステーション PWS-100RX1（別売）のConnection Control Manager（CCM）と、CBK-WA100のネットワーククライアントモードで接続して使用すると、高品質なストリーミングをすることができます。

「Content Browser Mobile」アプリケーションを使用する

デバイスの画面で本機をストリーミングしながらリモート操作をしたり、本機の設定をすることができるアプリケーションを用意しています。

「Content Browser Mobile」アプリケーションは、バージョンをご確認の上、最新バージョンを使用してください。

◆「Content Browser Mobile」アプリケーションについて詳しくは、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

◆CBK-WA100の取扱説明書も併せてご覧ください。

プロキシファイルの部分転送

プロキシファイルにイン点／アウト点を指定して切り出した部分を転送することができます。また、ストーリーボードを使用すると、複数ファイルから切り出した部分を転送することができます。

ご注意

- 生成されるファイルには、切り出し位置の前後に最大15フレームのマージンが付加されます。
- CBK-WA100（別売）のソフトウェア（V1.3）以前で記録したプロキシデータから切り出した場合には、ノンリニア編集機に取り込めない場合があります。

カムコーダーで記録したオリジナルファイルの部分転送

カムコーダーで記録したオリジナルファイルにイン点／アウト点を指定して、切り出した部分を転送することができます。また、ストーリーボードを使用すると、複数ファイルから切り出した部分を転送することができます。

本機能を使用するには、以下のメディアが必要です。

- カムコーダーで記録したオリジナルファイルを格納したメディア（本機に装着）
- オリジナルファイルと同期して記録した同一ファイル名のプロキシファイル（低解像度）を格納したSDカード（CBK-WA100に装着）

本機能の対象は、PMW/PXWシリーズのカムコーダー（PXW-X70を除く）で記録したオリジナルファイルおよびプロキシファイル（低解像度）です。

オリジナルファイルの対応フォーマットは、以下になります。

- exFATモード：XAVC-I/XAVC-L50,35,25/MPEG2 HD422/MPEG2 HD420HQ
- UDFモード：MPEG2 HD422/MPEG2 HD420HQ

ご注意

オリジナルファイルの部分転送中は、以下の操作ができません。

- クリップ操作
- メディアのフォーマット
- コンピューターとのUSB接続

ライブロギング機能

本機の記録・再生中にエッセンスマークを付加することができます。

Content Browser Mobileのモニタリングについて

ご使用時の電波環境およびモバイル端末によっては、モニタリング映像が停止する場合があります。

対応デバイスについて

使用できるデバイス、OS、ブラウザーは以下のバージョン以降です。

デバイス	OS	ブラウザー
PC	Windows 7/ Windows 8/ Windows 10	Chrome
Mac	OS10.8/10.9/ 10.10	Safari
スマート フォン	Android4.1/ 4.2/4.3/4.4/5.0/ 5.1/6.0 iOS8.0/8.1/8.2/ 8.3/8.4/9.0	Chrome Safari
タブレット	Android4.1/ 4.2/4.3/4.4/5.0/ 5.1/6.0 iOS8.0/8.1/8.2/ 8.3/8.4/9.0	Chrome Safari

基本設定を変更する

入力信号を選択する

記録、あるいは送出するための入力信号として、SDIかi.LINKのどちらかを選択します。設定は、[VIDEO SET] メニューの [Input Source Select] で行います。
i.LINKを選択すると、i.LINKへの出力はできません（UDFモードでのDVCAM再生時を除く）。
UDF/HDモードおよびexFATモードの場合は、i.LINKは選択できません。

ビデオフォーマット

UDF/exFAT/FATを切り換える

[OTHERS] メニューの [System]（70ページ）の、[F.Sys.] で切り換えます。
切り換えを実行すると、本機は自動的に再起動します。

HDモード／SDモードを切り換える

[OTHERS] メニューの [System]（70ページ）の、[HD/SD] で切り換えます。
切り換えを実行すると、本機は自動的に再起動します。

ご注意

記録・再生中にUDF/exFAT/FATおよびHD/SDを切り換えることはできません。

XAVC/MPEG2を切り換える

[OTHERS] メニューの [System]（70ページ）の、[XAVC/MPEG2] で切り換えます。
[F.Sys.] が [exFAT]、[HD/SD] が [HD] のときに選択できます。

ご注意

記録・再生中にXAVC/MPEG2を切り換えることはできません。

フォーマットを変更する

SDI IN端子には、[OTHERS] メニューの [Rec Format]（71ページ）で設定したビデオフォーマットに適合する入力信号を接続する必要があります。

SDI OUT 1/2、VIDEO OUT、およびHDMI OUT端子から出力される信号は、設定したビデオフォーマットに従って出力されます。選択できるフォーマットは、UDF/exFAT/FAT、HD/SD、使用地域（NTSC/PAL）の設定（70ページ）によって異なります。

設定可能なビデオフォーマットおよびそれに対して入力可能なフォーマットを以下に示します。

◆出力信号フォーマットについては、「出力のフォーマットと制限」（91ページ）をご覧ください。

NTSC の場合

UDF/HD モード

[Rec Format] の設定	入力信号フォーマット
HD422 50/1080/59.94i	1080/59.94i、 1080/29.97PsF
HQ 1920×1080/59.94i	1080/59.94i、 1080/29.97PsF
HQ 1440×1080/59.94i	1080/59.94i、 1080/29.97PsF
HD422 50/1080/29.97P	1080/59.94i、 1080/29.97PsF
HQ 1920×1080/29.97P	1080/59.94i、 1080/29.97PsF
HQ 1440×1080/29.97P	1080/59.94i、 1080/29.97PsF
HD422 50/1080/23.98P	1080/23.98PsF
HQ 1920×1080/23.98P	1080/23.98PsF
HQ 1440×1080/23.98P	1080/23.98PsF
HD422 50/720/59.94P	720/59.94P
HQ 1280×720/59.94P	720/59.94P

exFAT/HD モード

[Rec Format] の設定	入力信号フォーマット
XAVC-I 1080/59.94P	1080/59.94P
XAVC-L50 1080/59.94P	1080/59.94P

【Rec Format】 の設定 入力信号フォーマット	
XAVC-L35 1080/59.94P	1080/59.94P
XAVC-I 1080/59.94i	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
XAVC-L50 1080/59.94i	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
XAVC-L35 1080/59.94i	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
XAVC-L25 1080/59.94i	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
XAVC-I 1080/29.97P	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
XAVC-L50 1080/29.97P	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
XAVC-L35 1080/29.97P	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
XAVC-I 1080/23.98P	1080/23.98PsF
XAVC-L50 1080/23.98P	1080/23.98PsF
XAVC-L35 1080/23.98P	1080/23.98PsF
XAVC-I 720/59.94P	720/59.94P
XVAC-L50 720/59.94P	720/59.94P
HD422 50/1080/59.94i	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HQ 1920×1080/59.94i	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HQ 1440×1080/59.94i	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HD422 50/1080/29.97P	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HQ 1920×1080/29.97P	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HQ 1440×1080/29.97P	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HD422 50/1080/23.98P	1080/23.98PsF
HQ 1920×1080/23.98P	1080/23.98PsF
HQ 1440×1080/23.98P	1080/23.98PsF
HD422 50/720/59.94P	720/59.94P
HQ 1280×720/59.94P	720/59.94P

FAT/HD モード

【Rec Format】 の設定 入力信号フォーマット	
HQ 1920×1080/59.94i	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HQ 1440×1080/59.94i	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
SP 1440×1080/59.94i	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HQ 1920×1080/29.97P	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HQ 1440×1080/29.97P	1080/59.94i, 1080/29.97PsF
HQ 1920×1080/23.98P	1080/23.98PsF
HQ 1440×1080/23.98P	1080/23.98PsF

【Rec Format】 の設定 入力信号フォーマット	
HQ 1280×720/59.94P	720/59.94P

UDF/SD モード

【Rec Format】 の設定 入力信号フォーマット	
DVCAM 59.94i	480/59.94i
IMX50 59.94i	486/59.94i

exFAT/SD モード

【Rec Format】 の設定 入力信号フォーマット	
DVCAM 59.94i	480/59.94i
IMX50 59.94i	486/59.94i

FAT/SD モード

【Rec Format】 の設定 入力信号フォーマット	
DVCAM 59.94i	480/59.94i

PAL の場合

UDF/HD モード

【Rec Format】 の設定 入力信号フォーマット	
HD422 50/1080/50i	1080/50i, 1080/25PsF
HQ 1920×1080/50i	1080/50i, 1080/25PsF
HQ 1440×1080/50i	1080/50i, 1080/25PsF
HD422 50/1080/25P	1080/50i, 1080/25PsF
HQ 1920×1080/25P	1080/50i, 1080/25PsF
HQ 1440×1080/25P	1080/50i, 1080/25PsF
HD422 50/720/50P	720/50P
HQ 1280×720/50P	720/50P

exFAT/HD モード

【Rec Format】 の設定 入力信号フォーマット	
XAVC-I 1080/50P	1080/50P
XAVC-L50 1080/50P	1080/50P
XAVC-L35 1080/50P	1080/50P
XAVC-I 1080/50i	1080/50i, 1080/25PsF
XAVC-L50 1080/50i	1080/50i, 1080/25PsF
XAVC-L35 1080/50i	1080/50i, 1080/25PsF
XAVC-L25 1080/50i	1080/50i, 1080/25PsF
XAVC-I 1080/25P	1080/50i, 1080/25PsF
XAVC-L50 1080/25P	1080/50i, 1080/25PsF
XAVC-L35 1080/25P	1080/50i, 1080/25PsF
XAVC-I 720/50P	720/50P
XAVC-L50 720/50P	720/50P
HD422 50/1080/50i	1080/50i, 1080/25PsF
HQ 1920×1080/50i	1080/50i, 1080/25PsF
HQ 1440×1080/50i	1080/50i, 1080/25PsF
HD422 50/1080/25P	1080/50i, 1080/25PsF

[Rec Format] の設定	入力信号フォーマット
HQ 1920×1080/25P	1080/50i、1080/25PsF
HQ 1440×1080/25P	1080/50i、1080/25PsF
HD422 50/720/50P	720/50P
HQ 1280×720/50P	720/50P

FAT/HD モード

[Rec Format] の設定	入力信号フォーマット
HQ 1920×1080/50i	1080/50i、1080/25PsF
HQ 1440×1080/50i	1080/50i、1080/25PsF
SP 1440×1080/50i	1080/50i、1080/25PsF
HQ 1920×1080/25P	1080/50i、1080/25PsF
HQ 1440×1080/25P	1080/50i、1080/25PsF
HQ 1280×720/50P	720/50P

UDF/SD モード

[Rec Format] の設定	入力信号フォーマット
DVCAM 50i	576/50i
IMX50 50i	576/50i

exFAT/SD モード

[Rec Format] の設定	入力信号フォーマット
DVCAM 50i	576/50i
IMX50 50i	576/50i

FAT/SD モード

[Rec Format] の設定	入力信号フォーマット
DVCAM 50i	576/50i

タイムデータ

タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、[TC/UB SET] メニュー（66ページ）の [Timecode] および [TC Format] を使用して設定します。タイムコードには、次の記録方法があります。

プリセットモード (Preset)

初期値を設定し、本機内部でタイムコードを発生させて記録します。次のいずれかの歩進モードを選択できます。

- **フリーラン (Free Run)**：タイムコードが常に歩進します。
- **レックラン (Rec Run)**：記録中のみタイムコードが歩進します。

リジェネレートモード (Regen)

最後に記録したクリップのタイムコードに連続させて、本機内部でタイムコードを発生させて記録します。

外部リジェネレートモード (ExtRegen)

外部からの入力信号に重畳されたタイムコードに同期させて、本機内部でタイムコードを発生させて記録します。入力されたSDI信号にタイムコードが重畳されていない場合は、内蔵のタイムコードジェネレーターの値が初期値になります。

ユーザービットを設定する

8桁の16進数をユーザービットとして記録映像に付加できます。ユーザービットを現在年月日に設定することも可能です。設定には、[TC/UB SET] メニューの [Users Bit]（66ページ）を使用します。

タイムデータを表示する

DISPLAYボタンを押すと、画面にタイムデータが表示されます（10ページ）。表示は、DURATION/TC/U-BITボタン（7ページ）を押すと、タイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り換わります。

表示	内容
TCG **:*:*:*:*	タイムコード
TCR **:*:*:*:*	入力信号に重畳されたタイムコード
CLK **:*:*:*:*	タイムコード (Clockモード)
UBG * * * * *	ユーザービット
UGR * * * * *	入力信号に重畳されたユーザービット
DUR **:*:*:*	記録開始からの経過時間

送出モードを設定する

本機で映像を送出しながら並行して編集を行う場合に、SDI OUT端子1から出力する映像信号の送出モードを設定できます。設定は、[VIDEO SET] メニューの [SDI OUT1 Mode Select] で行います。SDI OUT端子2、HDMI端子、VIDEO OUT端子、およびi.LINK端子からは、LCDモニターと同じ映像が出力されます。

Normalモード：LCDモニターに表示されている映像と同じ映像を出力します。

Throughモード：操作状況にかかわらず、常にSDI IN入力信号を出力します。

Autoモード：本機で再生操作（PLAY/PAUSE、F FWD、F REV）を行っているときは、再生映像を出力します。それ以外のときは、SDI IN入力信号を出力します。Autoモードでは、[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/Video Out Super]（64ページ）が [Off] になり、文字情報が出力されません。

記録する

ご注意

本機の近くで携帯電話や無線機を使用すると、周波数や出力電力によって記録・再生が止まる場合があります。影響がない距離を確保してお使いください。

1 記録する入力信号を [VIDEO SET] メニューの [Input Source Select] で選択する。

2 RECボタンを押しながら、PLAY/PAUSEボタンを押す。

設定されているビデオフォーマットと入力信号のフォーマットが異なっていたり、信号が入力されていないなどの理由で正常な記録が行われていない場合は、「●REC」表示が点滅します。

記録を終了するには

STOP/EEボタンを押します。

記録が停止し、本機がE-Eモードになります。

クリップを削除するには

[Last Clip DEL] 機能（36ページ）を使用すると、直前に記録したクリップを削除できます。[All Clips DEL] 機能（36ページ）を使用すると、SxSメモリーカードに記録された全クリップを削除できます。クリップを指定して削除する場合は、サムネイル画面（42ページ）から操作してください。

クリップ（記録データ）

記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、ひとつの「クリップ」としてSxSメモリーカードに記録されます。

クリップ名について

本機で記録されるクリップには、[OTHERS]メニューの[Clip]（72ページ）の[Auto Naming]で選択した方法で、自動的にクリップ名がつけられます。

初期設定では、[Auto Naming]が[Plan]に設定されています。プランニングメタデータが読み込まれていれば、プランニングメタデータに設定されているクリップ名がつけられます。

[Auto Naming]を[Title]に変更すると、「4～46文字の英数字」と「4桁の番号」からなるクリップ名がつけられます。

例：ABCD0001

クリップ名の「4～46文字の英数字」部分には[OTHERS]メニューの[Clip]で記録開始前に任意の文字列を設定することも可能です。（記録後に変更することはできません。）「4桁の番号」部分は、記録順に自動的にカウントアップされます。

記録されるクリップについて

クリップのファイルサイズの上限は、UDFおよびexFATで43 GB、FAT/HDモードで4 GB、FAT/SDモードで2 GBです。

長時間の連続記録を行うと、ファイルサイズの関係で、記録された素材が複数のファイルに分割されることがあります（最大分割数は99）。

FATモードでは、複数のファイルに分割された場合でも、本機上ではひとつのクリップとして扱います。

クリップの記録時間によっては、AとBのカードスロットに挿入した2枚のSxSメモリーカードにまたがって記録できます。コンピューターを使用して、記録したクリップをHDDなどにコピーする場合は、連続性を保つため、専用のアプリケーションソフトウェアをダウンロードして使用することをおすすめします（109ページ）。

ご注意

「Explorer」（Windows環境）や「Finder」（MAC環境）を使用してコピーなど行った場合は記録素材の連続性、関連性を保持できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

クリップの最大時間

クリップの最大時間は、FAT（MP4、AVI）では24時間、UDF（MXF）およびexFAT（MXF）では6時間です。録画時間がクリップの最大時間を超える場合、録画を継続したまま自動的に新しいクリップが作られます。新しいクリップはサムネイル画面で別のクリップとして確認できます。

便利な機能を使う

カラーバー／基準音声信号

[VIDEO SET] メニューの [Color Bars On/Off] (62ページ) を [On] に設定すると、映像に代えてカラーバーを出力できます。[Off] に設定すると撮像画に戻ります。

[AUDIO SET] メニューの [Audio Output] (62ページ) で、[1KHz Tone] を [On] に設定すると、カラーバーと同時に1KHzの基準音声信号が出力されます。

カラーバーと基準音声信号は、SDI OUT端子 1/2、HDMI OUT端子、i.LINK端子、VIDEO OUT端子（カラーバーのみ）、AUDIO OUT端子（基準音声信号のみ）から出力されます。

カラーバーの種類は、[VIDEO SET] メニューの [Color Bars Type] で選択できます。

ショットマーク

UDF **exFAT** **FAT/HD**

UDFまたはexFAT、FAT/HDモードで記録したクリップでは、映像／音声の重要なシーンにショットマークを記録できます。これにより、「ショットマーク画面」(52ページ)で目的のシーンを容易に頭出しできるようになります。

本機では、ショットマーク1、ショットマーク2の2種類のショットマークを記録できます。

ショットマークは記録中に随時設定するか、記録終了後にサムネイル画面で再生画像を確認しながら追加できます。

ショットマーク1、ショットマーク2をイン点、アウト点として扱い、イン点アウト点の間を再生することもできます (45ページ)。

記録中にショットマークを設定する

アサインابلボタン (34ページ) に [Shot Mark1] または [Shot Mark2] を割り当て

て、ショットマークを入れたいシーンで、ボタンを押します。

再生中にショットマークを設定する

クリップの再生中に、ショットマークを入れたい部分で [Shot Mark1] または [Shot Mark2] を割り当てたアサインابلボタンを押します。

ご注意

SxSメモリーカードがプロテクトされている場合にはショットマークは記録できません。クリップの先頭と末尾にはショットマークは記録できません。

ショットマーク画面でもショットマークの追加、削除ができます (53ページ)。

- ◆ プランニングメタデータを使ってショットマーク名をつける方法は、「プランニングメタデータでショットマーク名を設定する」(40ページ) をご覧ください。

OK/NG/KPフラグ

UDF **exFAT**

UDFまたはexFATで記録したクリップは、OK/NG/KPフラグを付加できます。フラグを付加することによって、必要なクリップのみサムネイル画面 (OK/NG/KP/Noneクリップサムネイル画面) (43ページ) に表示できます。

ご注意

クリップを保護するには、[LOCK CLIP] の設定 (48ページ) が必要です。

フラグを付加する

記録中または再生中に、[Clip Flag OK] / [Clip Flag NG] / [Clip Flag Keep] を割り当てたアサインابلボタンを押します。

フラグを削除する

[Clip Flag OK] / [Clip Flag NG] / [Clip Flag Keep] を割り当てたアサインابلボタンを2回続けて押します。

- ◆ サムネイル画面からもOK/NG/KPフラグを付加、削除できます。詳しくは「OK/NG/KPフラグ」(50ページ) をご覧ください。

OKマーク **FAT/HD**

FAT/HDモードで記録したクリップは、OKマークを付加することによって、誤って削除・分割されることを防ぐことができます。また、OKマークでマーキングすることによって、必要なクリップのみサムネイル画面（OKクリップサムネイル画面）（43ページ）に表示できます。

OK マークを付加する

記録を停止し、[OK Mark] を割り当てたアサインボタンを押します。

記録待機中に、選択されているメモリーカードに最後に記録されたクリップ（[Last Clip]）にOKマークを付加できます。

OK マークを削除する

[OK Mark] を割り当てたアサインボタンを押して、[Execute] を選びます。

記録待機中に、メモリーカードの最後のクリップに付加されたOKマークのみ削除できます。

ひとつ以上前のクリップに OK マークを付加・削除する

サムネイル画面から設定します（50ページ）。

アサインボタン

本機には、機能を変更して使用できるアサインボタン（8ページ）が5個あります。

機能を変更するには

[OTHERS] メニューの [Assign Button]（69ページ）を使用します。

割り当てられた機能は、ボタン／リモートステータス画面（56ページ）で確認できます。

クリップコンティニユアスレック

UDF **exFAT**

通常は記録開始、停止のたびに1つのクリップが独立したファイルとして生成されますが、クリップコンティニユアスレック機能を使用すると、記録と停止を繰り返しても、

機能が停止または解除されるまで連続した1つのクリップを生成できます。

短いクリップを数多く生成したくないとき、または記録できるクリップ数の上限を意識しないで記録したいときに便利な機能です。記録の開始点にはレックススタートマークが記録されるため、記録開始位置の検索も容易です。

記録前の設定

[VIDEO SET] メニューの [Clip Cont. Rec Setting]（64ページ）を [On] にします。クリップコンティニユアスレック機能が有効になり、画面上に「CONT」が表示されます（10ページ）。

アサインボタン（34ページ）に [Clip Continuous Rec]（クリップコンティニユアスレック機能）を割り当てて、ボタン操作でON/OFFを切り換えることもできます。

ご注意

- 記録中はクリップコンティニユアスレックモードにできません。
- FATでは使用できません。
- 2スロット同時記録との併用はできません。

クリップコンティニユアスレックで記録する

RECボタンを押しながら、PLAY/PAUSEボタンを押します。

記録を開始すると、画面上の「CONT」表示が「●REC」（●は赤）表示に変わります。

記録を一時停止するには、PLAY/PAUSEボタンを押します。再開するには、RECボタンを押しながら、PLAY/PAUSEボタンを押します。

STOP/EEボタンを押すと、クリップが閉じられます。クリップコンティニユアスモードで、継続中のクリップがない場合は、「CONT」表示が点滅します。

赤外線リモコンで操作する場合は、START/STOPボタンで記録を開始し、START/STOPボタンまたはPAUSEボタンで一時停止します。再開するには、再びSTART/STOPボタンを押します。STOPボタンを押すとクリップが閉じられます。

ご注意

- 記録中または記録待機中（「CONT」表示が点灯した状態）にSxSメモリーカードを取り出したり、バッテリーや電源を抜くと、SxSメモリーカードの修復が必要になります。クリップコンティニユアスレックモードを終了してからSxSメモリーカードを取り出してください。なお、「CONT」が点滅（1回／秒）しているときは、SxSメモリーカードを取り出すことができます。
- 最低2秒間記録してから記録を停止してください。
- [Input Source Select] が [i.LINK] の場合は、クリップコンティニユアスレック機能が無効になります。

クリップコンティニユアスレックモードを終了するには

記録待機中に、[VIDEO SET] メニューの [Clip Cont. Rec Setting]（64ページ）を [Off] にします。

動作制限

記録中または記録待機中に以下の操作を行うと、1つのつながったクリップが作成されません。次に記録を行うと、新たなクリップが生成されます。

- クリップ操作（クリップのロック、削除、または名前の変更）
- メモリーカードスロットの切り換え
- 記録フォーマットの変更
- 電源ボタンで電源を切る
- サムネイル画面を表示する
- クリップを再生する

ループ記録 UDF exFAT

2枚のSxSメモリーカードを使用して交互に記録、消去を行うことで、一定時間の映像を記録し続けることができます。

記録前の設定

[VIDEO SET] メニューの [Segment Loop Rec]（64ページ）を [On] にします。ループ記録が有効になり、画面上に「SL-REC」が点灯します（10ページ）。

また、[Segment Duration] で記録保持時間を設定します。

ループ記録では、記録を停止したときのメモリーカードの記録状況によって、クリップに記録が残っている時間が異なります。

[Segment Duration] で [15-35min] を選択したときは、最短15分、最長35分の記録が残ります。[Segment Duration] に [15-35min] を選択する場合、各SxSメモリーカードの空き容量が25分以上必要です。[30-65min] の場合は、40分以上必要です。

ご注意

- ループ記録には、SxSメモリーカードを使用してください。メディアアダプターを使って他のメモリーカードに記録することはできません。
- FATでは使用できません。
- 2スロット同時記録との併用はできません。

ループ記録を開始する

RECボタンを押しながら、PLAY/PAUSEボタンを押します。

記録を開始すると画面上に「●REC」が表示されます。

STOP/EEボタンを押すと、記録を停止しクリップが閉じられます。同時に、[Segment Loop Rec] の設定が [Off] になります。ループ記録中にRECボタンとPLAY/PAUSEボタンを同時に押すと、通常記録に切り換わり、シームレスにクリップの記録が続けられます。切り換わると、画面上の「SL-REC」が消灯します。

ご注意

- ループ記録はSxSメモリーカードに対して記録／削除を繰り返し行うため、書き換え寿命が早くなります。定期的にメモリーカードの残寿命を確認してください。
- ループ記録を1週間以上継続して使用する場合は、週に一度本機を再起動してください。また、ループが行われないなど動作に異常がみられる場合も、再起動してください。

動作制限

ループ記録中に以下の操作を行うと、通常記録に切り換わり、[Segment Loop Rec] の設定が自動的に [Off] になります。

- メモリーカードスロットの切り換え
- 記録中でないメディアの取り出し

2スロット同時記録

UDF/HD

exFAT/HD

メモリーカードAとメモリーカードBの両方のメモリーカードを使って、同時記録が行えます。

記録前の設定

2スロット同時記録を始める前に、あらかじめ [VIDEO SET] メニューの [Simul Rec] (64ページ) を [Simul] に設定してください。

対応メディア

SxS PRO+シリーズ

SxS PROシリーズ

SxS-1シリーズ

XQDメモリーカードシリーズ

SDXCカード (exFATのみ)

対応フォーマット

[OTHERS] メニューの [System] で、UDF/HDモードまたはexFAT/HDモードのとき

◆ 詳しくは、「記録ビデオフォーマット ([Rec Format])」(89ページ) をご覧ください。

ご注意

- 2スロット同時記録の際は、同じ種類、同じサイズのメモリーカードを使用してください。
- SxSメモリーカードの使用を推奨いたします。
- SDHCカードは、2スロット同時記録機能には対応していません。

2スロット同時記録モードで記録する

記録前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

REC ボタンを押しながら、PLAY/PAUSE ボタンを押す。

記録の開始、停止の操作は、通常の記録時と同じです。

ご注意

- 2スロット同時記録は、クリップコンティニュアスレック機能およびループ記録機能と併用することはできません。
- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、2スロット同時記録機能は設定できません。

- 記録中に一方のスロットのメディアがフルになった場合は、もう一方のスロットのメディアが記録可能であれば、通常記録として継続記録します。通常記録として継続記録中にメディアを交換しても、同時記録やリレー記録は行われません。
- 2スロット同時記録モードで記録を開始したとき、どちらか一方のスロットにのみメディアが挿入されていた場合やメディアがフルになっていた場合は、記録可能なメディアにのみ記録を行います。
- 同時記録時は、IFU-WLM3は使用できません。

クリップの削除

記録待機中は、直前に記録したクリップの削除 ([Last Clip DEL]) およびSxSメモリーカードに記録されたクリップの一括削除 ([All Clips DEL]) が可能です。

◆ サムネイル画面でのクリップ削除については、「クリップの削除」(51ページ) をご覧ください。

アサインブルボタンで削除する

あらかじめアサインブルボタンのいずれかに [Last Clip DEL] 機能を割り当ててください (34ページ)。

[Last Clip DEL] 機能を割り当てたアサインブルボタンを押して、[Execute] を選択すると、最後に記録されたクリップがSxSメモリーカードから削除されます。

セットアップメニューで削除する

[OTHERS] メニューの [Clip] (72ページ) から [Last Clip DEL] を選択して [Execute] を選択し、再度 [Execute] を選択すると、最後に記録されたクリップがSxSメモリーカードから削除されます。

ご注意

クリップコンティニュアスレックが [On] のときは、[Last Clip DEL] を選択できません。

クリップを一括削除する

[OTHERS] メニューの [Clip] (72ページ) から [All Clips DEL] を選択して [Execute] を選択し、再度 [Execute] を選択すると、すべてのクリップがSxSメモリーカードから削除されます。

ご注意

- HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみ削除されます。
- FATの場合は、OKマーク (34ページ) が付加されたクリップは削除されません。UDF、exFATの場合は、[Lock Clip] (48ページ) が設定されているクリップは削除されません。

設定データの保存と呼び出し

本機では、メニューの全設定データを、セットアップファイルとしてSxSメモリーカードまたはUSBメモリーに保存できます。保存したセットアップファイルを読み出すことによって、適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

ご注意

[OTHERS] メニューの [Clock Set] と [Hours Meter] の値は保存されません。

セットアップファイルを保存する

SxS メモリーカードを使うときは

セットアップファイルは「SETUP.SUF」というファイル名で、1枚のSxSメモリーカードに1ファイルのみ保存できます。

1 セットアップファイルを保存するSxSメモリーカードをカードスロットに入れる。

挿入したカードが選択されていることを確認してください。

2 [OTHERS] メニューの [Setup Data] (68ページ) の [Store(SxS)] を選び、[Execute] を選択する。

ご注意

手順1で指定したSxSメモリーカードにすでにセットアップファイルが保存されている場合は、上書

きを許可するかどうかの確認メッセージが表示されます。

USB メモリーを使うときは

UDF **exFAT**

外部機器接続端子にフォーマット済みのUSBメモリーを接続します。

手順2で [Store(USB)] > [Execute] を選択します。

セットアップファイルを読み出す

SxS メモリーカードを使うときは

SxSメモリーカードに保存したセットアップファイルを読み出すと、本機は保存された状態に設定されます。

1 セットアップファイルを保存したSxSメモリーカードをカードスロットに入れる。

挿入したカードが選択されていることを確認してください。

2 [OTHERS] メニューの [Setup Data] (68ページ) の [Recall(SxS)] を選び、[Execute] を選択する。

USB メモリーを使うときは

UDF **exFAT**

外部機器接続端子にフォーマット済みのUSBメモリーを接続します。

手順2で [Recall(USB)] > [Execute] を選択します。

標準設定値に戻す

[OTHERS] メニューで [All Reset] を実行すると、メニューやボタン操作で変更した本機の状態を、すべて標準設定値 (工場出荷時の設定) に戻すことができます。

プランニングメタデータ

プランニングメタデータとは、撮影・記録の計画情報が記述されているXMLファイルです。プランニングメタデータファイルで、あらかじめ定義したクリップ名やショットマーク名を使用して、撮影できます。

本機では、以下の言語で定義されたクリップ名やショットマーク名を表示できます。

英語／中国語／ドイツ語／フランス語／イタリア語／スペイン語／オランダ語／ポルトガル語／スウェーデン語／ノルウェー語／デンマーク語／フィンランド語

ご注意

- 上記以外の言語でクリップ名やショットマーク名を定義した場合、LCDモニターに表示されない場合があります。
- フランス語、オランダ語、フィンランド語でクリップ名やショットマーク名を定義した場合、一部の文字が他の類似のフォントで表示されます。
- 日本語でクリップ名やショットマーク名を定義すると、一部の文字が他のフォントに置き換えられ、LCDモニターに正しく表示されないことがあります。

プランニングメタデータファイルを読み込む

クリップの記録時にプランニングメタデータファイルを一緒に記録するには、記録前にプランニングメタデータファイルを本機のメモリーに読み込んでおく必要があります。

SxS メモリーカードを使うときは

以下のディレクトリーにプランニングメタデータファイル（.xml）を保存したSxSメモリーカードを本機のカードスロットに挿入し、[OTHERS] メニューの

[Plan.Metadata]（74ページ）で [Load / Slot(A)] または [Load / Slot(B)] を選択して読み込むファイルを選びます。

UDF：General/Sony/Planning

exFAT：XDROOT/General/Sony/Planning

FAT：BPAV/General/Sony/Planning

USB メモリーを使うときは

UDF **exFAT**

あらかじめ [OTHERS] メニューの [Power Enable]（75ページ）で [USB A] を選択しておいてください。

ご注意

[USB A] を選択しないでUSBメモリーを接続した場合、正常に動作しないことがあります。

1 FAT32ファイルシステムでフォーマット済みのUSBメモリーを、外部機器接続端子に接続する。

ファイルリストが表示されます。

ご注意

ファイルリストには、ファイルは64個まで表示されます。

プランニングメタデータファイルの総数が64個以下であっても、USBメモリー内のプランニングメタデータファイルと同じディレクトリー（General/Sony/Planning）に512個以上のファイルがあると、すべてのプランニングメタデータファイルが表示されないことがあります。

2 ファイルリストから読みたいファイルを選択し、SEL/SETボタンを押す。

プランニングメタデータの詳細情報を確認する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータのファイル名や作成日時、タイトルなどの詳細情報を確認できます。

[OTHERS] メニューの [Plan.Metadata]（74ページ）で [Properties] を選択し、[Execute] を選びます。

ワイヤレス LAN 機能を使うときは

本機とデバイスをワイヤレスLAN接続している場合は、デバイスから本機のWebメニューにアクセスしてファイルを送信します。

1 デバイスでブラウザを起動し、ブラウザのアドレスバーに「http://本機のIPアドレス（75ページ）」を入力する。

2 ユーザー名とパスワードを入力して、[OK] をクリックする。

User name: admin

Password: pmw-rx50

読み込んだプランニングメタデータを消去する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータをメモリーから消去します。

[OTHERS] メニューの [Plan.Metadata]（74ページ）で [Clear] > [Execute] を選びます。

プランニングメタデータでクリップ名を設定する

プランニングメタデータには、次の2種類のクリップ名文字列を記述できます。

- LCDモニター上に表示できるASCII形式の名称
- 実際にクリップ名として登録されるUTF-8形式の名称

[OTHERS] メニューの [Plan.Metadata] (74ページ) で [Clip Name Disp] を選択し、どちらのクリップ名を表示するか選びます。

プランニングメタデータでクリップ名を設定すると、LCDモニターの動作状態表示の下にクリップ名が表示されます。

クリップ名文字列の記述例

テキストエディターを使用して、プランニングメタデータの<Title>タグの内容を変更します。

網掛け部分がクリップ名文字列です。

「Typhoon」はASCII形式（44文字以下）で記述しています。「台風東京上陸」はUTF-8形式（44バイト以下）で記述しています。「sp」はスペース、←は改行を表します。

```
<?xmlspversion="1.0"spencoding="UTF-8"?>←
<PlanningMetadataspxmlns="http://
xmlns.sony.net/pro/metadata/
planningmetadata" spassignId="
P0001" spcreationDate="
2011-08-20T17:00:00+09:00"sp
lastUpdate="
2011-09-28T10:30:00+09:00"sp
version="1.00">←
  <Properties sppropertyId="
assignment" spupdate="
2011-09-28T10:30:00+09:00"sp
modifiedBy="Chris">←
    <TitlespusAscii="Typhoon"sp
xml:lang="ja">台風東京上陸
  </Title>←
</Properties>←
</PlanningMetadata>←
```

ご注意

- 実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、「sp」が表示されていない位置にはスペースは入れずに1つの文として記述してください。
- クリップ名に使用できる有効文字数は44バイト（または44文字）です。UTF-8形式で44バイトを超えるクリップ名を定義すると、44バイトまでの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式のクリップ名のみ定義している場合は、ASCII形式の44文字までの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式で記述した文字列、UTF-8形式で記述した文字列が、いずれもクリップ名として使用できない場合、クリップ名は標準形式となります。

プランニングメタデータで記述したクリップ名をつける

クリップ名を記述したプランニングメタデータファイルを本機のメモリーに読み込み、[OTHERS] メニューの [Clip] (72ページ) で [Auto Naming] を選択し、[Plan] を選びます。

記録を行うたびに、プランニングメタデータファイルに記述したクリップ名が、アンダーバー (_) と5桁の通し番号 (00001～99999) が付加された形式で自動生成されます。

例：台風東京上陸_00001、台風東京上陸_00002、...

ご注意

- 通し番号が99999に達したら、次の記録操作で00001に戻ります。
- 他のプランニングメタデータを読み込むと、5桁の通し番号は00001に戻ります。
- 日本語のクリップ名は、一部の文字が他のフォントで表示されることがあります。

プランニングメタデータでショットマーク名を設定する

ショットマーク1、2を記録するとき、プランニングメタデータで定義した文字列でショットマーク名を記録できます。

ショットマーク名文字列の記述形式

テキストエディターを使用して、プランニングメタデータの<Meta name>タグの内容を変更します。

網掛け部分がショットマーク名文字列です。ASCII形式（32文字以下）、またはUTF-8形式（16文字以下）で記述します。「sp」はスペース、←は改行を表します。

ご注意

ASCII形式以外の文字が1文字以上含まれていれば、その文字列の最大長は16文字になります。

```
<?xmlspversion="1.0"spencoding="UTF-8"?>←
<PlanningMetadata xmlns="http://
xmlns.sony.net/pro/metadata/
planningmetadata"spassignId="
H00123"spcreationDate="
2011-04-15T08:00:00Z"splastUpdate="
2011-04-15T15:00:00Z"spversion="
"1.00">←
<PropertiessppropertyId="
"assignment"spclass="original"sp
update="2011-04-15T15:00:00Z"sp
modifiedBy="Chris">←
  <TitlespusAscii="Football
Game"spxml:lang="ja">
Football Game 15/04/2011
</Title>←
  <Metaspname="_ShotMark1"sp
content="Goal"/>←
  <Metaspname="_ShotMark2"sp
content="Shoot"/>←
</Properties>←
</PlanningMetadata>←
```

ご注意

実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、ショットマーク名文字列以外では「sp」が表示されていない位置にはスペースは入れずに1つの文として記述してください。

プランニングメタデータを一括コピーする

1枚のSxSメモリーカードの「General」フォルダーに記録されているプランニングメタデータを、別のSxSメモリーカードにまとめてコピーできます。

[OTHERS] メニューの [Copy All]（73ページ）から [General Files] を選択します。

USBメモリーについて

ソニー製USBメモリーを使用することをおすすめします。

ご注意

- 記録容量が4 GBから32 GBまでのUSBメモリーを使用してください。
- 推奨品以外のUSBメモリーは、外部機器接続端子に接続しても認識されないことがあります。

フォーマット（初期化）するには

USBメモリーはFAT32ファイルシステムでフォーマットされている必要があります。

1 USBメモリーを、外部機器接続端子に接続する。

未フォーマットの場合や本機が対応しないフォーマット形式の場合は、使用できない旨のメッセージがLCDモニターに表示されます。

2 [OTHERS] メニューの [USB Set] > [Format USB] で [FAT32] を選択する。

[FAT32] を選択すると、フォーマットを実行するかを確認するメッセージがLCDモニターに表示されます。

ご注意

あらかじめ [OTHERS] メニューの [Power Enable]（75ページ）で [USB A] を選択しておいてください。

3 [Execute] を選択し、SEL/SETボタンを押す。

フォーマットが終了すると、「Format USB Memory Done」が表示されます。USBメモリー内に、「\MSSONYPRO\XDCAM\MEMDISC」フォルダーと

「\General\Sony\Planning」フォルダー
が自動生成されます。

USB メモリーを修復するには

ファイルシステムが壊れているなど正常に
マウントできない状態のUSBメモリーを接
続すると、修復を実行するかどうかを確認
するメッセージがLCDモニター画面に表示
されます。

[Execute] を選択し、SEL/SETボタンを押
してください。

修復が終了すると、「Restore USB Memory
Done」が表示されます。

サムネイル画面

THUMBNAILボタン（7ページ）を押すと、SxSメモリーカードに収録されているクリップが、サムネイル（縮小画）画面に表示されます。

サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。再生画像は、LCDモニター、外部ビデオモニターに表示できます。

STOP/EEボタン（8ページ）を押すと、サムネイル画面を終了し、記録待機画面に戻ります。

ご注意

通常のサムネイル画面では、同じSxSメモリーカードにHD/SDのクリップが混在して記録されている場合でも、[OTHERS]メニューの[System]（70ページ）の[HD/SD]で選択されているモードのクリップのみ表示されます。HD/SDモードにかかわらず記録されている全クリップを表示したい場合は、オールクリップサムネイル画面（43ページ）に切り換えます。

サムネイル画面の構成

画面下部には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。



1. サムネイル（縮小画）

UDF、exFAT、FAT/HDモード：表示されるサムネイルは、各クリップの代表画像です。記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。任意のフレームに変更することもできます（53ページ）。クリップがロックされている、またはOKマークが付加されている場合はロックマーク が表示されます。

FAT/SDモード：表示されるサムネイルは、各クリップの先頭フレームです。ファイルサイズが2 GBを超えて分割保存されたクリップの場合はテイクマーク が表示されます。それぞれの分割ファイルは、クリップエクスパンド画面（51ページ）で見ることができます。

2. 収録年月日と録画開始時刻

3. クリップ名

FAT/SDモードでファイルサイズが2 GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、クリップ名の後に/ (スラッシュ) で区切ってクリップの分割数が表示されます。

4. ロックマーク **UDF** **exFAT** **FAT/HD**

UDF、exFAT：選択しているクリップがロックされている場合にロックマークが表示されます。

FAT/HDモード：選択しているクリップにOKマークが付加されている場合にロックマークが表示されます。

5. AV単独ファイルアイコン

UDF **exFAT** **FAT/HD**

選択したクリップがAV単独ファイルの場合のみ表示されます。コンピューターでSxSメモリーカードに直接追加したファイルなど正規の管理ファイルがない場合で、すべての操作と表示ができない可能性があります。

6. 記録時のビデオフォーマット

7. ファイルフォーマット

選択したクリップのファイルフォーマット (MXF、MP4、AVI) が表示されます。
(UDF/HD、exFAT/HDモード時は表示されません。)

8. クリップの収録時間 (Duration)

9. タイムコード

代表画のタイムコードが表示されます。

10. OK/NG/KPマーク

UDF **exFAT** **FAT/HD**

UDF、exFAT：選択したクリップにOK/NG/KPフラグが付加されている場合は、そのマークが表示されます。

FAT/HDモード：選択したクリップにOKマークが付加されている場合は、OKマークが表示されます。

11. 特殊記録撮影情報

UDF **exFAT** **FAT/HD**

特殊記録モード (スロー & クイックモーション、インターバルレック、フレームレック) で記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。

スロー & クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側に「撮影フレームレート/再生フレームレート」が表示されます。

サムネイル画面の種類を変更する

THUMBNAILボタン (7ページ) を押すごとに、以下のとおりサムネイル画面の種類を切り換えることができます。

UDF、exFAT

通常のサムネイル画面、OK/NG/KP/Noneクリップサムネイル画面、オールクリップサムネイル画面が切り換わります。

FAT/HD モード

通常のサムネイル画面、OKクリップサムネイル画面、オールクリップサムネイル画面が切り換わります。

FAT/SD モード

通常のサムネイル画面とオールクリップサムネイル画面が切り換わります。

OK/NG/KP/Noneクリップサムネイル画面

選択されているSxSメモリーカードに記録されたクリップの中で、OK/NG/KPフラグのいずれかのフラグが付加されたクリップ、またはフラグが付加されていないクリップ (None) のみが表示されます。

[OTHERS] メニューの [Clip] (72ページ) の [Filter Clips] で、表示するフラグを選択できます。

OKクリップサムネイル画面

選択されているSxSメモリーカードに記録されたクリップの中で、OKマークが付加されたクリップのみが表示されます。

オールクリップサムネイル画面

HD/SDモードにかかわらず、記録されているすべてのクリップが表示され、選択されているSxSメモリーカードに他のモードのク

リップも記録されているかどうかを確認することができます。

ご注意

オールクリップサムネイル画面から再生を開始することはできません。
もう一度THUMBNAILボタンを押すと通常のサムネイル画面に戻り、再生やクリップ操作が可能になります。

SxSメモリーカードを切り換える

SxSメモリーカードが2枚装着されているときは、SLOT SELECTボタン（6ページ）を押して切り換えます。

ご注意

サムネイル画面が表示されているとき、またはSTOP/EEボタンを押して外部入力画像が表示されているときのみ、切り換え可能です。
再生中にSxSメモリーカードを切り換えることはできません。
またスロットAからスロットBへの連続再生はできません。

クリップの再生

再生には上面パネル（7ページ）の再生コントロールボタンを使用します。赤外線リモコンを有効にしたときは、リモコンのボタンでも操作できます（70ページ）。

選択したクリップ以降のクリップを連続再生する

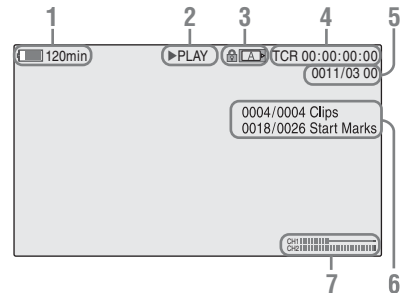
- 1 再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。
- 2 **PLAY/PAUSE**ボタンを押す。
選択したクリップの先頭から再生が始まります。

ご注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は、再生コントロールボタンやTHUMBNAILボタンは操作できません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、PREVボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

再生中の画像に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



1. バッテリー残量／DC IN電圧表示

2. 再生モード表示

3. SxSメモリーカード表示

SxSメモリーカードがプロテクトされている場合は、左に  マークが表示されます。

4. タイムデータ表示

DURATION/TC/U-BITボタンを押すたびに、タイムコード（TCR）表示とユーザービット（UB表示）が切り換わります。

5. クリップ番号／クリップ総数

FATの場合に表示されます。また、UDFおよびexFATで [OTHERS] メニューの [Clip]（72ページ）の [Find Mode] が [Clip] の場合に表示されます。

6. クリップ番号／クリップ総数、エッセンスマーク番号／エッセンスマーク総数

UDFおよびexFATで [OTHERS] メニューの [Clip]（72ページ）の [Find Mode] が [Rec Start] の場合に表示されます。

7. オーディオレベル表示

記録時のオーディオレベルを表示します。

イン点－アウト点間を再生する

再生開始位置と終了位置を指定しておく、その間だけを再生することができます。選択したクリップ以降のクリップのイン点－アウト点間が連続して再生されます。

ご注意

FAT/SDモードでは、ショットマークを設定できないため、イン点－アウト点間再生はできません。

イン点アウト点を指定する

クリップにショットマーク1およびショットマーク2を設定すると、イン点とアウト点として扱われます。

他の機器でショットマークを記録したクリップを本機で再生する場合は、本機で記録したクリップと同様に、ショットマーク1～2間の再生ができます。

本機でショットマークを記録したクリップを他の機器で再生した場合は、イン点アウト点としては扱われません。

再生するクリップを選択する

OKフラグ、またはOKマークの付いたクリップのみ、イン点－アウト点再生が可能です。

区間再生するクリップを選択するには、サムネイル画面でクリップにOKフラグまたはOKマークを付加します。

イン点－アウト点間を再生する

クリップ操作メニューで [PARTIAL PLAYBACK] を選択します。

OKクリップの先頭クリップから再生が始まります。

先頭クリップの再生が終わると、次のOKフラグ／マークの付加されたクリップを連続して再生します。

ショットマーク1のみ設定されているクリップは、ショットマーク1からクリップの最後まで再生します。ショットマーク2のみ設定されているクリップは、クリップの先頭からショットマーク2まで再生します。

クリップ操作メニューで [P-PLAY & SDI REC] を選択すると、イン点－アウト点間再生を始めると同時にRECトリガー信号を出力し、CBK-WA100でプロキシファイルの記録を開始することができます。CBK-WA100での記録を停止する場合は、STOP/EEボタンを押して再生とRECトリガーの出力を停止します。

ご注意

イン点－アウト点再生の場合、i.LINK (DVCAM/HDV)の出力は行われません。

トリム：イン点、アウト点を微調整する

再生開始位置、終了位置を細かく指定することができます。

- 1 ショットマーク画面（52ページ）を表示する。
- 2 調整したいショットマークの位置を選択し、クリップ操作メニューの [TRIM SHOT MARK1/2] を選択する。

選択されたフレームの静止画が表示されます。

3 高速再生、再生／一時停止、スロー再生（右／左ボタンを押す）を行い、ショットマークを設定したいフレームに移動する。

4 SEL/SETボタンを押す。

現在の位置に**3**で選択したのと同じ種類のショットマークが設定され、OKクリップサムネイル画面に戻ります。

最後のクリップの先頭から再生するには
F FWDボタンとNEXTボタンを同時に押します。

クリップを繰り返し再生する

1 サムネイル画面で再生したいクリップのサムネイルを選択する。

2 クリップ操作メニューの[CLIP REPEAT]を選択する。

選択したクリップの再生が始まり、クリップの最後に到達すると最初に戻って再生します。

繰り返し再生を停止するには

STOP/EEボタンまたはTHUMBNAILボタンを押します。

音声を聞く

標準再生モードでは、記録されている音声を内蔵スピーカー（6ページ）またはヘッドホンでモニターできます。

ヘッドホン端子（6ページ）にヘッドホンをつなぐと、内蔵スピーカーはオフになります。

VOLUMEスイッチ（6ページ）を押して音量を調整します。

モニターするチャンネルは、[AUDIO SET]メニューの[Audio Output]（62ページ）で選択できます。

頭出しする

最初のクリップの先頭から再生するには
PREVボタンとF REVボタンを同時に押します。

クリップ操作

サムネイル画面などの再生モードでは、クリップ操作メニューを使用してクリップの操作、詳細情報の確認、付随データの変更などが可能です。下記の画面でSEL/SETボタンを押すと、それぞれ対応するクリップ操作メニューを表示できます。

クリップ操作メニュー構成

サムネイル画面（48ページ）

- CANCEL
- DISP CLIP INFO
- OK MARK ADD（FATのみ）
- OK MARK DELETE（FATのみ）
- OK FLAG ADD（UDF、exFAT）
- NG FLAG ADD（UDF、exFAT）
- KEEP FLAG ADD（UDF、exFAT）
- CLIP FLAG DELETE（UDF、exFAT）
- LOCK CLIP（UDF、exFAT）
- UNLOCK CLIP（UDF、exFAT）
- COPY CLIP(A)
- COPY CLIP(B)
- COPY CLIP(USB)
- DELETE CLIP
- ALL MARKS
- SHOT MARK1
- SHOT MARK2
- REC START MARK（UDF、exFAT）
- EXPAND CLIP
- CLIP REPEAT
- PARTIAL PLAYBACK
- P-PLAY & SDI REC

クリップエキスパンド画面（52ページ）

- CANCEL
- EXPAND(COARSE)

- EXPAND(FINE)
- PAUSE
- SET INDEX PIC
- SHOT MARK1 ADD
- SHOT MARK2 ADD
- SHOT MARK1 DEL
- SHOT MARK2 DEL
- DIVIDE CLIP（FATのみ）
- CLIP REPEAT

ショットマーク画面（53ページ）

- CANCEL
- PAUSE
- SET INDEX PIC
- SHOT MARK1 DEL
- SHOT MARK2 DEL
- DIVIDE CLIP（FATのみ）
- CLIP REPEAT
- TRIM SHOT MARK1
- TRIM SHOT MARK2
- EXPAND(FINEST)

ご注意

SDモードでは選択できるメニューが制限されます。

クリップ操作メニューの基本操作

機能を選択し、SEL/SETボタンを押してください。CANCELボタンを押すと、操作前の画面に戻ります。

クリップ操作メニューで「CANCEL」を選択すると、クリップ操作メニューが消えます。

ご注意

- CBK-WA100を使用してカムコーダーで記録したオリジナルファイルを部分転送しているとき（27ページ）は、操作できない項目があります。
- SxSメモリーカードがプロテクトされているときは、操作できない項目があります。
- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

サムネイル画面のクリップ操作メニュー

項目	機能
DISP CLIP INFO	クリップの詳細情報画面を表示する (49ページ)。
OK MARK ADD ¹⁾	OKマークを付加する (50ページ)。
OK MARK DELETE ¹⁾	OKマークを削除する (50ページ)。
OK FLAG ADD ²⁾	OKフラグを付加する (50ページ)。
NG FLAG ADD ²⁾	NGフラグを付加する (50ページ)。
KEEP FLAG ADD ²⁾	KPフラグを付加する (50ページ)。
CLIP FLAG DELETE ²⁾	フラグを削除する (50ページ)。
LOCK CLIP ²⁾	クリップをロックして保護する (50ページ)。
UNLOCK CLIP ²⁾	保護されたクリップのロックを解除する (50ページ)。
COPY CLIP (A)	選択中のクリップをスロットAまたはBのSxSメモリーカードにコピーする (50ページ)。
COPY CLIP (B)	
COPY CLIP (USB)	選択中のクリップをUSBメディアにコピーする (50ページ)。
DELETE CLIP	クリップを削除する (51ページ)。
ALL MARKS ³⁾	エッセンスマークが記録されているすべてのフレームをサムネイル表示する (52ページ)。
SHOT MARK1 ³⁾	ショットマーク1が記録されているフレームのみをサムネイル表示する (52ページ)。
SHOT MARK2 ³⁾	ショットマーク2が記録されているフレームのみをサムネイル表示する (52ページ)。
REC START MARK ²⁾	レックススタートマークが付加されているフレームおよび先頭フレームにレックススタートマークが付加されていないクリップの先頭フレームをサムネイル表示する (52ページ)。
EXPAND CLIP	クリップエクスパンド画面に切り換える (51ページ)。
CLIP REPEAT	選択したクリップを繰り返し再生する (46ページ)。
PARTIAL PLAYBACK	イン点ーアウト点間を再生する (45ページ)。(OKクリップサムネイル画面のみ)
P-PLAY & SDI REC	イン点ーアウト点間再生と同時にRECトリガー信号を出力する (45ページ)。(OKクリップサムネイル画面のみ)

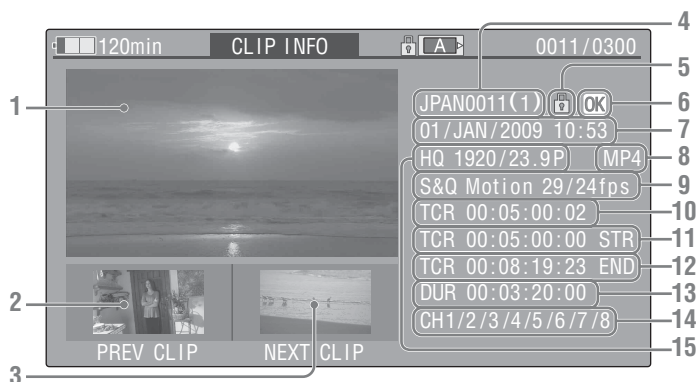
1) FAT/HDモードのみ有効

2) UDF、exFATモードのみ有効

3) UDF、exFAT、FAT/HDモードで有効

クリップの詳細情報を表示する

クリップ操作メニューで [DISP CLIP INFO] を選択します。



1. 現在のクリップの画像

2. 前のクリップの画像

PREVボタンを押すと、ひとつ前のクリップの詳細情報画面になります。
FAT/SDモードで分割保存されたクリップの場合は、ひとつ前の分割クリップの詳細情報画面になります。

3. 次のクリップの画像

NEXTボタンを押すと、次のクリップの詳細情報画面になります。
FAT/SDモードで分割保存されたクリップの場合は、次の分割クリップの詳細情報画面になります。

4. クリップ名

12文字以上のクリップ名の場合、最初の5文字と最後の5文字のみ表示されます。省略された部分を確認したいときは、SEL/SETボタンを押すと、クリップ名全体が表示されます（ロング表示モード）。もう一度SEL/SETボタンを押すとロング表示モードは解除されます。PREV/NEXTで前または次のクリップに切り換えた場合にも、ロング表示モードは解除されます。
FAT/SDモードでファイルサイズが2 GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、クリップ名の後に/（スラッシュ）で区切ってクリップの分割数が表示されます。

5. ロックマーク **UDF** **exFAT** **FAT/HD**

UDF、exFAT：選択しているクリップがロックされている場合にロックマークが表示されます。
FAT/HDモード：選択しているクリップにOKマークが付加されている場合にロックマークが表示されます。

6. OK/NG/KPマーク

UDF **exFAT** **FAT/HD**

UDF、exFAT：選択したクリップにOK/NG/KPフラグが付加されている場合は、そのマークが表示されます。
FAT/HDモード：選択したクリップにOKマークが付加されている場合は、OKマークが表示されます。

7. 収録日と録画開始時刻

8. ファイルフォーマット

選択したクリップのファイルフォーマット（MXF、MP4、AVI）が表示されます。

9. 特殊記録撮影情報

UDF **exFAT** **FAT/HD**

特殊記録モード（スロー＆クイックモーション、インターバルレック、フレームレック）で記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。
スロー＆クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側に「撮影フレーム

レート／再生フレームレートfps」が表示されます。

10. 表示されている画像のタイムコード

11. 記録開始点のタイムコード

12. 記録終了点のタイムコード

13. 収録時間

14. 記録音声チャンネル

15. 記録時のビデオフォーマット

OK/NG/KPフラグ

UDF exFAT

フラグを付加するときは、サムネイル画面のクリップ操作メニュー（48ページ）で [OK FLAG ADD]、[NG FLAG ADD]、[KEEP FLAG ADD] を選びます。フラグを削除するときは、[CLIP FLAG DELETE] を選びます。

ご注意

フラグを付加してもクリップは保護されません。クリップの削除を禁止する場合は、サムネイル画面のクリップ操作メニュー（48ページ）で [LOCK CLIP] を選びます。保護を解除する場合は、[UNLOCK CLIP] を選びます。

OKマーク FAT/HD

OKマークを付加するときはサムネイル画面のクリップ操作メニュー（48ページ）から、[OK MARK ADD] を、削除するときはOK [MARK DELETE] を選びます。

クリップのコピー

クリップを別のSxSメモリーカードにコピーすることができます。コピー先のSxSメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。

ご注意

- コピー先のSxSメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名に1桁の括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。括弧数字は、コピー先に存在しない最小値になります。

例：ABCD0002→ABCD0002(1)
ABCD0002(1)→ABCD0002(2)
ABCD0005(3)→ABCD0005(4)

- FATの場合、コピー回数が10回を超えた場合など、括弧数字(1)～(9)がすでに存在するカードにはそれ以上コピーできません。
- UDF、exFATの場合、コピー回数が1000回を超えた場合など、括弧数字(1)～(999)がすでに存在するカードにはそれ以上コピーできません。
- コピー先のSxSメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されますので、コピー先のSxSメモリーカードを交換してください。
- 複数のクリップが記録されたSxSメモリーカードをコピーする場合は、容量が同じSxSメモリーカードであっても、使用条件やメモリーの特性などにより、すべてのクリップを最後までコピーできない場合があります。

クリップを指定してコピーする

サムネイル画面でクリップを選択して、クリップ操作メニューから [COPY CLIP(A)] または [COPY CLIP(B)] を選びます。

クリップを一括コピーする

[OTHERS] メニューの [Copy All]（73ページ）から [Clips] を選ぶと、同じSxSメモリーカードに記録されているクリップを、別のSxSメモリーカードにまとめてコピーすることができます。

HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみコピーされますので、同一モードのクリップのみ抽出したいときにも便利です。

USB メディアにコピーする

USBメディアを接続しているときは、サムネイル画面でクリップを選択して、クリップ操作メニューから [COPY CLIP(USB)] を選ぶと、USBメディアにクリップをコピーすることができます。

[OTHERS] メニューの [USB SET] > [Copy To USB] を選ぶと、SxSメモリーカードのすべてのクリップをUSBメディアにコピーすることができます。[OTHERS] メニューの [Copy All] と同様に、選択されているモードのクリップのみコピーされます。

クリップの削除

クリップ操作メニューから [DELETE CLIP] を選びます。

ご注意

OKマークや [LOCK CLIP] の設定されたフラグが付加されたクリップは削除できません。削除したいときは、先にOKマークや [LOCK CLIP] を解除してください。

クリップを一括削除する

[OTHERS] メニューの [Clip] (72ページ) から [All Clips DEL] を選びます。

ご注意

- HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみ削除されます。
- OKマークや [LOCK CLIP] の設定されたフラグが付加されたクリップは削除できません。

クリップエクスパンド画面

UDF、exFAT、FAT/HDモードでは、選択したクリップを時間で12分割し、各ブロックの先頭フレームをサムネイルとして表示することができます。

FAT/SDモードでは、ファイルサイズが2 GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、分割されたファイルの先頭のフレームをサムネイルとして表示することができます。

記録時間の長いクリップで、目的のシーンにすばやくキューアップしたい場合などに有効です。

クリップエクスパンド画面は、サムネイル画面で選択したクリップから選択できます。

1 サムネイル画面でクリップを選び、SEL/SETボタンを押す。

2 クリップ操作メニューから、[EXPAND CLIP] を選択する。
サムネイル画面で選択したクリップのエクスパンド画面が表示されます。

UDF、exFAT、FAT/HDモードのクリップエクスパンド画面

選択されているフレームの番号



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

下記の項目以外は、通常のサムネイル画面(42ページ)で表示される項目と共通です。

1. フレーム情報

選択したフレームの情報をアイコンで表示します。

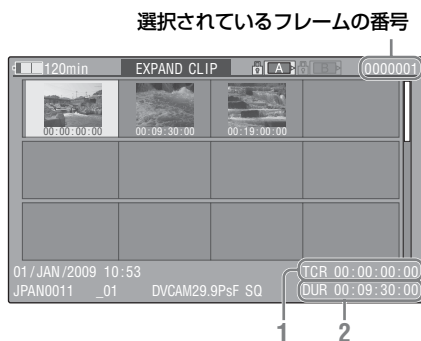
	代表画
	ショットマーク1が付加されたフレーム
	ショットマーク2が付加されたフレーム

それぞれのサムネイル画像の下にも同じアイコンが表示されます。ただし、同じフレームに複数の情報が付加されている場合には、代表画→ショットマーク1→ショットマーク2の優先順位で表示されます。

2. タイムコード表示

エクスパンド画面で選択したフレームのタイムコードを表示します。

FAT/SDモードのクリップエクスパンド画面



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

下記の項目以外は、通常のサムネイル画面（42ページ）で表示される項目と共通です。

1. タイムコード表示

選択されている分割されたファイルのタイムコードを表示します。

2. 収録時間（Duration）

選択されている分割されたファイルの収録時間を表示します。

クリップエクスパンド画面のクリップ操作メニュー

項目	機能
EXPAND (COARSE) ¹⁾	クリップの分割数を減らす。
EXPAND (FINE) ¹⁾	クリップの分割数を増やす。
PAUSE	選択したフレームで再生一時停止モードにする。
SET INDEX PIC ¹⁾	選択したフレームを代表画に設定する（53ページ）。
SHOT MARK1 ADD ¹⁾	選択したフレームにショットマーク1を付加する（53ページ）。
SHOT MARK2 ADD ¹⁾	選択したフレームにショットマーク2を付加する（53ページ）。
SHOT MARK1 DEL ¹⁾	選択したフレームに付加されているショットマーク1を削除する（53ページ）。

項目	機能
SHOT MARK2 DEL ¹⁾	選択したフレームに付加されているショットマーク2を削除する（53ページ）。
DIVIDE CLIP ¹⁾	選択したフレーム位置で2つのクリップに分割する（53ページ）。（FAT/HDモードのみ）
CLIP REPEAT ¹⁾	選択したクリップを繰り返し再生する（46ページ）。

¹⁾UDF、exFAT、FAT/HDモードで有効

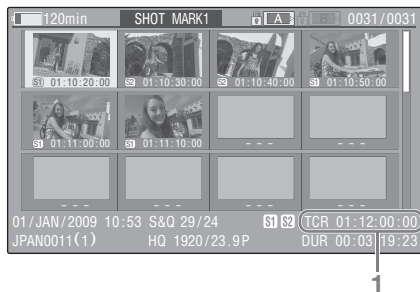
ショットマーク画面

UDF exFAT FAT/HD

ショットマークやレックススタートマークが付加されているフレームだけをサムネイル形式で表示することができます。

- サムネイル画面でクリップを選び、SEL/SETボタンを押す。
- クリップ操作メニューから、[ALL MARKS]、[SHOT MARK1]、[SHOT MARK2]、[REC START MARK] のいずれかを選択する。

ショットマーク画面例（[ALL MARKS] 選択時）



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

以下の項目以外は、UDF、exFAT、FAT/HDモードのクリップエクスパンド画面（51ページ）で表示される項目と共通です。

1. タイムコード表示

ショットマーク画面で選択されているフレームのタイムコード

先頭／最後のフレームにカーソルを移動する

先頭のフレーム：カーソルが任意の場所にある状態でF REVボタンとPREVボタンを一緒に押します。

最後のフレーム：F FWDボタンとNEXTボタンを一緒に押します。

他のクリップのショットマーク画面に切り換える

前のクリップ：カーソルが先頭のフレームにある状態でPREVボタンまたは上ボタンを押します。

次のクリップ：カーソルが最後のフレームにある状態でNEXTボタンまたは下ボタンを押します。

ショットマーク画面でのクリップ操作メニュー

項目	機能
PAUSE	選択したフレームで再生の一時停止モードにする。
SET INDEX PIC	選択したフレームを代表画に設定する（53ページ）。
SHOT MARK1 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク1を削除する（53ページ）。
SHOT MARK2 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク2を削除する（53ページ）。
DIVIDE CLIP	選択したフレーム位置で2つのクリップに分割する（53ページ）。（FAT/HDモードのみ）
CLIP REPEAT	選択したクリップを繰り返し再生する（46ページ）。
TRIM SHOT MARK1	設定されているショットマーク1の設定位置をトリムする（45ページ）。
TRIM SHOT MARK2	設定されているショットマーク2の設定位置をトリムする（45ページ）。
EXPAND (FINEST)	最も細分化された状態でクリップエクスバンド画面を表示し、選択したフレームを画面の中央に表示する。

ショットマークを追加・削除する

一時停止中にショットマークを追加する
クリップ操作メニューから [SHOT MARK1 ADD] または [SHOT MARK2 ADD] を選びます。

クリップエクスバンド画面でショットマークを追加する

クリップ操作メニューから [SHOT MARK1 ADD] または [SHOT MARK2 ADD] を選びます。

ショットマークを削除する

クリップエクスバンド画面（51ページ）またはショットマーク画面（52ページ）でクリップ操作メニューから [SHOT MARK1 DEL] または [SHOT MARK2 DEL] を選びます。

クリップの代表画を変更する

UDF **exFAT** **FAT/HD**

クリップエクスバンド画面（51ページ）やショットマーク画面（52ページ）で選択したフレームを代表画に設定することができます。
クリップ操作メニューから [SET INDEX PIC] を選びます。

ご注意

先頭以外のフレームを代表画に設定しても、サムネイル画面で再生を開始した場合は、常に先頭フレームから再生されます。

クリップを分割する **FAT/HD**

クリップエクスバンド画面（51ページ）やショットマーク画面（52ページ）で選択したフレーム位置で2つのクリップに分割することができます。

クリップ操作メニューから [DIVIDE CLIP] を選びます。
クリップ名の前半4文字は元のクリップの名前を引き継ぎ、後半4文字は最新の連続番号になります。

例：新たに記録した場合に「EFGH0100」というクリップが作られる状態で、「ABCD0002」という名前のクリップを分割した場合、「ABCD0100」と「ABCD0101」の2つのクリップが作成されます。

ご注意

SxSメモリーカードの残量が、クリップ分割に必要な容量に満たない場合は、残量不足を知らせるメッセージが表示されます。

再生

ステータス画面を表示する

STATUSボタン（8ページ）を押すと、LCDモニター、外部ビデオモニターにステータス画面を表示できます。

上／下ボタン（7ページ）を操作すると順次切り換わります。

STATUSボタンをもう一度押すと、ステータス画面が消えます。

◆外部ビデオモニターの接続については、「外部モニターやカムコーダーなどを接続する」（79ページ）をご覧ください。

オーディオステータス画面

[Output CH]：外部出力／ヘッドホン出力

[AUDIO SET] メニューの [Audio Output] の [Output CH] と [Monitor CH] の設定に応じて、外部出力およびヘッドホンに出力される音声チャンネルを以下のように表示します。

- CH-1：左右ともCH-1の場合
- CH-2：左右ともCH-2の場合
- CH-3：左右ともCH-3の場合
- CH-4：左右ともCH-4の場合
- CH-1/CH-2：左CH-1、右CH-2のステレオの場合
- CH-3/CH-4：左CH-3、右CH-4のステレオの場合
- CH-1+CH-2：左右ともCH-1+CH-2のモノラルの場合
- CH-3+CH-4：左右ともCH-3+CH-4のモノラルの場合

[Speaker]：スピーカー出力

内蔵スピーカーに出力される音声チャンネルを表示します。

スピーカーはモノラル出力のため、[Monitor CH] がステレオ設定の場合、「CH-1+CH-2」または「CH-3+CH-4」と表示します。ステレオ以外のときは、[AUDIO SET] メニューの [Audio Output] の

[Monitor CH] の設定をそのまま表示します。

[CH-1/CH-2/CH-3/CH-4]：オーディオレベルメーター

4チャンネル（2チャンネル時は2チャンネル分）のオーディオレベルメーターと入力ソースを表示します。

記録中／記録待機中は入力されているオーディオのレベル（EE音声のレベル）を表示します。再生中は [AUDIO SET] メニューの [Audio Output] の [Output CH] の設定に応じて、再生音声レベルを表示します。サムネイル表示、再生停止状態、または外部入力信号を記録中に、i.LINK端子から音声の入力がある場合は、入力音声レベルを表示します。この場合は、[AUDIO SET] メニューの [Audio Output] の [Output CH] の設定にかかわらず、左端のチャンネル表示は「CH-1」、「CH-2」になります。

[Input Source]：入力ソース

[AUDIO SET] メニューの [CH1 Input Source] ～ [CH4 Input Source] で設定されている音声信号の入力ソースをチャンネルごとに表示します。

[Audio Level]：音声レベルの調整方法

[AUDIO SET] メニューの [Audio Level CH1]、[Audio Level CH2] で設定されている音声レベルの調整方法をチャンネルごとに表示します。

ビデオステータス画面

[Video Format]：ビデオフォーマット

[OTHERS] メニューの [SystemのRec Format] で設定されているビデオフォーマットの垂直ライン数、フレームレート、スキャン方式（i/P）を表示します。

[Rec Mode] : 記録ビットレート

[OTHERS] メニューの [System] の [Rec Format] で設定されているビデオフォーマットを表示します。

[SDI Output] : SDI 出力

[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] のSDIの設定を表示します。

[SDI Out1 Mode] : SDI OUT 端子 1 の送出モード

[VIDEO SET] メニューの [SDI OUT1 Mode Select] で設定されているSDI OUT 端子1の送出モードを表示します。

[SDI Out2 Select] : SDI OUT 端子 2 の出力信号

[VIDEO SET] メニューの [SDI OUT2 OUTPUT Select] で設定されているSDI OUT端子2の出力信号を表示します。

[3G SDI Out Level] : 3G SDI 信号のデータマッピング方式

[VIDEO SET] メニューの [3G SDI OUT Level A/B] で設定されている3G SDI信号のデータマッピング方式を表示します。

[HDMI Output] : HDMI 出力

[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] のHDMIの設定を表示します。

[i.LINK I/O] : i.LINK 入出力

[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] のi.LINKの設定を表示します。

[Input Setting] : 記録ソース

[VIDEO SET] メニューの [Input Source Select] で設定されている入力ソースまたはSG出力を表示します。

[Down Converter] : SD 出力のダウンコンバーター設定

[VIDEO SET] メニューの [Down Converter] の設定 ([Squeeze]、[Letterbox]、[Edge]、[Crop]) を表示します。

[23.98P Output] : 23.98P 出力モード

[VIDEO SET] メニューの [23.98P Output] の設定 (23.98PsF、59.94i (2-3 Pull Down)) を表示します。

ボタン／リモートステータス画面**[Assign Button] : ボタンアサイン状態**

[OTHERS] メニューの [Assign Button] の設定で各アサインボタンに割り当てられている機能名を表示します。

[IR Remote] : 赤外線リモコンの有効／無効

[OTHERS] メニューの [IR Remote] の設定を表示します。

[Wi-Fi Remote] : Wi-Fi リモコンの有効／無効

[OTHERS] メニューの [Wi-Fi] > [Wi-Fi Remote] の設定を表示します。

バッテリー／メディアステータス画面**[Battery] : バッテリーバック残量**

装着されているバッテリーバックの残量を表示します。

[Charge Count] : 充電繰り返し回数

装着されているバッテリーバックの累積充電繰り返し回数を表示します。

[Media A/Media B] : メディアの残量、残記録可能時間、書き換え寿命目安

それぞれ対応するスロットに挿入されているSxSメモリーカードの空き記録容量をメーター表示します。
メーターの右には、現在の記録ビットレートで記録可能な残り時間を計算して分単位で表示します。対応するスロットにSxSメモリーカードが挿入されていないときや使用できないメモリーカードが挿入されている

ときは、「ーmin」と表示します。メモリーカードが書き込み防止の場合は、マークを表示します。

寿命表示に対応したカードが装着されている場合のみ、Lifeの値（未使用状態を100%としたときのそれぞれのメモリーカードの残り寿命の目安）を示します。

[USB Drv] : USB メディアの残量

USBメディアが接続されている場合は、メディアの空き記録容量をメーター表示します。

セットアップメニューの構成と階層

MENUボタンを押すと、記録や再生に必要な各種設定を行うセットアップメニューがLCDモニターに表示されます（外部ビデオモニターに表示させることもできます）。下記のメニューから選択して設定します。

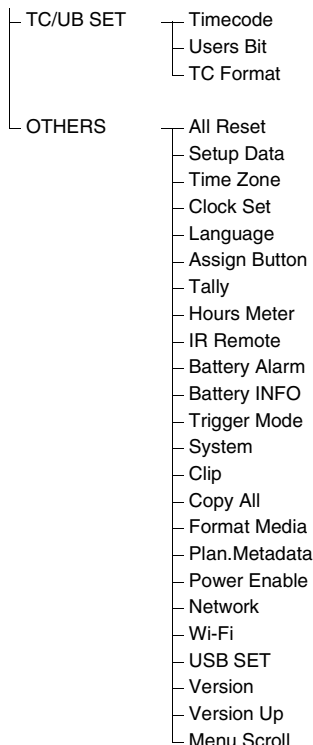
[AUDIO SET] メニュー：音声に関する設定

[VIDEO SET] メニュー：映像出力に関する設定

[LCD SET] メニュー：LCDモニター表示に関する設定

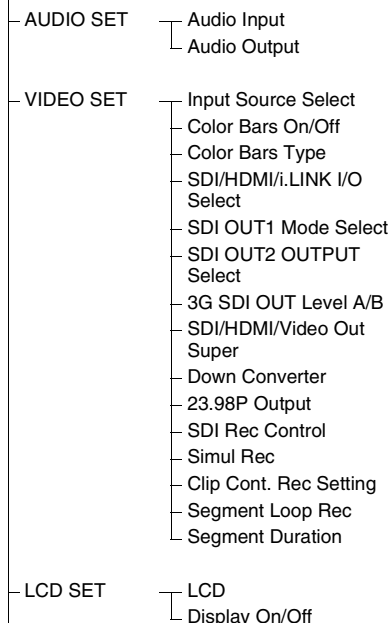
[TC/UB SET] メニュー：タイムコードとユーザービットに関する設定

[OTHERS] メニュー：その他の設定



セットアップメニューの階層

MENU



セッアップメニューの基本操作

メニュー操作部

MENU ボタン (8 ページ)

セッアップメニューを操作するメニューモードをON/OFFします。

上／下／左／右ボタン、SEL/SET ボタン (7 ページ)

上／下／左／右ボタンで、カーソルを上下左右に移動します。
SEL/SETボタンで、選択している項目を決定します。

CANCEL ボタン (8 ページ)

ひとつ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

メニューを設定する

設定したい項目にカーソルを合わせ、SEL/SETボタンを押して決定します。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大7行表示です。選択肢が1度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。選択肢エリアの右上隅または右下隅に、スクロール可能なことを示す三角マークが表示されます。
- 選択肢の範囲が大きい項目の場合（例：-99～+99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。
- 実行項目で [Execute] を選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

文字列を入力する

タイムデータやファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力エリアがハイライト表示になり、右端に [SET] が表示されます。

- 1 文字を選択し、SEL/SETボタンを押して決定する。
カーソルが次の欄に移動します。
前の欄に戻りたいときは、左ボタンを押します。
- 2 同様に最後の桁・欄まで設定する。
カーソルが [SET] に移動します。
- 3 SEL/SETボタンを押す。
設定が完了します。

セットアップメニュー一覧

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。
出荷時の初期設定値は、太文字（例：**Speed**）で示します。メニュー項目欄に[M]が表示されている項目は、サムネイル画面表示中や再生操作中は設定できません。

[AUDIO SET] メニュー

AUDIO SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Audio Input 音声の入力関係の設定 （オーディオ入力ボックスの装着時のみ） [M] ご注意 [VIDEO SET] メニューの [Input Source Select] で [i.Link] が選択されているときは、この項目は設定されません。	CH1 Input Source SDI IN / Ext	音声記録が可能なフォーマットにおいて、チャンネル1として記録する音声信号の入力ソースを選択する。 [SDI IN]：SDI INのCH-1の信号を記録する。 [Ext]：[EXT CH Select] で選択した信号を記録する。
	CH2 Input Source SDI IN / Ext	音声記録が可能なフォーマットにおいて、チャンネル2として記録する音声信号の入力ソースを選択する。 [SDI IN]：SDI INのCH-2の信号を記録する。 [Ext]：[EXT CH Select] で選択した信号を記録する。
	CH3 Input Source SDI IN / Ext	4チャンネルの音声記録が可能なフォーマットにおいて、チャンネル3として記録する音声信号の入力ソースを選択する。 [SDI IN]：SDI IN端子のCH-3の信号を記録する。 [Ext]：[EXT CH Select] で選択した信号を記録する。
	CH4 Input Source SDI IN / Ext	4チャンネルの音声記録が可能なフォーマットにおいて、チャンネル4として記録する音声信号の入力ソースを選択する。 [SDI IN]：SDI IN端子のCH-4の信号を記録する。 [Ext]：[EXT CH Select] で選択した信号を記録する。
	EXT CH Select CH1/CH2 / CH1	[CH1 Input Source] ～ [CH4 Input Source] で選択可能な [Ext] の内容を設定する。 [CH1/CH2]：[Ext] を選択している奇数チャンネルにはAUDIO IN端子CH-1からの音声信号を入力し、偶数チャンネルにはAUDIO IN端子CH-2からの音声信号を入力する。 [CH1]：[Ext] を選択しているすべてのチャンネルにAUDIO IN端子CH-1からの音声信号を入力する。
	Line Input Ref +4dB / 0dB / -3dB / EBUL	[CH1 Input Source] ～ [CH4 Input Source] で入力ソースを [Ext] に設定している場合に、基準入力レベルを設定する。AUDIO IN端子のCH-1、CH-2とも同じ設定になる。
		[メモ] 本設定は、入力ソースを [Ext] に設定している場合にのみ有効です。

AUDIO SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Reference Level -20dB / -18dB / -16dB / -12dB / EBUL	1 kHzテスト信号の出力レベルを設定する。 メモ 本設定は、入力ソースを [Ext] に設定している場合にのみ有効です。
	Limiter Mode Off / -6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	[Audio Level CH1] ～ [Audio Level CH2] を [Manual] に設定している場合に、大きな入力信号に 対するリミッター特性を選択する。 [Off] : 使用しない。 [-6dB] / [-9dB] / [-12dB] / [-15dB] / [-17dB] : リミッターを使用する場合に、リミッターが効き始 めるレベルを選択する。 メモ - リミッターは、レベル差の大きい音声信号のピーク成分を抑え、一定の音量以上の音を圧縮して指定したレベルを超えないようにし、過大出力を防ぎます。 - 本設定は、入力ソースを [Ext] に設定している場合にのみ有効です。
	Audio Level CH1 AUTO / Manual	AUDIO IN端子CH-1の音声レベルの調整方法を選択する。 [AUTO] : 自動調整 (AGC) [Manual] : 手動調整 メモ 本設定は、入力ソースを [Ext] に設定している場合にのみ有効です。
	Audio Level CH2 AUTO / Manual	AUDIO IN端子CH-2の音声レベルの調整方法を選択する。 [AUTO] : 自動調整 (AGC) [Manual] : 手動調整 メモ 本設定は、入力ソースを [Ext] に設定している場合にのみ有効です。
	AGC Spec -6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	AUDIO IN端子の音声入力レベルをAGC (オートゲインコントロール) で制御するレベルを選択する。 メモ 本設定は、入力ソースを [Ext] に設定している場合にのみ有効です。
	CH1&2 AGC Mode Mono / Stereo	CH-1とCH-2に記録するAUDIO IN端子からのアナログ音声信号の入力レベルの自動調整方法を選択する。 [Mono] : 各チャンネルで独立して行う。 [Stereo] : ステレオモードで行う。 メモ 本設定は、入力ソースを [Ext] に設定している場合にのみ有効です。

AUDIO SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	CH3&4 AGC Mode Mono / Stereo / Off	CH-3とCH-4に記録するAUDIO IN端子からのアナログ音声信号の入力レベルの自動調整方法を選択する。 [Mono] : 各チャンネルで独立して行う。 [Stereo] : ステレオモードで行う。 [Off] : 自動調整しない。
		メモ 本設定は、入力ソースを [Ext] に設定している場合にのみ有効です。
Audio Output 音声の出力関係 の設定	1KHz Tone On / Off	1 KHzの基準音声信号をON/OFFする。
	Monitor CH CH-1/CH-2 (CH-3/CH-4) CH-1+CH-2 (CH-3+CH-4) CH-1 (CH-3) CH-2 (CH-4)	ヘッドホンおよびスピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。 [CH-1/CH-2 (CH-3/CH-4)] : ステレオ [CH-1+CH-2 (CH-3+CH-4)] : ミックス [CH-1 (CH-3)] : チャンネル1 (チャンネル3) のみ [CH-2 (CH-4)] : チャンネル2 (チャンネル4) のみ ()は、[Output CH] で [CH-3/CH-4] を選択した場合
	Output CH CH-1/CH-2 CH-3/CH-4	音声出力をチャンネル1と2にするか、チャンネル3と4にするかを選択する。
	Alarm Level 0~7 (4)	アラーム音量を設定する。

[VIDEO SET] メニュー

VIDEO SET		
メニュー項目	設定値	内容
Input Source Select 入力の選択	SDI / i.LINK	映像・音声信号の入力ソースを選択する。 [SDI] : SDI IN端子からの入力 [i.LINK] : i.LINK端子からのHDV/DVCAM入力
		ご注意 UDF/HD、exFATモードではi.LINKを選択できません。
Color Bars On/ Off カラーバーの設定	On / Off	[Input Source Select] が [SDI] のときに、カラーバー出力をON/OFFする。
Color Bars Type カラーバーの種類の選択	Multi / 75% / 100% / SMPTE	[Color Bars On/Off] に [On] を選択したときに出力されるカラーバーの種類を選択する。 [Multi] : マルチフォーマットカラーバーを出力する。 [75%] : 75%カラーバーを出力する。 [100%] : 100%カラーバーを出力する。 [SMPTE] : SMPTEカラーバーを出力する。

VIDEO SET		
メニュー項目	設定値	内容
SDI/HDMI/ i.LINK I/O Select 各端子の入出力 信号の選択	UDF/HDモードのとき HD SD SD P Off exFAT/HDモードのとき 3G (SDI) HD SD SD P Off FAT/HDモード (HQ) のとき HD SD & DVCAM SD P Off FAT/HDモード (SP) のとき HD & HDV SD & HDV SD P & HDV SD & DVCAM Off UDF/SDモードのとき SD Off exFAT/SDモードのとき SD Off FAT/SDモードのとき SD & DVCAM Off	[3G (SDI)] : SDI OUT端子1/2から3G SDI信号、HDMI OUT端子からHD HDMI信号を出力する。 [HD] : SDI OUT端子1/2からHD SDI信号、HDMI OUT端子からHD HDMI信号を出力する。 [SD] : SDI OUT端子1/2からSD SDI信号、HDMI OUT端子からSD HDMIインターレース信号を出力する。 UDF/SDモードでは、i.LINK端子でDVCAMストリームを入出力する。 [HD & HDV] : SDI OUT端子1/2からHD SDI信号、HDMI OUT端子からHD HDMI信号を出力し、i.LINK端子でHDVストリームを入出力する。 [SD & HDV] : SDI OUT端子1/2からSD SDI信号、HDMI OUT端子からSD HDMIインターレース信号を出力、i.LINK端子でHDVストリームを入出力する。 [SD P & HDV] : HDMI OUT端子からSD HDMIプログレッシブ信号を出力、i.LINK端子でHDVストリームを入出力する。SDI OUT端子およびVIDEO OUT端子からは信号を出力しない。 [SD & DVCAM] : SDI OUT端子1/2からSD SDI信号、HDMI OUT端子からSD HDMIインターレース信号を出力し、i.LINK端子でDVCAMストリームを入出力する。 [SD P] : HDMI OUT端子からSD HDMIプログレッシブ信号を出力する。SDI OUT端子1/2およびVIDEO OUT端子からは信号を出力しない。 [Off] : SDI/HDMI/i.LINKの各端子からは出力されない。VIDEO OUT端子からコンポジット信号が出力可能な場合コンポジット信号を出力する。
SDI OUT1 Mode Select SDI OUT端子1の 送出モードの設 定	Normal / Through / Auto	SDI OUT端子1の映像信号の送出モードを設定する。 [Normal] : LCDモニターと同じ映像を出力する。 [Through] : 常にSDI IN入力信号をスルー出力する。 [Auto] : 本機で再生を行っているときは再生映像、それ以外のときは、SDI IN入力信号を出力する。
SDI OUT2 OUTPUT Select SDI OUT端子2の 出力信号の設定	3G / HD	SDI OUT端子2の出力信号を設定する。 [3G] : 3G SDI信号を出力する。 [HD] : HD SDI信号を出力する。
メモ 本設定は、[SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] を [3G (SDI)] に設定している場合にのみ選択可能です。		
ご注意 [3G (SDI)] を選択していないときは、[SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] で設定した信号が出力されます。ただし、[System] の [HD/SD] が [HD] で、かつ [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] が [SD] のときは出力されません。		

VIDEO SET		
メニュー項目	設定値	内容
3G SDI OUT Level A/B 3G SDI出力信号 方式の設定	LevelA / LevelB	3G SDI出力信号のデータマッピング方式を選択する。 メモ 本設定は、[SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] を [3G (SDI)] に設定している場合にのみ有効です。
SDI/HDMI/ Video Out Super 各出力への文字 情報の設定	On / Off	SDI OUT端子1/2、HDMI OUT端子、VIDEO OUT端子からの出力信号に、LCDモニターに表示されるメニューやステータスを加えるかどうかを選択する。 ご注意 - この項目の設定にかかわらず、サムネイル画面、クリップエクスパンド画面、ショットマーク画面では、常にLCDモニターに表示されるメニューやステータスを加えて表示します。 [Rec Format] が1920×1080/59.94P、1920×1080/50Pに設定されている場合に、[SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] で [3G (SDI)] を選択したときは、この項目の設定にかかわらず、メニューやステータスは表示されません。
Down Converter ダウンコンバー ターの動作モー ドの選択	Squeeze / Letterbox / Edge Crop	SD信号の出力モード（アスペクト）を設定する。 [Squeeze]：16:9画像を左右方向に縮小して4:3画像として出力する。 [Letterbox]：4:3画像の上下をマスクして、画面中央に16:9映像を表示する。 [Edge Crop]：16:9画像の両端をカットして4:3画像として出力する。
23.98P Output 23.98P出力の設 定	59.94i (2-3 PD) / 23.98PsF	ビデオフォーマットが以下のときの出力フォーマットを選択する。 UDF/HDモードの場合：HD422 50/1080/23.98P、HQ 1920×1080/23.98P、HQ 1440×1080/23.98P exFAT/HDモードの場合：XAVC-I 1080/23.98P、XAVC-L50 1080/23.98P、XAVC-L35 1080/23.98P、HD422 50/1080/23.98P、HQ 1920×1080/23.98P、HQ 1440×1080/23.98P FAT/HDモードの場合：HQ 1920×1080/23.98P、HQ 1440×1080/23.98P
SDI Rec Control 同期記録の設定	Off / On	SDI IN端子に接続した機器から送信されたRECトリガー信号に連動して記録の開始／終了を行うかどうかを選択する。
Simul Rec 2スロット同時記 録の設定	Simul / Off	Aスロット&Bスロットへの同時記録を行うかどうかを設定する。
Clip Cont. Rec Setting クリップコン ティニユアス レック機能の設 定	On / Off	クリップコンティニユアスレック機能をON/OFFする。
Segment Loop Rec ループ記録の設 定	On / Off	2枚のSxSメモリーカードを使用したループ記録をON/OFFする。

VIDEO SET		
メニュー項目	設定値	内容
Segment Duration ループ記録の記録保持時間設定	15-35min / 30-65min	ループ記録の記録保持時間の範囲を設定する。SxSメモリーカードの残容量が記録に必要な容量に満たない場合は選択できない。

[LCD SET] メニュー

LCD SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
LCD LCDモニターに関する設定	Color -99~+99 (±0)	LCD映像の色の濃さを調整する。
	Contrast -99~+99 (±0)	LCD映像のコントラスト(明暗の差)を調整する。
	Brightness -99~+99 (±0)	LCD映像の明るさを調整する。
Display On/Off LCDモニターに表示する項目の選択 [M]	Audio Level Meter On / Off	オーディオレベルメーター表示をON/OFFする。
	Timecode On / Off	タイムデータ（タイムコード、ユーザービット、デュレーション）表示をON/OFFする。
	Battery Remain On / Off	バッテリー残量/DC入力電圧表示をON/OFFする。
	Media Remain On / Off	メディア残量表示をON/OFFする。
	Video Format On / Off	ビデオフォーマット表示をON/OFFする。
	Clip Name On / Off	クリップ名表示をON/OFFする。
	ClipNumber (PB) On / Off	クリップ名に付加される番号表示をON/OFFする。
	SDI Rec Control On / Off	同期記録表示（RM-SDI表示）をON/OFFする。
	Input Signal I/F On / Off	入力信号表示をON/OFFする。
	Wireless Status On / Off	CBK-WA100使用時の電波状態表示をON/OFFする。
	Streaming&NCM Status On / Off	CBK-WA100使用時のストリーミング状態表示およびネットワーククライアントモード状態表示をON/OFFする。
	Ext Media Remain On / Off	CBK-WA100使用時のSDカード残量表示をON/OFFする。
	Sending Clip Info On / Off	CBK-WA100使用時のクリップ転送状態表示をON/OFFする。

[TC/UB SET] メニュー

TC/UB SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Timecode タイムコードに 関する設定	Mode Preset / Ext Regen / Regen / Clock	タイムコードの歩進モードを設定する。 [Preset] (プリセットモード) : 設定された状態から歩進する。 [Ext Regen] (外部リジェネレートモード) : 外部からの入力信号に重畳されたタイムコードに同期させる。 [Regen] (リジェネレートモード) : タイムコードは記録時に歩進する。SxSメモリーカードを入れ換えた場合、そのカードに記録されている最後のタイムコードを読み出して、タイムコードが連続するようにタイムコードを設定して記録する。 [Clock] (クロックモード) : 現在時刻をタイムコードとして使用する。
	Run Rec Run / Free Run	タイムコードの歩進モードがプリセットのとき、歩進方法を設定する。 [Rec Run] : タイムコードは記録時に歩進する。SxSメモリーカードを入れ換えない限り、タイムコードは記録されたクリップの順で連続する。SxSメモリーカードを取り出して別のカードで記録を行うと、再び元のカードを入れてもタイムコードは連続しない。 [Free Run] : SxSメモリーカードへの記録状態に関係なく常に歩進する。[Mode] を [ExtRegen] に設定した場合は、必ず [Free Run] を選択する。
	Setting	タイムコードを任意の値に設定する。
	Reset Execute / Cancel	[Execute] を選択するとタイムコードを「00:00:00:00」にリセットする。
Users Bit ユーザービット に関する設定	Mode Fix / Date	ユーザービットのモードを設定する。 [Fix] : ユーザービットに任意の固定値を使用する。 [Date] : ユーザービットに現在年月日を使用する。
	Setting	ユーザービットを任意の値に設定する。

TC/UB SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
TC Format タイムコードの フォーマットの 設定	DF / NDF	タイムコードのフォーマットを設定する。 [DF] : ドロップフレーム [NDF] : ノンドロップフレーム ご注意 選択されているビデオフォーマットやフレーム周波数によっては、[TC Format] の設定にかかわらず、下記のとおりDF/NDFのいずれかに固定されます。

フォーマット設定	フレーム 設定	TC Format
59.94i 59.94P 29.97P	00～29	DF/NDF切り換え可 (Clockモード時は DF固定)
23.98P	00～23 ¹⁾	NDF固定 ²⁾
50i 50P 25P	00～24	NDF固定

- 1) [Setting] の際にフレームの桁は、00、04、08、12、16、20に限定されます。
記録開始のフレームは00、04、08、12、16、20に限定されます。
HQ 1920/23.98Pで記録中／記録待機中で、[VIDEO SET] メニューの [23.98P Output] (64ページ) が [23.98PsF] の場合を除き、2-3プルダウンされた59.94iとなるため、SDI OUT端子1/2からの出力に重畳するタイムコードのフレームは00～29に振り直されます。
- 2) [TC Mode] が [Clock] のときも、NDFでカウントするため徐々に実時刻からタイムコードがずれます。
HQ 1920/23.98Pで記録中／記録待機中で、[VIDEO SET] メニューの [23.98P Output] (64ページ) が [23.98PsF] の場合を除き、SDI OUT端子1/2からの出力は2-3プルダウンされた映像になるため、画面に表示されるタイムコードが重複するフィールドが発生します。

[OTHERS] メニュー

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
All Reset 一部の設定を除 き、初期状態に 戻す	Execute / Cancel	[Execute] を選択するとリセットを実行する。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setup Data 全メニュー設定 値のSxSメモ リーカードまた はUSBメモリー への保存と呼び 出し	Store(SxS)/(USB) Execute / Cancel	[Execute] を選択すると保存を実行し、セットアップ ファイルを下記のディレクトリーに保存する。 SxSメモリーカード使用時 UDFの場合：/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/ PMW_RX50/ exFATの場合：/XDROOT/General/Sony/PRO/ CAMERA/XDCAM/PMW_RX50 FATの場合：/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/ PMW_RX50/ USBメモリー使用時 FAT32でフォーマットしたUSBメモリーの場合： /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/ PMW_RX50
	Recall(SxS)/(USB) Execute / Cancel	[Execute] を選択すると呼び出しを実行する。
	Time Zone 時差の設定	UTC -12:00 ~ +13:30 UTCからの時差を30分単位で設定する。
Clock Set 内蔵時計に関す る設定	Date/Time	現在日時を設定する。
	12H/24H 12H / 24H	時刻の表示形式を選択する。 [12H] : 12時間表示 [24H] : 24時間表示
	Date Mode YYMMDD / MMDDYY / DDMMYY	年月日の表示方式を選択する。 [YYMMDD] : 年月日の順 [MMDDYY] : 月日年の順 [DDMMYY] : 日月年の順
Language メニューとメッ セージ表示言語 の切り換え	English / Japanese /	[English] : 英語表示
	Chinese / Spanish / Portuguese / Russian / Indonesian	[Japanese] : 日本語表示 [Chinese] : 中国語表示 [Spanish] : スペイン語表示 [Portuguese] : ポルトガル語表示 [Russian] : ロシア語表示 [Indonesian] : インドネシア語表示
		ご注意 日本語表示は警告や注意メッセージのみです。 メニューやステータス表示の言語は切り換わりません。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Assign Button アサインابلボタンへの機能割り当て設定	<1>、<2>、<3>、<4>、<5> Off / Last Clip DEL / IR Remote / Shot Mark1 / Shot Mark2 / OK Mark / Clip Flag OK / Clip Flag NG / Clip Flag Keep / Clip Continuous Rec / Clip Update / Play & SDI Rec / LCD Adjust / Color Bars On/ Off / Quick Backup / USB Thumbnail View / Partial Playback / STATUS / LCD BRIGHT / DISPLAY <1> Off <2> Off <3> STATUS <4> LCD BRIGHT <5> DISPLAY	ASSIGNボタン1/2/3/4/5に機能を割り当てる（選択できる機能は共通）。 [Off]：無効 [Last Clip DEL]：ラストクリップデリート（リテイク）機能の実行 [IR Remote]：赤外線リモコンの有効／無効の切り換え [Shot Mark1]：ショットマーク1の付加（HDモードのみ） [Shot Mark2]：ショットマーク2の付加（HDモードのみ） [OK Mark]：OKマークの付加、削除の実行（HDモードのみ、サムネイル画面では不可） [Clip Flag OK]：記録中または再生中のクリップにOKフラグを設定、解除（UDF、exFAT） [Clip Flag NG]：記録中または再生中のクリップにNGフラグを設定、解除（UDF、exFAT） [Clip Flag Keep]：記録中または再生中のクリップにKeepフラグを設定、解除（UDF、exFAT） [Clip Continuous Rec]：クリップコンティニユアスレック機能のON/OFF切り換え [Clip Update]：選択中のSxSメモリーカード内の管理ファイルを更新（コンティニユアスレック中は不可） [Play & SDI Rec]：クリップ再生とRECトリガー出力、および再生の一時停止とRECトリガー出力停止（CBK-WA100使用時） [LCD Adjust]：[LCD Adjust] 機能のレベルバー表示切り換え（ブライトネス調整用→コントラスト調整用→ [Off]） [Color Bars On/Off]：カラーバー出力のON/OFF [Quick Backup]：選択中のSxSメモリーカード内の全クリップをUSBメディアの新規フォルダーに一括バックアップ [USB Thumbnail View]：USBメディアのサムネイル画面を表示 [Partial Playback]：イン点－アウト点間再生 [STATUS]：LCDモニターや外部モニターにステータス画面を表示 [LCD BRIGHT]：LCDモニターのバックライトの明るさを調整 [DISPLAY]：LCDモニターの映像に重ねる本機の状態や設定の表示をON/OFF
Tally タリーに関する設定	Front High / Low / Off	タリーランプの明るさを設定する。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Hours Meter 積算時間計の表示	Hours (Sys)	積算使用時間を表示する (リセット不可)。
	Hours (Reset)	積算使用時間を表示する (リセット可)。
	Reset Execute / Cancel	[Execute] を選択すると [Hours (Reset)] 表示を0にリセットする。
IR Remote リモコンのON/ OFF	On / Off	付属の赤外線リモコンを使用するときOnにする。 ご注意 本体の電源を切ると自動的にOffに戻ります。
Battery Alarm 電圧低下警告の設定	Low BATT 5% / 10% / 15% / ... / 45% / 50%	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する (5%刻み)。
	BATT Empty 3% ~ 7% (3%)	バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する。
	DC Low Volt1 11.5 V ~ 17.0 V (11.5 V)	DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定する。
	DC Low Volt2 11.0 V ~ 14.0 V (11.0 V)	DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定する。
Battery INFO バッテリーパックに関する情報の表示 (表示のみ)	Type	タイプ(製品名)を表示する。
	MFG Date	製造年月日を表示する。
	Charge Count	累積充放電回数を表示する。
	Capacity	満充電時の推定全容量を表示する。
	Voltage	現在の出力電圧を表示する。
Trigger Mode i.LINK端子に接続した外部記録機器に対する操作の設定 (FATのみ)	Internal / Both / External	[Internal] : 録画開始/停止の操作を内蔵スロットのSxSメモリーカードに対してのみ行う。 [Both] : 録画開始/停止の操作を内蔵スロットのSxSメモリーカードとi.LINK端子に接続した外部記録機器の両方に対して行う。 [External] : 録画開始/停止の操作をi.LINK端子に接続した外部記録機器に対してのみ行う。
	[M]	
System	Country NTSC Area / NTSC(J) Area / PAL Area	使用する地域とセットアップのON/OFFを選択する。 [NTSC Area] : セットアップON [NTSC(J) Area] : セットアップOFF [PAL Area] : セットアップOFF
	F.Sys. UDF / exFAT / FAT	ファイルシステムUDF/exFAT/FATを切り換える。
	HD/SD HD / SD	HDモード/SDモードを切り換える。
	XAVC/MPEG2 XAVC / MPEG2	exFAT、HDモード時に、XAVC/MPEG2フォーマットを切り換える。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Rec Format	記録ビデオフォーマットを設定する。 モードによって選択できる記録ビデオフォーマットが異なる。 HDモード - ビットレート - UDF：HD422 50またはHD420 HQ - exFAT：XAVCまたはHD422 50、HD420 HQ - FAT：HQまたはSP - 水平画素数 1920、1440、1280のいずれか - フレームレート 23.98、25、29.97、50、59.94のいずれか - スキャン方式 - i(インターレース)またはP(プログレッシブ) SDモード - フレームレート 50または59.94 - スキャン方式 - i(インターレース) ◆ 各モードで選択できる記録ビデオフォーマットについては、「記録ビデオフォーマット ([Rec Format])」(89ページ)をご覧ください。
	Wide Mode Auto / 16:9	入力信号がSD SDI信号のときに、ワイド映像の処理方法を設定する。 [Auto]：入力信号がワイド映像のときは、スクイーズモードにする。ワイド映像でないときは、エッジクロップモードにする。 [16:9]：入力信号を常にワイド映像として扱い、スクイーズモード固定にする。
	Audio (IMX) 16bit / 24bit	ビデオフォーマットがIMXのときに、オーディオの量子化ビット数を設定する。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Clip クリップの名称 や削除に関する 設定	Auto Naming C**** / Title / Plan	クリップ名の設定方法を選択する。 [C****] : (UDF、exFAT) [Title: Title Prefix] 任意に設定する。 [Plan] : プランニングメタデータで設定したクリップ 名がある場合はその名称にする。ない場合は [Title Prefix] で設定した名称にする。
	Title Prefix nnn_ (nnnはシリアルNo.の 下3桁) (最大7文字表示)	クリップ名のタイトル部分 (4~46文字) を設定する 「Character Set」画面を呼び出す。 「Character Set」画面の構成 文字選択エリア (3行) : Title Prefixエリアのカーソル位置に挿入する文字 を選択する。 !#\$%()+,-.:;=@[]^_`0123456789 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ カーソル操作エリア (1行) : [Space] : カーソル位置の文字をスペースに変更す る。 [INS] : カーソル位置にスペースを挿入する。 [DEL] : カーソル位置の文字を削除する。 [←] : カーソルを左に移動する。 [→] : カーソルを右に移動する。 [ESC] : 変更をキャンセルして「Character Set」画 面を閉じる。 [END] : 変更を実行して「Character Set」画面を 閉じる。 「Title Prefix」エリア (1行) : タイトルを入力するエリア タイトルを設定するには 1 文字選択エリアから「Title Prefix」エリアのカーソ ル位置に入れる文字を選択 (ハイライト表示) し、 SEL/SETボタンを押す。(選択した文字が入り、カー ソルが右に移動する。) 2 手順1を繰り返し、タイトルを設定する。(必要に応 じて、[Space]、[INS]、[DEL] を使用する。) 3 タイトル名の設定が終わったら、[END] を選択し て「Character Set」画面を閉じる。
	Number Set 0001 ~9999	クリップ名の最後の番号部分 (4桁) を設定する。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Update Media(A) / Media(B)	選択したスロットのSxSメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 ¹⁾
	Last Clip DEL Execute / Cancel	[Execute] を選択すると最後に記録したクリップを削除する。
	All Clips DEL Execute / Cancel	[Execute] を選択するとSxSメモリーカード内のすべてのクリップを削除する。
	ご注意 OKマークが付加されたクリップや、ロックされたクリップは削除できません。	
	Filter Clips OK / NG / KP / None	クリップを表示するときのフィルターを、[OK] (OKフラグ)、[NG] (NGフラグ)、[KP] (Keepフラグ)、[None] (フラグなし) から選択する。(UDF、exFAT)
	Lock All Clips Execute / Cancel	[Execute] を選択するとすべてのクリップを保護する。(UDF、exFAT)
	Unlock All Clips Execute / Cancel	[Execute] を選択するとすべてのクリップの保護を解除する。(UDF、exFAT)
	Index Picture Pos 0sec ~ 10sec (0sec)	クリップをサムネイル表示するときの画像を設定する。先頭からの時間を選択する。
	Find Mode Clip / Rec Start	PREVボタン／NEXTボタンを押したときの動作を設定する。(UDF、exFAT) [Clip] : 現在のクリップ／次のクリップの先頭に移動する (クリップの先頭でPREVボタンを押したときはひとつ前のクリップの先頭に移動する)。 [Rec Start] : ひとつ前の [Rec Start Essence Mark] ／次の [Rec Start Essence Mark] に移動する。
Copy All ²⁾ クリップや Generalフォル ダーのファイル の一括コピーに 関する設定	Clips	SxSメモリーカード内のすべてのクリップをコピーする。
	General Files	SxSメモリーカード内の「General」フォルダーにあるすべてのファイルをコピーする。
	Clips&General	SxSメモリーカード内のすべてのクリップと「General」フォルダーにあるすべてのファイルをコピーする。
Format Media SxSメモリー カードの初期化	Media(A) Execute / Cancel	[Execute] を選択すると、設定されているファイルシステム (UDF/exFAT/FAT) に従ってスロットAのSxSメモリーカードを初期化する。
	Media(B) Execute / Cancel	[Execute] を選択すると、設定されているファイルシステム (UDF/exFAT/FAT) に従ってスロットBのSxSメモリーカードを初期化する。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Plan.Metadata プランニングメ タデータの操作 に関する設定	Load / Slot(A) または Load / Slot(B) Execute / Cancel	スロットAまたはBのSxSメモリーカードからプラン ニングメタデータを読み込む。 [Execute] を選択するとスロットAまたはBのSxSメモ リーカードに保存されているプランニングメタデー タのファイルリストが表示される。ファイルを選択し、 [Load] → [Execute] で読み込み実行。
		ご注意 - ファイルリストには、ファイルは64個まで表示され ます。プランニングメタデータファイルの総数が64 個以下であっても、SxSメモリーカード内のプラン ニングメタデータファイルと同じディレクトリー (General/Sony/Planning) に512個以上のファイル があると、すべてのプランニングメタデータファイ ルが表示されないことがあります。 - 読み込みを開始した後は、完了メッセージが表示さ れるまで、SxSメモリーカードを抜かないでくださ い。
	Load/USB (UDF、exFATモード時) Execute / Cancel	外部機器接続端子に接続したUSBメモリーからプラン ニングメタデータをロードする。 [Execute] を選択すると、USBメモリーに保存されて いるプランニングメタデータのファイルリストが表示 され、ファイルを選択してロードを実行する。
	Properties Execute / Cancel	[Execute] を選択すると本機のメモリーに読み込まれ ているプランニングメタデータの内容を表示する。 [File Name] : ファイル名 [Assign ID] : アサインID [Created] : ファイルの生成日時 [Modified] : ファイルの最終更新日時 [Modified by] : ファイルの更新者 [Title1] : ファイルで指定された [Title1] の内容 (ASCII形式のクリップ名) [Title2] : ファイルで指定された [Title2] の内容 (UTF-8形式のクリップ名) [Material Gp] : マテリアルグループ (同じプランニン グメタデータを使用して収録したクリップ群) の数 [Shot Mark1] : ショットマーク1の名前 [Shot Mark2] : ショットマーク2の名前 プランニングメタデータ詳細情報画面で [File Name] または [Assign ID]、[Title1]、[Title2] を選択し、 SEL/SETボタンを押すと、選択した項目が全画面表示 され、長いファイル名やクリップ名も全体を表示する ことができます。
		ご注意 [Shot Mark1] または [Shot Mark2] を選んでも、 ショットマーク名の全画面表示はできません。
	Clear Execute / Cancel	[Execute] を選択すると本機のメモリーに読み込まれ ているプランニングメタデータの内容を消去する。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Clip Name Disp Title1 (ASCII) / Title2 (UTF-8)	ブランチングメタデータでクリップ名を設定する場合の表示形式を設定する。 ご注意 ブランチングメタデータでクリップ名を設定するとき、ASCII形式の名称とUTF-8形式の名称が両方とも定義されている場合はUTF-8形式の名称がクリップ名となります。ブランチングメタデータで、ASCII形式の名称またはUTF-8形式の名称のどちらか一方しか定義していない場合は、メニューの設定にかかわらず定義されているクリップ名が表示されます。
Power Enable 外部機器に電源供給する端子の設定	Sony Wireless Adapter / USB A	外部機器に電源供給する端子の設定する。 [Sony Wireless Adapter] : DC OUT端子 (CBK-WA100専用) に電源を供給する。 [USB A] : USB (HOST) 端子に電源を供給する。
Network ネットワークの設定 ご注意 IFU-WLM3が必要です。CBK-WA100使用時は、このメニューは使用しません。	DHCP Enable / Disable IP Address 0.0.0.0～255.255.255.255 (192.168.1.10) Subnet Mask 0.0.0.0～255.255.255.255 (255.255.255.0) Default Gateway 0.0.0.0～255.255.255.255 (0.0.0.0) User Name (admin) Password (pmw-rx50) Set Execute / Cancel MAC Address Net Config Reset Execute / Cancel	DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するか ([Enable]) しないか ([Disable]) を選択する。 [DHCP] が [Disable] の場合に、IPアドレスを設定する。 [DHCP] が [Disable] の場合に、サブネットマスクを設定する。 [DHCP] が [Disable] の場合に、デフォルトゲートウェイを設定する 任意のユーザー名を設定する (英数字で1～31文字)。 パスワードを設定する (英数字で0～31文字)。 ご注意 パスワードは “*” で表示されます。 ネットワーク設定を確定する。([Execute] で実行) MACアドレスを表示する。 ネットワーク設定を初期値に戻す。([Execute] で実行)

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Wi-Fi ワイヤレスLAN 接続に関する設 定	Scan Networks Execute / Cancel	[Wi-Fi] が [Enable] のときに、接続先を自動検出する。
		ご注意 IFU-WLM3の使用時は、検出結果が「Unknown」と表示されます。この場合は [Network Type] で [Infra] / [Adhoc] のいずれかを設定してください。
ご注意 - IFU-WLM3が必要です。 - CBK-WA100使用時は、「Wi-Fi」、「Wi-Fi Remote」以外のメニューは使用しません。	SSID (SSID名表示) Reset	ネットワーク名を初期値にリセットする。
	Network Type Infra / Adhoc	接続モードを選択する。 [Infra] : インフラストラクチャモード [Adhoc] : アドホックモード
	Ch 1 ~ 11	[Network Type] が [Adhoc] のときに、無線チャンネルを設定する。
	Authentication	ネットワーク認証方法を選択する。 [Open] : オープンシステム認証
	Network TypeがInfraのとき Open / Shared / WPA / WPA2	[Shared] : 共有キー認証 [WPA] : WPA (Wi-Fi Protected Access) 認証
	Network TypeがAdhocのとき Open / Shared	[WPA2] : WPA2 (Wi-Fi Protected Access2) 認証
	Encryption	データの暗号化方式を選択する。 [Disable] : 暗号化しない
	AuthenticationがOpenまたはSharedのとき Disable / WEP	[WEP] : WEP (Wired Equivalent Privacy) 方式 [TKIP] : TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) 方式
	AuthenticationがWPAまたはWPA2のとき Disable / TKIP / AES	[AES] : AES (Advanced Encryption Standard) 方式
	WEP Key Index 1 / 2 / 3 / 4	[Encryption] が [WEP] のときに、キーのインデックスを選択する。
	Input Select	ネットワークキー（またはセキュリティキー）に応じて入力形式を選択する。
	EncryptionがWEPのとき ASCII5 / ASCII13 / HEX10 / HEX26	[ASCII5] : ASCII形式で5文字 [ASCII13] : ASCII形式で13文字 [HEX10] : 16進数形式で10桁（文字）
	EncryptionがTKIPまたはAESのとき ASCII8-63 / HEX64	[HEX26] : 16進数形式で26桁（文字） [ASCII8-63] : ASCII8ビット形式で8～63文字 [HEX64] : 16進数形式で64桁（文字）
Wi-Fi Status ■■■■ Connecting (表示のみ)	Key (ネットワークキー)	ネットワークキー（またはセキュリティキー）を設定する。
	Set Execute / Cancel	[Wi-Fi] が [Enable] のときに、[Wi-Fi] で行った設定を有効にする。([Execute] で実行)
		接続の実行中には「Connecting」を表示し、通信中には接続状態を■■の数で表示する。
		ご注意 IFU-WLM3をAdhocモードで使用しているときは、[Wi-Fi Status] は表示されません。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Wireless Mode 802.11b / 802.11g / 802.11n	IEEE802.11の規格を表示する。
	Wi-Fi Enable / Disable	ワイヤレスLAN接続を有効にするか（Enable）無効にするか（Disable）を選択する。
	Wi-Fi Remote On / Off	Wi-Fiリモコンを有効にするか無効にするかを選択する。
USB SET USBメディア接続に関する設定	Thumbnail View Execute / Cancel	USBメディアのサムネイル画面を表示する。
	Select Folder	USBメディアでクリップのコピー先、およびサムネイル画面の表示対象となるフォルダーを選択する。 フォルダーを新規に作成する場合は、[New] を選択する。
	Rename Folder	既存のフォルダー名を変更する。
	Error Check On / Off	クリップのコピー時にエラーチェックを行うかどうかを選択する。
	Format USB exFAT / FAT32	USBメディアをフォーマットする。 [exFAT] : クリップコピー用のUSBメディアをフォーマットする [FAT32] : プランニングメタデータを書き込むUSBメモリーをフォーマットする（UDF、exFATモード時）
	Copy To USB A→USB/B→USB/ A&B→USB	SxSメモリーカードのクリップをUSBメディアにコピーする。 ご注意 サムネイル画面を表示しているときのみ実行できます。
	Copy From USB USB→A/USB→B	USBメディアのクリップをSxSメモリーカードにコピーする。 ご注意 サムネイル画面を表示しているときのみ実行できます。
	With General Enable / Disable	クリップのコピー時に「General」フォルダー内のファイルをコピーするかどうかを設定する。
	Version Vx.xx	本機のソフトウェアバージョンを表示する。
Version Up 本機のバージョンアップ	Execute / Cancel	[Execute] を選択すると本機のバージョンアップを実行する。 バージョンアップが必要になったときに使用する。 ご注意 SxSメモリーカードが挿入されていないときは選択できません。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Menu Scroll メニューのスク ロール方法の設 定	Normal / Loop	メニューのスクロール方法を選択する。 [Normal] : カーソルは一番上、または一番下までスクロールして止まる [Loop] : カーソルは一番上までスクロールすると、一番下へ移動してスクロールを続ける。一番下までスクロールすると一番上へ移動する

- 1) 本機以外の機器で操作されたカードが記録・再生できない状態になったときなど、管理ファイルを更新することによって、症状が改善される場合があります。
- 2) 複数のクリップやファイルが記録されたSxSメモリーカードをコピーする場合は、カードの容量が同じであっても使用条件やメモリーの特性により、全クリップやファイルを最後までコピーできない場合があります。

外部モニターやカムコーダーなどを接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させるときは、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。

3G、HD、SD信号を問わず、外部モニターにLCDモニターと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示できます。[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/Video Out Super] (64ページ) を [On] に設定してください。

HDモードでSD信号を出力するとき、[VIDEO SET] メニューの [Down Converter] (64ページ) で出力モードを選択してください。

ご注意

ダウンコンバートでSD信号を出力する場合、50P/50i/25Pの映像はPAL信号、59.94P/59.94i/29.97Pの映像はNTSC 信号、23.98P の映像は2-3ブルダウン処理されたNTSC 信号として出力されます。

SDI OUT端子1/2 (BNC型)

本機の3G/HD/SD設定に応じて、以下の信号を出力します。

- 3G SDI信号
- HD SDI信号 (工場出荷時設定)
- SDI信号

[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] (63ページ) を変更することによって、HDモードでもダウンコンバートされたモニター用SD SDI信号を出力できます。

i.LINK端子に接続した機器からHDVまたはDVCAMストリームを入力している場合は、i.LINK端子からの信号をSDI OUT1/2端子から出力できます。

接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

HDMI OUT端子 (Type Aコネクター)

[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] (63ページ) の設定を変更することによって、信号を出力できます。HDモードでは、HD HDMI、SD HDMIインターレース、SD HDMI プログレッシブから選択して出力します。

SDモードではSD HDMI インターレース信号を出力します。

接続には、市販のHDMI接続ケーブルを使用してください。

VIDEO OUT端子 (BNC型)

[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] (63ページ) の設定を変更することによって、HD-Y信号 (HDモード時) またはダウンコンバートされたモニター用SDアナログコンポジット信号 (SDモード時) を出力できます。

接続には市販のBNCケーブルを使用してください。

i.LINK (HDV/DV) 端子 (IEEE1394、4ピン)

[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] (63ページ) の設定を変更することによって、HDVまたはDVストリームを入出力できます。

入力設定をする場合は、[VIDEO SET] メニューの [Input Source Select] (62ページ) で [i.LINK] を選択してください。

i.LINK対応のモニターやVTRを接続できます (82ページ)。

AUDIO OUT端子 (ピンジャック)

記録中/記録待機中は記録対象の音声を入力し、再生時は再生中の音声を入力します。

[AUDIO SET] メニューの [AUDIO OUTPUT] > [Output CH] の設定を変更す

ることによって、チャンネル1と2またはチャンネル3と4の音声を出力できます。接続には市販のオーディオケーブルを使用してください。

SDI IN端子（BNC型）

カムコーダーなどの機器からのSDI信号（3G SDI/HD SDI/SD SDI）を本機に入力し、記録したり、別の機器に出力することができます。

SDI信号を入力する場合は、[VIDEO SET] メニューの [Input Source Select] で [SDI] を選択してください。

接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

外部機器からのトリガー信号で記録を開始するには

HD SDI信号入力時は、[VIDEO SET] メニューの [SDI Rec Control]（64ページ）を [On] に設定すると、SDI IN端子に接続した外部機器からRECトリガー信号を出力することによって、本機での記録を開始することができます。

ご注意

- 3G SDI信号の入力は、Level A/Level Bを自動で判別します。
- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。

オーディオ機器を接続する

オーディオ入力ボックスのAUDIO IN端子1/2を使用して、映像信号とは別系統で、音声信号を入力できます。音声入力レベルは、オーディオ入力ボックスのオーディオ入力レベルつまみで調節します。

AUDIO IN端子1/2（XLR、3ピン）

オーディオミキサーなどのオーディオ機器からの音声信号を入力します。

コンピューターを接続する

付属のUSBケーブルを使って、本機をコンピューター接続すると、本機のスロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。本機の場合、2枚のメモリーカードが挿入されているときは、コンピューターでは2つのドライブとして認識されます。

ご注意

- 本機は、コンピューターからのバスパワーでは動作しません。それぞれに電源を用意してください。
- コンピューターのExpressCardスロットを使う場合は、SxSメモリーカードを書込み禁止(Read Only)にし、データをコンピューターにバックアップしてから編集を行ってください。
- CBK-WA100を使用してカムコーダーで記録したオリジナルファイルを部分転送しているとき(27ページ)は、コンピューターと接続できません。

本機への接続の確認

1 本機のPC接続端子とコンピューターを付属のUSBケーブルで接続してから、電源をONにする。

コンピューターとの接続を有効にするかどうかを確認するメッセージがLCDモニターに表示されます。

ご注意

SxSメモリーカードのフォーマットや修復など、実行を確認するメッセージや実行中のメッセージが表示されている間は、USB接続確認メッセージは表示されません。フォーマットや修復などの実行が終了後に表示されます。またクリップの詳細情報表示中もUSB接続確認メッセージは表示されません。処理が終了するか、サムネイル画面に戻ると表示されます。

2 [Execute] を選ぶ。

3 Windowsの場合、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。 Macintoshの場合、デスクトップに「NO NAME」または「Untitled」フォルダー（フォルダー名は任意に変更可）が作成されていることを確認する。

ExpressCard/34またはExpressCard/54スロットがあるコンピューターの場合は、SxSメモリーカードを直接挿入して、ファイルにアクセスすることができます。

ご注意

- アクセスランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。
ー 電源を切る。電源コードを抜く。
ー SxSメモリーカードを抜く。
ー USBケーブルを抜く。
- Macintoshの場合、SxSメモリーカードを取り外すときは、メニューバーに表示されているSxSメモリーカードのアイコンから「カード電源切」を選択しないでください。
- すべてのコンピューターについて、動作を保証するものではありません。
- 接続には本機に付属のUSBケーブルを使用してください。

i.LINKで接続する

HDV互換のビデオフォーマット（SP 1440/59.94i、SP 1440/50i）またはSDモード時にDVCAMが選択されている場合は、i.LINK端子を介した信号の入出力が可能です。

FATモードの場合、[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] を [HD & HDV]、[SD & HDV]、[SD P & HDV]、または [SD & DVCAM] に設定してください。UDF/SDモードの場合、[SD] に設定してください。

i.LINK端子に接続した外部機器で本機に記録されるのと同じ画像を記録したり、外部機器の再生画像を本機で記録することができます。

再生は、ロックオーディオ16ビット2チャンネルのDVCAMストリームに対応します。また、HDVフォーマット対応のノンリニア編集ソフトを使って編集することもできます。

ご注意

- i.LINK接続は1対1で使用してください。
- i.LINK接続中に [OTHERS] メニューの [System]、[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select]、[Down Converter] など、i.LINK端子から出力される信号に影響がある設定を変更するときは、i.LINKケーブルを抜いてから変更してください。i.LINK接続中に設定を変更した場合、接続されたi.LINK機器が正常に動作できなくなることがあります。
- [OTHERS] メニューの [F.Sys.] がUDFモードかつ [HD/SD] がHDモードのときと、exFATモードに設定されているときは、i.LINK端子からの入出力は停止します。
- i.Link接続とUSBワイヤレスLANモジュールの同時使用はできません。i.LINK接続時は、外部機器接続端子に直接IFU-WLM3を接続しないでください。

本機の画像を外部機器で記録する

FAT

記録中/記録待機中は、本機で記録している画像がi.LINK端子を介してHDV または DVCAMストリームとして出力されます。本機の記録操作に連動して、接続したHDVレ

コーダーやDVCAMレコーダーで記録することもできます。

1 本機で事前に必要な設定を行う。

- [VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select]（63ページ）
- [OTHERS] メニューの [Trigger Mode]（70ページ）

2 外部機器を録画スタンバイ状態にする。

3 本機で記録を開始する。

同期して外部機器が記録モードになります。

本機のLCDモニターのi.LINK状態表示部（10ページ）に外部機器の状態が表示されます。

表示	外部機器の状態
STBY  HDV	HDV録画待機中
●REC  HDV	HDV録画中
STBY  DV	DV録画待機中
●REC  DV	DV録画中

ご注意

- 外部機器の種類によっては、動作が異なる場合があります。
- 本機で記録を開始してから、i.LINK状態表示が切り換わるまでタイムラグがあります。[Trigger Mode] が [Both] に設定されていても、接続されているi.LINK機器では同期がかかるまで記録が開始されません。
- メモリーカードには記録中にショットマークを設定することができますが、外部機器で記録される画像には付加されません。

ノンリニア編集する FAT

本機が再生モードのときは、i.LINK端子に接続したノンリニア編集システムにストリーム転送することができます。

ご注意

- 本機のi.LINK端子は4ピンです。接続するコンピュータのi.LINK端子のピン数をご確認のうえ、適切なi.LINKケーブルをお使いください。
- コンピューター上で本機の画像を検索するとき、画像の表示がコンピューター画面に反映されるまでに時間がかかる場合があります。

- クリップが短い場合や再生開始点からクリップ終端までが短い場合、クリップの境界でi.LINK信号が途切れることがあります。また、このような信号をノンリニア編集機でキャプチャしようとした場合、アプリケーションによっては誤動作することがあります。
- ノンリニア編集機で×4倍、×15倍、×24倍以外のサーチ速度を指定すると、i.LINK信号は出力されません。またこの場合LCDモニター画面は静止画のままになることがあります。
- ノンリニア編集ソフトウェアによっては、高速再生画がコンピューター上に出ない場合があります。

本機の設定

[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] (63ページ) を [HD & HDV]、[SD & HDV]、[SD P & HDV] または [SD & DVCAM] に設定してください。

外部入力信号を記録またはSDI出力する

i.LINK端子に接続した機器からのHDVまたはDVCAMストリーム入力を、SDI OUT端子1/2に接続した機器へ出力することができます。入力信号を本機のSxSメモリーカードに記録することもできます。タイムコードは、i.LINK入力に重畳されているタイムコードが記録されます。

1 外部信号を本機が対応するフォーマットに設定する。

1440×1080/59.94i、1440×1080/50i、DVCAMフォーマットが入力可能です。

2 FATモードの場合、[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] (63ページ) を [HD & HDV]、[SD & HDV]、[SD P & HDV]、または [SD & DVCAM] に設定する。UDF/SDモードの場合、[SD] に設定する。

3 [VIDEO SET] メニューの [Input Source Select] (62ページ) を [i.LINK] に設定する。

入力された信号が、SDI OUT端子1/2から出力されます。

映像信号は、VIDEO OUT端子およびLCDモニターにも出力されます。音声信号は、

AUDIO OUT端子、ヘッドホン端子、および内蔵スピーカーにも出力されます。

4 記録をする場合は、RECボタンを押しながら、PLAY/PAUSEボタンを押す。

ご注意

- 記録中に次のような状態になった場合、エラー表示になります。エラー表示になった場合は、STOP/EEボタンを押して、記録を停止してください。
 - 本機で設定されているビデオフォーマットと異なる信号が入力されている。
 - コピー禁止ストリームが入力されている。
- 記録中に本機への入力が無信号となった場合はタリランンプおよびLCDモニターのi.LINK状態表示の「●REC」が点滅し、SxSメモリーカードに何も記録されていないことを表示します。再び信号が入力されると記録が再開しますが、本機でのクリップ番号が繰り上がります。
- DVCAMストリーム時では、DVCAM信号ソース側と本機のCLK周波数の違いにより、連続動作では画像／音の「繰り返し」や「飛び」が発生する可能性があります。
- HDVストリーム時では、本機は入力されたHDV信号にロックされたような動作になるため、信号ソース側の周波数ズレによっては、SDI出力が信号規格から外れる可能性があります。(周波数、ジッターなど)

MXF DVで記録する／MXF DVクリップを再生する [UDF]

i.LINK DVCAM入力時にMXF DVで記録したり、MXF DVクリップ再生時にi.LINK DVCAMで出力することができます。

対応フォーマット

	フォーマット
記録時 (i.LINK入力時)	MXF DVCAM NTSC/PAL
再生時 (i.LINK出力時)	720×480/59.94i、 720×576/50i

MXF DVで記録する

1 [Others] メニューの [System] > [HD/SD] (70ページ) を [SD] に設定する。

2 [Others] メニューの [System] > [Rec Format] (71ページ) を [DVCAM] に設定する。

3 [VIDEO SET] メニューで以下の設定を行う。

- [Input Source Select] (62ページ) を [i.LINK] に設定する。
- [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] (63ページ) を [SD] に設定する。

4 外部機器とi.LINK接続する。

5 本機で記録を開始する。

i.LINK端子に入力されたDVCAM信号が記録されます。

ご注意

音声は、Ch1/2が記録されます。

MXF DVクリップを再生する

1 [Others] メニューの [System] > [HD/SD] (70ページ) を [SD] に設定する。

2 [Others] メニューの [System] > [Rec Format] (71ページ) を [DVCAM] に設定する。

3 [VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] (63ページ) を [SD] に設定する。

4 外部機器とi.LINK接続する。

5 本機でMXF DVクリップを再生する。
i.LINK端子からDVCAM信号が出力されます。

ご注意

音声は、Ch1/2固定となります。

USBメディアを接続する

本機の外部機器接続端子にHDDやUSBメモリなどのストレージメディア（USBメディア）を接続すると、SxSメモリーカードとUSBメディアの間でクリップをコピーすることができます。

本機で使用可能なUSBメディア

本機で使用するUSBメディアは、次の条件を満たしている必要があります。

容量：3 GB ～ 2 TB

3 GB未満のメディアは認識されません。2 TBを越えるメディアは、2 TBのメディアとして認識されます。

フォーマット：exFAT

本機、PMW-50、PMW-400またはPMW-1000でフォーマットされたメディアのみ使用できます。他の機器でフォーマットされた場合は、正しく動作しないことがあります。

推奨USBメディアを次に示します。

- Sony PSZ-HA1T (1 TB)
 - Sony PSZ-HA50 (500 GB)
 - Sony PSZ-SA25 (256 GB)
 - Sony HD-E1 (1 TB)
 - Sony HD-EG5 (500 GB)
- また、動作確認済みUSBメディアを次に示します。
- Lacie LCH-RG005T3 (500 GB)
 - Buffalo HD-PNT2.0U3-GBC (2 TB)

有効なUSBメディアが接続されているときは、LCDモニターにUSBアイコン（10ページ）が表示されます。

ご注意

- 上記の条件を満たすすべてのHDD、USBメモリの動作を保証するものではありません。
- 本機は、5.0V/0.5Aの電源で動作するUSBメディアに対応しています。使用するメディアに

よっては、本機で認識されないことがあります。その際は、別途電源を供給してください。

- 入力信号をUSBメディアに直接記録することはできません。
- USBでのコピー中、または再生中にUSBメディアを抜かないでください。

クリップをコピーする

SxS メモリーカードから USB メディアへコピーする

サムネイル画面を表示しているときは、[OTHERS] メニューの [USB SET] > [Copy To USB] を選択すると、SxSメモリーカードに記録されているクリップを、USBメディアにまとめてコピーすることができます。

コピー先フォルダーは、[OTHERS] メニューの [USB SET] > [Select Folder] で選択します。選択していない場合は、新規フォルダーを作成してコピーします。新規フォルダーの名称は、コピー元のSxSメモリーカードの先頭クリップの撮影日時を使用します。[A&B→USB] を選択した場合、選択中のSxSメモリーカードのクリップは [Select Folder] で選択したフォルダーに保存され、選択中でないSxSメモリーカードのクリップは新規フォルダーを作成して保存されます。

サムネイル画面でクリップを選択してコピーする場合は、クリップ操作メニューから [COPY CLIP(A)] または [COPY CLIP(B)] を選択します。

アサインابلボタンを使って一括コピーする

アサインابلボタンに [Quick Backup] 機能を割り当てておくと、アサインابلボタンを押すだけで、選択中のSxSメモリーカード内のすべてのクリップをUSBクリップにコピーすることができます。

クリップは、新規フォルダーを作成して保存されます。

USB メディアから SxS メモリーカードへのコピー

サムネイル画面を表示しているときは、[OTHERS] メニューの [USB SET] > [Copy From USB] を選択すると、USBメ

ディアに記録されているクリップを選択中のSxSメモリーカードにコピーすることができます。

エラーチェックについて

[OTHERS] メニューの [USB SET] > [Error Check] を [On] に設定すると、USBメディアとSxSメモリーカード間のコピー時に、エラーチェックを行います。エラーメッセージが表示された場合は、再度コピーを行ってください。エラーチェックを行うと、行わないときの約2倍のコピー時間がかかります。

USBメディアのサムネイル画面を表示する

[OTHERS] メニューの [USB SET] > [Thumbnail View] を選択すると、USBメディアに記録されているクリップのサムネイル画面が表示されます。アサインابلボタンに [USB Thumbnail View] 機能を割り当てて、ボタン操作でUSBメディアのサムネイル画面を表示することもできます。USBメディアのサムネイル画面は、SxSメモリーカードのサムネイル画面とほぼ同じように操作できますが、次の注意事項があります。

- 次の機能は使用できません。
 - ショットマークの追加、削除
 - OK/NG/KPフラグ、OKマークの付加、削除
 - 代表画の設定
 - クリップの分割
- USBメディアに記録されているクリップを再生する場合、コマ落ちなどが発生することがあります。

クリップ操作メニュー

項目	機能
DISP CLIP INFO	クリップの詳細情報画面を表示する (49ページ)。
COPY CLIP(A) COPY CLIP(B)	選択中のクリップをスロットAまたはBのSxSメモリーカードにコピーする (50ページ)。
DELETE CLIP	クリップを削除する (51ページ)。

項目	機能
EXPAND CLIP	クリップエクスパンド画面に切り換える（51ページ）。
CLIP REPEAT	選択したクリップを繰り返し再生する（46ページ）。

使用上のご注意

安全にご使用いただくために、「ご使用になる前に」と併せてご覧ください。

取り扱い・保管上のご注意

強い衝撃を与えない

内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。

動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がリ、好ましくありません。

使い終わったら

電源をOFFにしてください。

長時間使わないときは

バッテリーを抜いておいてください。

運搬するときは

LCDモニター部を持って運搬すると、本機が落下してけがの原因になることがあります。

輸送

- メモリーカードは必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、カラ拭きします。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗料がはげることがありますので、使わないでください。

万一、異常が生じたときは

お買い上げ店かソニーのサービス窓口にご相談ください。

バッテリー端子に関するご注意

機器に搭載されているバッテリー端子（バッテリーパックやACアダプターとの接点部分）は消耗品です。

振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。

長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

使用場所・保管場所

水平な場所、空調のある場所に保管してください。

次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 極端に寒い所、暑い所（使用温度は0℃～40℃）。
- 真夏、窓を閉め切った自動車内は50℃を越えることがあります。
- 湿気・ほこりの多い所。
- 雨があたる所。
- 激しく振動する所。
- 強い磁気を発生するものの近く。
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く。
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く。

携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。

本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

LCD（液晶）画面について

本機のLCD（液晶）パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や減点がある場合があります。また、LCD（液晶）パネルの特性上、長期間で使用する間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

画面表示に関するご注意

- 次のような場合、LCDモニターの映像が乱れることがあります。
 - フォーマットを切り換えたとき
 - サムネイル画面から再生を開始したとき
 - LCDモニターを反転したとき

ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット（初期化）してください。長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、映像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、[OTHERS]メニューの[Format Media]（73ページ）で記録メディアのフォーマット（初期化）を行ってください。

有寿命部品について

ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。

常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。

ACアダプターと電解コンデンサについて

ACアダプターと電解コンデンサの寿命は約5年です。

（常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合）

したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

バッテリーについて

- i) 安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーを使用しないでください。
BP-U30/BP-U60/BP-U90/BP-U60
- ii) 機器に搭載されているバッテリー端子（バッテリーパックやACアダプターとの接点部分）は消耗品です。
振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

記録ビデオフォーマット ト ([Rec Format])

[OTHERS] メニューの [System] >
[Rec Format] (71ページ) で選択可能な記
録ビデオフォーマットは、以下のとおりで
す。
出荷時の初期設定値は、太文字 (例：
HD422 50/1080/59.94i) で示します。

UDF/HD モード

[Country] の設定	選択可能な記録ビデオ フォーマット
[NTSC Area] または [NTSC (J) Area]	HD422 50/1080/59.94i HQ 1920×1080/59.94i HQ 1440×1080/59.94i HD422 50/1080/29.97P HQ 1920×1080/29.97P HQ 1440×1080/29.97P HD422 50/1080/23.98P HQ 1920×1080/23.98P HQ 1440×1080/23.98P HD422 50/720/59.94P HQ 1280×720/59.94P
[PAL Area]	HD422 50/1080/50i HQ 1920×1080/50i HQ 1440×1080/50i HD422 50/1080/25P HQ 1920×1080/25P HQ 1440×1080/25P HD422 50/720/50P HQ 1280×720/50P

UDF/SD モード

[Country] の設定	選択可能な記録ビデオ フォーマット
[NTSC Area] または [NTSC (J) Area]	DVCAM59.94i IMX50 59.94i
[PAL Area]	DVCAM50i IMX50 50i

exFAT/HD モード

[Country] の設定	MXFファイ ルフォー マット	選択可能な記録ビデオ フォーマット
[NTSC Area] または [NTSC (J) Area]	XAVC	XAVC-I 1080/59.94P XAVC-L50 1080/59.94P XAVC-L35 1080/59.94P XAVC-I 1080/59.94i XAVC-L50 1080/59.94i XAVC-L35 1080/59.94i XAVC-L25 1080/59.94i XAVC-I 1080/29.97P XAVC-L50 1080/29.97P XAVC-L35 1080/29.97P XAVC-I 1080/23.98P XAVC-L50 1080/23.98P XAVC-L35 1080/23.98P XAVC-I 720/59.94P XVAC-L50 720/59.94P
	MPEG2	HD422 50/1080/59.94i HQ 1920×1080/59.94i HQ 1440×1080/59.94i HD422 50/1080/29.97P HQ 1920×1080/29.97P HQ 1440×1080/29.97P HD422 50/1080/23.98P HQ 1920×1080/23.98P HQ 1440×1080/23.98P HD422 50/720/59.94P HQ 1280×720/59.94P
[PAL Area]	XAVC	XAVC-I 1080/50P XAVC-L50 1080/50P XAVC-L35 1080/50P XAVC-I 1080/50i XAVC-L50 1080/50i XAVC-L35 1080/50i XAVC-L25 1080/50i XAVC-I 1080/25P XAVC-L50 1080/25P XAVC-L35 1080/25P XAVC-I 720/50P XAVC-L50 720/50P
	MPEG2	HD422 50/1080/50i HQ 1920×1080/50i HQ 1440×1080/50i HD422 50/1080/25P HQ 1920×1080/25P HQ 1440×1080/25P HD422 50/720/50P HQ 1280×720/50P

exFAT/SD モード

【Country】 の設定	選択可能な記録ビデオフォーマット
[NTSC Area] または [NTSC (J) Area]	DVCAM 59.94i IMX50 59.94i
[PAL Area]	DVCAM 50i IMX50 50i

FAT/HD モード

【Country】 の設定	選択可能な記録ビデオフォーマット
[NTSC Area] または [NTSC (J) Area]	HQ 1920×1080/59.94i HQ 1440×1080/59.94i SP 1440×1080/59.94i HQ 1920×1080/29.97P HQ 1440×1080/29.97P HQ 1920×1080/23.98P HQ 1440×1080/23.98P HQ 1280×720/59.94P
[PAL Area]	HQ 1920×1080/50i HQ 1440×1080/50i SP 1440×1080/50i HQ 1920×1080/25P HQ 1440×1080/25P HQ 1280×720/50P

FAT/SD モード

【Country】 の設定	選択可能な記録ビデオフォーマット
[NTSC Area] または [NTSC (J) Area]	DVCAM59.94i
[PAL Area]	DVCAM50i

出力のフォーマットと制限

SDI OUT端子1/2の出力フォーマット

記録中／記録待機中（SDI 入力）（[SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] が [3G (SDI)] の場合）

入力フォーマット		出力フォーマット
[OTHERS] メニューの [System] の [Rec Format]	SDI IN	[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select]
		3G (SDI)
59.94P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/59.94P	1920×1080/59.94P
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i	1920×1080/59.94i
29.97P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)		
23.98P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/23.98PsF	1920×1080/59.94i ¹⁾ 1920×1080/23.98PsF ²⁾
59.94P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/59.94P	1280×720/59.94P
50P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/50P	1920×1080/50P
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/50i	1920×1080/50i
25P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)		
50P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/50P	1280×720/50P

記録中／記録待機中（SDI 入力）

入力フォーマット		出力フォーマット			
[OTHERS] メニューの [System] の [Rec Format]	SDI IN	[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select]			
		HD/HD & HDV	SD/SD & HDV/ SD & DVCAM	SD P/SD P & HDV	
59.94P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/ 59.94P	1920×1080/59.94i ³⁾	SD 59.94i ³⁾		設定なし
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/ 59.94i	1920×1080/59.94i	SD 59.94i		
29.97P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)					
23.98P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/ 23.98PsF	1920×1080/59.94i ¹⁾ 1920×1080/23.98PsF ²⁾			
59.94P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/ 59.94P	1280×720/59.94P	SD 59.94i ³⁾		
59.94i (DVCAM/IMX)	SD/59.94i	設定なし	SD 59.94i		
50P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/50P	1920×1080/50i ⁴⁾	SD 50i ⁴⁾		
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/50i	1920×1080/50i	SD 50i		
25P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)					
50P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/50P	1280×720/50P	SD 50i ⁴⁾		
50i (DVCAM/IMX)	SD/50i	設定なし	SD 50i		

¹⁾ [VIDEO SET] メニューの [23.98P OUTPUT] が [59.94i (2-3 Pull Down)] のとき

²⁾ [VIDEO SET] メニューの [23.98P OUTPUT] が [23.98PsF] のとき

³⁾ 59.94Pから59.94iに変換したもの

⁴⁾ 50Pから50iに変換したもの

付録

記録中／記録待機中 (i.LINK(HDV) 入力)

FATモード時のみ有効 (UDF、exFAT時はi.LINK無効)。

[OTHERS] メニューの [System] の [Rec Format] が [SP 1440/59.94i] の場合、[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] の設定によって、出力フォーマットは次のようになります。

HD & HDV : 1920×1080/59.94i

SD & HDV : SD 59.94i

[OTHERS] メニューの [System] の [Rec Format] が [SP 1440/50i] の場合、[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] の設定によって、出力フォーマットは次のようになります。

HD & HDV : 1920×1080/50i

SD & HDV : SD 50i

それ以外の場合は、青画が出力されるか、設定ができません。

記録中／記録待機中 (i.LINK(DVCAM) 入力)

FATモードまたはUDF/SDモード時のみ有効 (UDF/HDモード、exFATモード時はi.LINK無効)。

[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] が [SD & DVCAM] (FATモード) または [SD] (UDF/SDモード) の場合、入力フォーマットにかかわらず、出力フォーマットはSD 59.94i/SD 50iとなります。

[SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] の設定がそれ以外の場合は、青画が出力されるか、設定ができません。

再生時 ([SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] が [3G (SDI)] の場合)

再生クリップのフォーマット	出力フォーマット
	[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] 3G (SDI)
59.94P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/59.94P
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i
29.97P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i 1280×720/59.94P ¹⁾
23.98P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i ²⁾ 1920×1080/23.98PsF ³⁾ 1280×720/59.94P ¹⁾
59.94P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/59.94P
50P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/50P
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/50i
25P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/50i 1280×720/50P ¹⁾
50P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/50P

再生時

再生クリップのフォーマット	出力フォーマット		
	[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select]		
	HD/HD & HDV	SD/SD & HDV/ SD & DVCAM	SD P/SD P & HDV
59.94P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/59.94i ⁵⁾	SD 59.94i ⁵⁾	設定なし

再生クリップのフォーマット	出力フォーマット		
	[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select]		
	HD/HD & HDV	SD/SD & HDV/ SD & DVCAM	SD P/SD P & HDV
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/59.94i	SD 59.94i	設定なし
29.97P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i 1280×720/59.94P ¹⁾		
23.98P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i ²⁾ 1920×1080/23.98PsF ³⁾ 1280×720/59.94P ¹⁾		
59.94P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/59.94P	SD 59.94i ⁵⁾	
59.94i (DVCAM/IMX)	設定なし	SD 59.94i	
50P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/50i ⁶⁾	SD 50i ⁶⁾	
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/50i	SD 50i	
25P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/50i 1280×720/50P ¹⁾		
50P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/50P		
50i (DVCAM/IMX)	設定なし	SD 50i	

1) 再生クリップのフォーマットが720のとき

2) [VIDEO SET] メニューの [23.98P OUTPUT] が [59.94i (2-3 Pull Down)] で、再生クリップのフォーマットが1080のとき

3) [VIDEO SET] メニューの [23.98P OUTPUT] が [23.98PsF] で、再生クリップのフォーマットが1080のとき

4) 再生クリップのフォーマットが720のとき。FAT/HQ1280/23.98Pで記録されたPure Pクリップ再生時も自動でブルダウン再生されます。

5) 59.94Pから59.94iに変換したもの

6) 50Pから50iに変換したもの

サムネイル画面表示時（[SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] が [3G (SDI)] の場合）

入力フォーマット	出力フォーマット
[OTHERS] メニューの [System] の [Rec Format]	[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] 3G (SDI)
59.94P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/59.94i ³⁾
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i
29.97P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	
23.98P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i ¹⁾ 1920×1080/23.98PsF ²⁾
59.94P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/59.94P
50P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/50i ⁴⁾
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/50i
25P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	
50P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/50P

サムネイル画面表示時

[OTHERS] メニューの [System] の [Rec Format]	出力フォーマット		
	[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select]		
	HD/HD & HDV	SD/SD & HDV/ SD & DVCAM	SD P/SD P & HDV
59.94P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/59.94i ³⁾	SD 59.94i ³⁾	設定なし
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/59.94i	SD 59.94i	
29.97P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)			
23.98P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i ¹⁾ 1920×1080/23.98PsF ²⁾		
59.94P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/59.94P	SD 59.94i ³⁾	
59.94i (DVCAM/IMX)	設定なし	SD 59.94i	
50P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/50i ⁴⁾	SD 50i ⁴⁾	
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/50i	SD 50i	
25P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)			
50P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/50P	SD 50i ⁴⁾	
50i (DVCAM/IMX)	設定なし	SD 50i	

1) [VIDEO SET] メニューの [23.98P OUTPUT] が [59.94i (2-3 Pull Down)] のとき

2) [VIDEO SET] メニューの [23.98P OUTPUT] が [23.98PsF] のとき

3) 59.94Pから59.94iに変換したもの

4) 50Pから50iに変換したもの

HDMI OUT端子の出力フォーマット

記録中／記録待機中 (SDI 入力) ([SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] が [3G (SDI)] の場合)

入力フォーマット		出力フォーマット
[OTHERS] メニューの [System] の [Rec Format]	SDI IN	[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select]
		3G (SDI)
59.94P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/59.94P	1920×1080/59.94i ³⁾
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i	1920×1080/59.94i
29.97P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)		
23.98P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/23.98PsF	1920×1080/59.94i ¹⁾
59.94P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/59.94P	1280×720/59.94P
50P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/50P	1920×1080/50i ³⁾
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/50i	1920×1080/50i
25P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)		
50P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/50P	1280×720/50P

記録中／記録待機中（SDI 入力）

入力フォーマット		出力フォーマット		
[OTHERS] メニューの [System] の [Rec Format]	SDI IN	[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select]		
		HD/HD & HDV	SD/SD & HDV/ SD & DVCAM	SD P/SD P & HDV
59.94P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/ 59.94P	1920×1080/59.94i ³⁾	SD 59.94i ³⁾	SD 59.94P
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/ SP)	1920×1080/ 59.94i	1920×1080/59.94i	SD 59.94i	SD 59.94P ²⁾
29.97P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)				SD 59.94P
23.98P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/ 23.98PsF	1920×1080/59.94i ¹⁾		
59.94P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/ 59.94P	1280×720/59.94P	SD 59.94i ³⁾	
59.94i (DVCAM/IMX)	SD/59.94i	設定なし	SD 59.94i	設定なし
50P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/50P	1920×1080/50i ³⁾	SD 50i ³⁾	SD 50P
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/50i	1920×1080/50i	SD 50i	SD 50P ²⁾
25P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)				SD 50P
50P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/50P	1280×720/50P	SD 50i ³⁾	
50i (DVCAM/IMX)	SD/50i	設定なし	SD 50i	設定なし

1) [VIDEO SET] メニューの [23.98P OUTPUT] が [59.94i (2-3 Pull Down)] のとき

2) インターレースからプログレッシブに変換したもの

3) プログレッシブからインターレースに変換したもの

記録中／記録待機中（i.LINK(HDV) 入力）

FATモード時のみ有効（UDF、exFAT時はi.LINK無効）。

[OTHERS] メニューの [System] の [Rec Format] が [SP 1440/59.94i] の場合、出力フォーマットは次のようになります。

HD & HDV : 1920×1080/59.94i

SD & HDV : SD 59.94i

SD P & HDV : SD 59.94P

[OTHERS] メニューの [System] の [Rec Format] が [SP 1440/50i] の場合、出力フォーマットは次のようになります。

HD & HDV : 1920×1080/50i

SD & HDV : SD 50i

SD P & HDV : SD 50P

それ以外の場合は、青画が出力されるか、設定ができません。

記録中／記録待機中（i.LINK(DVCAM) 入力）

FATモードまたはUDF/SDモード時のみ有効（UDF/HDモード、exFATモード時はi.LINK無効）。

[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] が [SD & DVCAM] (FATモード) または [SD] (UDF/SDモード) の場合、入力フォーマットにかかわらず、出力フォーマットはSD 59.94i/SD 50iとなります。

[SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] の設定がそれ以外の場合は、青画が出力されるか、設定ができません。

再生時（[SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] が [3G (SDI)] の場合）

再生クリップのフォーマット	出力フォーマット
	[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select]
	3G (SDI)
59.94P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/59.94i ⁵⁾
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i
29.97P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i 1280×720/59.94P ¹⁾
23.98P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i ²⁾ 1280×720/59.94P ³⁾
59.94P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/59.94P
50P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/50i ⁵⁾
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/50i
25P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/50i 1280×720/50P ¹⁾
50P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/50P

再生時

再生クリップのフォーマット	出力フォーマット		
	[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select]		
	HD/HD & HDV	SD/SD & HDV/ SD & DVCAM	SD P/SD P & HDV
59.94P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/59.94i ⁵⁾	SD 59.94i ⁵⁾	SD 59.94P
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/59.94i	SD 59.94i	SD 59.94P ⁴⁾
29.97P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i 1280×720/59.94P ¹⁾		SD 59.94P
23.98P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i ²⁾ 1280×720/59.94P ³⁾		
59.94P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/59.94P	SD 59.94i ⁵⁾	
59.94i (DVCAM/IMX)	設定なし	SD 59.94i	設定なし
50P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/50i ⁵⁾	SD 50i ⁵⁾	SD 50P
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/50i	SD 50i	SD 50P ⁴⁾
25P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/50i 1280×720/50P ¹⁾		SD 50P
50P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/50P		
50i (DVCAM/IMX)	設定なし	SD 50i	設定なし

1) 再生クリップのフォーマットが720のとき

2) [VIDEO SET] メニューの [23.98P OUTPUT] が [59.94i (2-3 Pull Down)] で、再生クリップのフォーマットが1080のとき

3) 再生クリップのフォーマットが720のとき。Pure Pで記録されたクリップの再生時も自動でプルダウン再生されます。

4) インターレースからプログレッシブに変換したもの

5) プログレッシブからインターレースに変換したもの

サムネイル画面表示時（[SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] が [3G (SDI)] の場合）

入力フォーマット	出力フォーマット
[OTHERS] メニューの [System] の [Rec Format]	[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] 3G (SDI)
59.94P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/59.94i ³⁾
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i
29.97P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	
23.98P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	
59.94P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i ¹⁾
50P (XAVC-I/XAVC-L)	1280×720/59.94P
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/50i ³⁾
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/50i
25P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	
50P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	
50P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/50P

サムネイル画面表示時

[OTHERS] メニューの [System] の [Rec Format]	出力フォーマット		
	[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select]		
	HD/HD & HDV	SD/SD & HDV/ SD & DVCAM	SD P/SD P & HDV
59.94P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/59.94i ³⁾	SD 59.94i ³⁾	SD 59.94P
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/59.94i	SD 59.94i	SD 59.94P ²⁾
29.97P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)			SD 59.94P
23.98P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)			
59.94P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/59.94P	SD 59.94i ³⁾	
59.94i (DVCAM/IMX)	設定なし	SD 59.94i	設定なし
50P (XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/50i ³⁾	SD 50i ³⁾	SD 50P
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/50i	SD 50i	SD 50P ²⁾
25P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)			SD 50P
50P (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)			
50i (DVCAM/IMX)	設定なし	SD 50i	設定なし

1) [VIDEO SET] メニューの [23.98P OUTPUT] が [59.94i (2-3 Pull Down)] のとき

2 インターレースからプログレッシブに変換したもの

3 プログレッシブからインターレースに変換したもの

VIDEO OUT端子の出力フォーマット

記録中／記録待機中（SDI 入力時）

SDI入力時のSDI OUT端子1/2の出力フォーマットと同様。

記録中／記録待機中（i.LINK(HDV) 入力時）

i.LINK(HDV)入力時のSDI OUT端子1/2の出力フォーマットと同様。

記録中／記録待機中（i.LINK(DVCAM) 入力時）

i.LINK(DVCAM)入力時のSDI OUT端子1/2の出力フォーマットと同様。

再生時

SDI OUT端子1/2の出力フォーマットと同様。

は
難

サムネイル画面表示時

SD入力時のSDI OUT端子1/2の出力フォーマットと同様。

ご注意

[VIDEO SET] メニューの [SDI/HDMI/i.LINK I/O Select] が [3G (SDI)] に設定されているときは、HDのときの出力フォーマットになります。

i.LINK端子の出力フォーマット

記録中／記録待機中（SDI 入力）

FATモード時のみ有効（UDF、exFAT時はi.LINK無効）。

[OTHERS] メニューの [System] の [Country] が [NTSC Area] または [NTSC(J) Area] で、[Rec Format] が [SP 1440/59.94i] の場合、出力フォーマットは次のようになります。

*** & HDV : HDV 59.94i

*** & DVCAM : SD 59.94i

[Country] が [NTSC Area] または [NTSC(J) Area] で、[Rec Format] の設定が上記以外の場合は、次のようになります。

*** & HDV : 設定なし

*** & DVCAM : SD 59.94i (1920×1080/23.98P、1440×1080/23.98Pは設定なし)

[OTHERS] メニューの [System] の [Country] が [PAL Area] で、[Rec Format] が [SP 1440/50i] の場合、出力フォーマットは次のようになります。

*** & HDV : HDV 50i

*** & DVCAM : SD 50i

[Country] が [PAL Area] で、[Rec Format] の設定が上記以外の場合は、次のようになります。

*** & HDV : 設定なし

*** & DVCAM : SD 50i

*** & DVCAM : DVCAM 59.94i
[Country] が [NTSC Area] または [NTSC(J) Area] で、上記以外のフォーマットのクリップを再生した場合は、次のようになります。

*** & HDV : 設定なし

*** & DVCAM : DVCAM 59.94i (1920×1080/23.98P、1440×1080/23.98P、および1280×720/23.98Pは設定なし)
SD : DVCAM 59.94i (UDF/SDモード時)

[OTHERS] メニューの [System] の [Country] が [PAL Area]、[Rec Format] が [SP 1440/50i] で、再生クリップのフォーマットがSP 1440/50iの場合、出力フォーマットは次のようになります。

*** & HDV : HDV 50i

*** & DVCAM : DVCAM 50i

[Country] が [PAL Area] で、上記以外のフォーマットのクリップを再生した場合は、次のようになります。

*** & HDV : 設定なし

*** & DVCAM : DVCAM 50i

SD : DVCAM 50i (UDF/SDモード時)
[Rec Format] が、[HQ 1080/23.98P] または [HQ 720/23.98P] (ピュア23.98Pで記録するビデオフォーマット) に設定されているときは、再生映像はi.LINK(DVCAM)で出力されません。

UDF/SDモードで [Rec Format] が [IMX50] に設定されているときは、再生映像はi.LINK(DVCAM)で出力されません。

再生時

FATモードまたはUDF/SDモード時のみ有効（UDF/HDモード、exFATモード時はi.LINK無効）。

[OTHERS] メニューの [System] の [Country] が [NTSC Area] または [NTSC(J) Area]、[Rec Format] が [SP 1440/59.94i] で、再生クリップのフォーマットがSP 1440/59.94iの場合、出力フォーマットは次のようになります。

*** & HDV : HDV 59.94i

バックアップ電池の交換

本機はバックアップ電池によって各種データを保持します。

工場出荷時に、バックアップ用リチウム電池CR2032が装着されています。

バッテリーパックやACアダプターを外した状態でも、バックアップ電池によって日付・時刻、およびFree Runモードのタイムコードを保持し歩進させます。

⚠ 警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

バックアップ電池の交換時期

バックアップ電池の電圧が低下すると、LCDモニターに警告メッセージが表示されます。

できるだけ早く新しい電池と交換してください。

ご注意

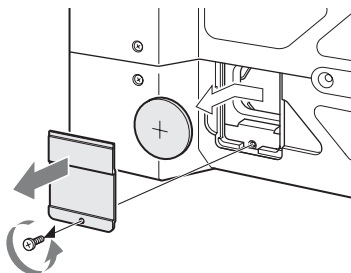
- 市販のCR2032リチウム電池を使用してください。指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。
- CR2032が入手できない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
- 使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

バックアップ電池を交換する

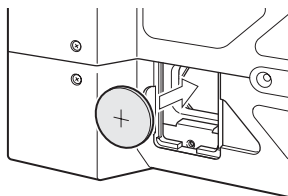
ご注意

- バックアップ電池を交換するときは、必ず電源をOFFにしてください。
- 外したネジを本体内に落とさないようにご注意ください。

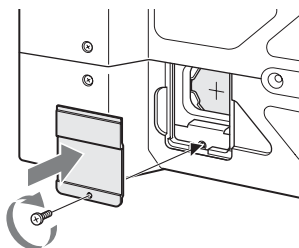
- 1 側面のバックアップ電池取り付け部のネジを外してカバーを開け、非金属の棒状のもので電池を横にずらして取り出す。



- 2 +表示を外側にして新しいバックアップ電池（CR2032）を入れる。



- 3 カバーを元どおり取り付け。



トラブル時の対処

電源

症状	原因	対処
電源ボタンを押しても電源が入らない。	バッテリーパックからの電源、DC IN電源のどちらも供給されていない。	バッテリーパックを取り付ける（12ページ）か、ACアダプター（BC-U1/BC-U2）を使用してAC電源に接続する（13ページ）。
	バッテリーパックが完全に消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する（12ページ）。
電源が途中で切れる。	バッテリーパックが消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する（12ページ）。
バッテリーパックがすぐ消耗する。	温度が極端に低いところで使用している。	バッテリーパックの特性によるもので、故障ではありません。
	充電が不十分。	バッテリーパックをもう一度充電し直す（12ページ）。フル充電してもすぐに消耗する場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックに交換してください。

記録・再生

症状	原因	対処
REC+PLAY/PAUSEボタンを押しても記録が始まらない。	電源がOFFになっている。	電源ボタンを押す。
	SxSメモリーカードがプロテクトされている。	プロテクトを解除するか、またはプロテクトされていないSxSメモリーカードに交換する。
	SxSメモリーカードの容量がいっぱいになっている。	十分な空き容量のあるSxSメモリーカードに交換する。
	修復が必要なSxSメモリーカードが入っている。	SxSメモリーカードを修復する（15ページ）。
PLAY/PAUSEボタンを押しても再生が始まらない。	電源がOFFになっている。	電源ボタンを押す。
付属のリモコンが働かない	リモコン操作が無効になっている。	リモコン操作を有効にする（70ページ）。
	リモコンの電池が消耗している。	電池を交換する（9ページ）。

外部機器

症状	原因	対処
i.LINK接続しても接続先の機器に画像が映らないなど、接続先の機器が反応しない。	認識するまでに時間がかかる場合がある。	約15秒間、そのまま待つ。それでも認識しないときは、以下を行う。 • i.LINKケーブルを差し込み直すなどして、接続状態を確認する。 • 電源をOFFにして、接続し直す。 • i.LINKケーブルを交換する。

エラー表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、LCDモニターのメッセージ表示、タリールンプの点滅、および警告音で対応します。

警告音は、内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

警告音の音量は、[AUDIO SET] メニューの [Audio Output] (62ページ) の [Alarm Level] で設定します。

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

LCD警告表示	警告音	タリールンプ	原因と対策
E+エラーコード	連続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。LCDモニター上に ●RECと表示されていても記録は止まっています。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。 (電源ボタンを押しても電源が切れない場合は、バッテリーパックやDC IN電源も外してください。)

警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

([OTHERS] メニューの [Language] を [English] に設定した場合、メッセージは英文で表示されます。)

LCD警告表示	警告音	タリールンプ	原因と対策
メディア残量がわずかです Media Near Full メディア(A) ² 残量がわずかです Media(A) ² Near Full	断続音	点滅	SxSメモリーカードの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。 2スロット同時記録モード時は、「Media(A) ² Near Full」が表示されます。
メディア残量がありません Media Full メディア(A) ² 残量がありません Media(A) ² Full	連続音	高速点滅	SxSメモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。 交換してください。 2スロット同時記録モード時は、「Media(A) ² Full」が表示されます。
バッテリー残量がわずかです Battery Near End	断続音	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。 早い機会に充電してください。
バッテリー残量がありません Battery End	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。 いったん操作を中止し、バッテリーパックを交換してください。
警告温度になりました Temperature High	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。 いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
電源電圧が低下しています Voltage Low	断続音	点滅	DC IN電圧が低くなっています (段階1)。 供給電源を確認してください。
電源電圧が不足しています Insufficient Voltage	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます (段階2)。記録はできません。 他の電源に接続し直してください。
HDD A ¹)バッテリー残量がわずかです HDD A ¹) Battery Near End	断続音	点滅	HDDのバッテリーの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。

LCD警告表示	警告音	タリ ランプ	原因と対策
HDD A ¹⁾ バッテリー残量不足です HDD A ¹⁾ Battery End	連続音	高速点滅	HDDのバッテリーが消耗しました。記録はできません。 いったん操作を中止し、バッテリーを交換してください。
i.LINKを抜いてください 再起動が必要です Please disconnect i.LINK Need to Reboot			i.LINK接続とIFU-WLM3接続を同時に使用することはできません。電源を切って、どちらか一方を抜いてご使用ください。
メディア(A) ²⁾ のみ記録しています (2スロット同時記録時) Record Only Media(A) ²⁾	断続音	点滅	2スロット同時記録モードで一方のメディアにだけ記録している状態です。2スロット同時記録するには、記録を一旦停止し、両方のスロットに記録可能なメディアを挿入してください。
このバッテリーは使用できません 交換してください Battery Error Please Change Battery			バッテリーバックに異常が検出されました。 正常なバッテリーバックに交換してください。
バックアップ電池残量がありません 交換してください Backup Battery End Please Change			バックアップ電池の残量が不足しています。 バックアップ電池を交換してください。
メディア(A) ²⁾ は使用できません 交換してください Unknown Media(A) ²⁾ Please Change			パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してください。
メディアエラーが発生しました メディア(A) ²⁾ は修復が必要です Media Error Media(A) ²⁾ Needs to be Restored			メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードを一度抜いてから再挿入して、カードの修復を行ってください。
メディアエラーが発生しました メディア(A) ²⁾ は記録できません Media Error Cannot Record to Media(A) ²⁾			メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをおすすめします。
メディアエラーが発生しました メディア(A) ²⁾ は使用できません Media Error Cannot Use Media(A) ²⁾			メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。 本機では扱えませんが、他のカードに交換してください。
まもなくスロットを切り替えます Will Switch Slots Soon			2枚のメモリーカードで連続記録を実行するためスロットを切り換えることを予告するメッセージです。
クリップがありません No Clip			メディア内にクリップがありません。 選択しているカードを確認してください。
メディア(A) ³⁾ は使用できません ファイルシステムが異なります Cannot Use Media(A) ³⁾ Unsupported File System			ファイルシステムの異なるメディアまたはフォーマットされていないメディアが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
このファイルシステムではメディア(A) ²⁾ は使用できません In This File System Cannot Use Media(A) ²⁾			このファイルシステムでは使用できないメモリーカードが挿入されました。 対象スロットのカードを交換または本機でフォーマットするか、F.Sys.モードを切り換えてください。

LCD警告表示	警告音	タリ ランプ	原因と対策
同名のクリップが存在します メディア(A) ³⁾ を交換してください Same File Already Exists Change Media(A) ³⁾			コピー先のメディア内に同じ名前のクリップがあります。 対象のメディアを他のメディアに交換してください。
ビデオフォーマットが違います Video Format Mismatch			[Rec Format] 設定が外部入力信号フォーマットと異なっているため、i.LINK接続による外部入力信号を記録できません。 [OTHERS] メニューの [System] の [Rec Format] を外部入力信号に合わせて設定し直してください。
コピー制御信号を検出しました 記録できません Copy Protected Input Cannot Record			ストリームにコピープロテクトがかかっているため、i.LINK接続による外部入力信号を記録できません。 入力信号を確認してください。
メディアエラーが発生しました 再生を停止しました Media Error Playback Halted			メモリーカードからの読み出しにエラーが発生したため、再生を続けられません。 頻繁に起きる場合には、コピーをとるなどをして、メモリーカードを交換してください。
書き換え寿命に達しました メディア(A) ²⁾ を交換してください Media Reached Rewriting Limit Change Media (A) ²⁾			メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。
最大クリップ数になりました コピーしました xx/xx Reached Clip Number Limit Copy Completed to xx/xx			メディアに記録可能な最大クリップ数に達したため、コピーできません (xx/xxまでコピー完了しています)。 メディアを交換してください。
メディア残量が足りません コピーしました xx/xx Not Enough Capacity Copy Completed to xx/xx			メディアの残量が足りないため、コピーできません (xx/xxまでコピー完了しています)。 メディアを交換してください。
同名のクリップが複数存在します コピーしました xx/xx Reached Duplication Limit Copy Completed to xx/xx			同名のクリップが10以上存在するため、コピーできません (xx/xxまでコピー完了しています)。 カードを交換してください。
エラーが発生しました キャンセル：中止 メディアがありません Copy Error! (CANCEL:Abort) No Media!			メモリーカードがスロットに挿入されていません。 カードを挿入してください。
エラーが発生しました キャンセル：中止 書き込み禁止メディア Copy Error! (CANCEL:Abort) Media Write Protected			メモリーカードにライトプロテクトがかかっています。 スロットからカードを取り出して、ライトプロテクトを解除してください。
エラーが発生しました キャンセル：中止 メディア(A) ³⁾ は使用できません Copy Error! (CANCEL:Abort) Cannot Use Media(A) ³⁾			- 使用できないメモリーカードが挿入されました。 対象スロットのカードを交換してください。 - コピー時のエラーチェックでエラーがありました。 コピーをやり直してください。
Generalファイルのコピー コピーできません Copy General Files NG: Cannot Copy			「General」ファイルのコピーに失敗しました。 コピーをやり直してください。

LCD警告表示	警告音	タリランプ	原因と対策
異なるメディアが挿入されました メディア(A) ²⁾ は使用できません Different Media is Inserted Cannot Use Media(A) ²⁾			異なる種類のカードが挿入されました。 後から挿入したカードを前に挿入したカード と同じ種類のカードに交換してください。
ファイルシステムが異なります File System Mismatch			ファイルシステムが異なるメディアが挿入 されました。 メディアを交換または本機でフォーマットす るか、F.Sys.モードを切り換えてください。
非対応のデバイスです Unsupported Device			本機で対応していない種類のメディアが接続 されています。 メディアを交換してください。
最大フォルダ数です メディア (USB) を交換してくだ さい Reached Folder Number Limit Change Media (USB)			メディアに設定可能な最大フォルダ数に達 しています。 フォルダーを削除するか、メディアを交換し てください。
全クリップコピー 中止しました Copy All Clips Cancelled			記録操作を開始したため、またはキャンセル 操作を行ったため、コピーを中止しました。

- 1) スロットBに接続したHDDの場合はB
- 2) スロットBに入れたカードの場合は(B)
- 3) スロットBに入れたカードの場合は(B)、外部機
器接続端子に接続したUSBメディアの場合は
(USB)

ライセンスについて

MPEG-4 AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIOLICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEO といいます）にエンコードすること。
- (ii) AVC VIDEO（消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

ビットマップフォントについて

本製品は、株式会社リコーがデザイン制作したりコービットマップフォントを使用しています。

GPL適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL version 2適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体

的なダウンロードの方法がわかるようになっていきます。
<http://www.sony.net/Products/Linux/common/search.html>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

OpenSSLについて

本製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Projectによって開発されたソフトウェアが含まれています（<http://www.openssl.org/>）。

OpenSSL License

```
/*
=====
* Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL
* Project. All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and
* binary forms, with or without
* modification, are permitted provided
* that the following conditions are met:
*
* 1. Redistributions of source code must
* retain the above copyright notice,
* this list of conditions and the
* following disclaimer.
*
* 2. Redistributions in binary form must
* reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the
* following disclaimer in the
* documentation and/or other
* materials provided with the
* distribution.
*
* 3. All advertising materials mentioning
* features or use of this software must
* display the following
* acknowledgment:
* "This product includes software
* developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit.
```

```

* (http://www.openssl.org/)
*
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and
* "OpenSSL Project" must not be used
* to endorse or promote products
* derived from this software without
* prior written permission. For written
* permission, please contact openssl-
* core@openssl.org.
*
* 5. Products derived from this software
* may not be called "OpenSSL" nor
* may "OpenSSL" appear in their
* names without prior written
* permission of the OpenSSL Project.
*
* 6. Redistributions of any form
* whatsoever must retain the following
* acknowledgment:
* "This product includes software
* developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit
* (http://www.openssl.org/)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY
* THE OpenSSL PROJECT ``AS IS"
* AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED
* WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT
* LIMITED TO, THE IMPLIED
* WARRANTIES OF MERCHANTABILITY
* AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO
* EVENT SHALL THE OpenSSL
* PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE
* LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
* INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY,
* OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
* (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
* PROCUREMENT OF SUBSTITUTE
* GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;
* OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY
* THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
* CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR
* TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
* OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE
* USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF

```

```

* ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*

```

```

=====

```

```

* This product includes cryptographic
* software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product
* includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*

```

```

* /

```

Original SSLeay License

```

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young
* (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL
* implementation written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as
* to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and
* non-commercial use as long as the
* following conditions are aheared to.
* The following conditions apply to all
* code found in this distribution, be it the
* RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not
* just the SSL code. The SSL
* documentation included with this
* distribution is covered by the same
* copyright terms except that the holder
* is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and
* as such any Copyright notices in the
* code are not to be removed.
* If this package is used in a product,
* Eric Young should be given attribution
* as the author of the parts of the library
* used.
* This can be in the form of a textual
* message at program startup or in
* documentation (online or textual)
* provided with the package.

```

```
*
* Redistribution and use in source and
* binary forms, with or without
* modification, are permitted provided
* that the following conditions are met:
* 1. Redistributions of source code must
*    retain the copyright notice, this list of
*    conditions and the following
*    disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must
*    reproduce the above copyright
*    notice, this list of conditions and the
*    following disclaimer in the
*    documentation and/or other
*    materials provided with the
*    distribution.
* 3. All advertising materials mentioning
*    features or use of this software must
*    display the following
*    acknowledgement:
*    "This product includes
*    cryptographic software written by
*    Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
*    The word 'cryptographic' can be left
*    out if the routines from the library
*    being used are not cryptographic
*    related :-).
* 4. If you include any Windows specific
*    code (or a derivative thereof) from
*    the apps directory (application
*    code) you must include an
*    acknowledgement:
*    "This product includes software
*    written by Tim Hudson
*    (tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY
* ERIC YOUNG ``AS IS" AND ANY
* EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,
* INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
* THE IMPLIED WARRANTIES OF
* MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A
* PARTICULAR PURPOSE ARE
* DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE
* AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE
* LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
* INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
* CONSEQUENTIAL DAMAGES
* (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
```

```
* PROCUREMENT OF SUBSTITUTE
* GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,
* DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
* INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY
* THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
* CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR
* TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
* OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT
* OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN
* IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for
* any publically available version or
* derivative of this code cannot be
* changed. i.e. this code cannot simply
* be copied and put under another
* distribution licence [including the GNU
* Public Licence.]
* /
```

JQuery,Sizzle.jsについて

本製品には、MITライセンス適用の下記のソフトウェアが含まれています

jQuery JavaScript Library v1.7.2
<http://jquery.com/>
Copyright 2011, John Resig

Sizzle.js
<http://sizzlejs.com/>
Copyright 2011, The Dojo Foundation
Date: Wed Mar 21 12:46:34 2012 -0700

MITライセンス

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF

CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

ソフトウェアのダウンロードについて

本機をPCと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアを下記サイトからダウンロードしてお使いください。

ソニープロフェッショナル/業務用製品サイトホームページ：

アメリカ合衆国	http://pro.sony.com
カナダ	http://www.sonybiz.ca
ラテンアメリカ	http://sonypro-latin.com
ヨーロッパ	http://www.pro.sony.eu/pro
中東、アフリカ	http://sony-psmea.com
ロシア	http://sony.ru/pro/
ブラジル	http://sonypro.com.br
オーストラリア	http://pro.sony.com.au
ニュージーランド	http://pro.sony.co.nz
日本	http://www.sonybsc.com
アジア	http://pro.sony-asia.com
韓国	http://bp.sony.co.kr
中国	http://pro.sony.com.cn
インド	http://pro.sony.co.in

Sony Creative Software社のソフトウェアダウンロードページ

http://www.sonycreativesoftware.com/download/software_for_sony_equipment

主な仕様

一般仕様

電源

DC 12V

消費電力

約13 W (記録時、LCD On)

約22.5 W (記録時、LCD On、CBK-WA100接続)

動作温度

0℃～40℃

保存温度

−20℃～+60℃

質量

約1 kg (オーディオ入力ボックスを除く)

約1.2 kg (オーディオ入力ボックスを含む)

外形寸法 (幅/高さ/奥行き)

約124×86×237 mm (オーディオ入力ボックスを除く、突起部含まず)

約124×115×237 mm (オーディオ入力ボックスを含む、突起部含まず)

記録・再生フォーマット (ビデオ)

[exFAT]

- XAVC-Iモード：CBG、223 Mbps max、MPEG-4 AVC/H.264
- XAVC-L50モード：VBR、50 Mbps max、MPEG-4 AVC/H.264
- XAVC-L35モード：VBR、35 Mbps max、MPEG-4 AVC/H.264
- XAVC-L25モード：VBR、25 Mbps max、MPEG-4 AVC/H.264
- HD422モード：CBR、50 Mbps、MPEG-2 422P@HL
- HD420モード：VBR、35 Mbps、MPEG-2 MP@HL
- DVCAMモード：DVCAM
- IMX 50モード：CBR、50 Mbps、MPEG-2 422P@ML Intra

[UDF]

- HD422モード：CBR、50 Mbps、MPEG-2 422P@HL
- HD420モード：VBR、35 Mbps、MPEG-2 MP@HL

- DVCAMモード：DVCAM
- IMX 50モード：CBR、50 Mbps、MPEG-2 422P@ML Intra

[FAT]

- HQモード：VBR、35 Mbps、MPEG-2 MP@HL
- SPモード：CBR、25 Mbps、MPEG-2 MP@H14
- DVCAMモード：DVCAM

記録・再生フォーマット (オーディオ)

[exFAT]

- XAVC-Iモード：LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル
- XAVC-L50モード：LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル
- XAVC-L35モード：LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル
- XAVC-L25モード：LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル
- HD422モード：LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル
- IMX 50モード：LPCM 24/16ビット、48 kHz、4チャンネル
- その他のモード：LPCM 16ビット、48 kHz、4チャンネル

[UDF]

- HD422モード：LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル
- IMX 50モード：LPCM 24/16ビット、48 kHz、4チャンネル
- その他のモード：LPCM 16ビット、48 kHz、4チャンネル

[FAT]

- HDモード：LPCM 16ビット、48 kHz、4チャンネル
- SDモード：LPCM 16ビット、48 kHz、2チャンネル

連続記録時間 (XAVC)

ご注意

以下の数値は1クリップだけでメディアフルになるまで記録を行った場合の最長記録時間です。複数のクリップを作成すると、クリップ数によっては最長記録時間が短くなる場合があります。

[XAVC-I]

約60分 (SBP-128B (128 GB) メモリーカード使用時)

約30分 (SBP-64AB (64 GB) /SBS-64G1A (64 GB) メモリーカード使用時)

[XAVC-L50]

約240分 (SBP-128B (128 GB) メモリーカード使用時)

約120分 (SBP-64AB (64 GB) /SBS-64G1A (64 GB) メモリーカード使用時)

[XAVC-L35]

約340分 (SBP-128B (128 GB) メモリーカード使用時)

約170分 (SBP-64AB (64 GB) /SBS-64G1A (64 GB) メモリーカード使用時)

[XAVC-L25]

約440分 (SBP-128B (128 GB) メモリーカード使用時)

約220分 (SBP-64AB (64 GB) /SBS-64G1A (64 GB) メモリーカード使用時)

連続記録時間 (MPEG HD422)

[UDF]

HD422モード :

約120分 (SBP-64A/SBS-64G1A (64 GB) メモリーカード使用時)

約60分 (SBP-32/SBS-32G1A (32 GB) メモリーカード使用時)

連続記録時間 (MPEG HD)

[UDF]

HD420モード :

約180分 (SBP-64A/SBS-64G1A (64 GB) メモリーカード使用時)

約90分 (SBP-32/SBS-32G1A (32 GB) メモリーカード使用時)

[FAT]

HQモード :

約200分 (SBP-64A/SBS-64G1A (64 GB) メモリーカード使用時)

約100分 (SBP-32/SBS-32G1A (32 GB) メモリーカード使用時)

SPモード :

約280分 (SBP-64A/SBS-64G1A (64 GB) メモリーカード使用時)

約140分 (SBP-32/SBS-32G1A (32 GB) メモリーカード使用時)

連続記録時間 (MPEG IMX)

[UDF]

IMX 50モード :

約120分 (SBP-64A/SBS-64G1A (64 GB) メモリーカード使用時)

約60分 (SBP-32/SBS-32G1A (32 GB) メモリーカード使用時)

連続記録時間 (DVCAM)

[UDF]

DVCAMモード :

約220分 (SBP-64A/SBS-64G1A (64 GB) メモリーカード使用時)

約110分 (SBP-32/SBS-32G1A (32 GB) メモリーカード使用時)

[FAT]

DVCAMモード :

約260分 (SBP-64A/SBS-64G1A (64 GB) メモリーカード使用時)

約130分 (SBP-32/SBS-32G1A (32 GB) メモリーカード使用時)

バッテリー駆動時間

約110分 (BP-U30使用時、記録時、LCDモニター On)

約220分 (BP-U60使用時、記録時、LCDモニター On)

約330分 (BP-U90使用時、記録時、LCDモニター On)

メディアドライブ

メディアタイプ

ExpressCard/34 slot (2)

入出力

SDI出力

BNC (2)、3G/HD/SD切り換え可能、SMPTE 292M/259M/424M/425M

SDI入力

BNC (1)、3G/HD/SD自動切り換え、SMPTE 292M/259M/424M/425M

アナログオーディオ入力

XLR-3ピン (CH-1、CH-2)、LINE : +4 dBu (基準レベル)

アナログコンポジット出力

BNC (1)、NTSC、PALまたはHD-Y

HDMI出力

Type A 19ピン (1)、出力

アナログオーディオ出力
ピンジャック (CH-1、CH-2)、
-10 dBu (基準レベル)、47 kΩ
ヘッドホン出力
ステレオミニジャック (1)
i.LINK
IEEE 1394、4-pinピン (1)、HDVスト
リーム入出力、DVCAMストリーム出
力、S400
USB
USB Type-A (1)、USB Type-miniB
(1)
DC入力 (12 V)
DCジャック (12 V)
DC出力 (12 V)
UnReg (4ピン)、CBK-WA100専用
(1)

その他機能

ディスプレイ
3.5型カラー LCDモニター：960 (H)
×3 (RGB) × 540 (V)、16:9

付属品

USBケーブル (1)
赤外線リモコン (1)
バッテリーチャージャー／ACアダプター
BC-U1 (1)
ボタン電池 (バックアップ用CR2032) (1)
あらかじめ本機に装着されています。
ボタン電池 (リモコン用CR2025) (1)
あらかじめリモコンに装着されています。
ご使用になる前に (1)
ショルダーベルト (1)
サイドスペーサー (1)
CD-ROM (取扱説明書) (1)
保証書 (1)

別売りアクセサリ

バッテリーパック
BP-U30、BP-U60、BP-U90
バッテリーチャージャー／ACアダプター
BC-U1、BC-U2
SxSメモリーカード
SxS PRO+シリーズ
SxS PROシリーズ

SxS-1シリーズ
SxSメモリーカードUSBリーダー／ライター
SBAC-US20
メディアアダプター
QDA-EX1 (XQDメモリーカード用)
MEAD-SD02 (SDカード用)
USBワイヤレスLANモジュール
IFU-WLM3
ワイヤレスアダプター
CBK-WA100

仕様および外観は、改良のため予告なく変
更することがありますが、ご了承ください。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記
録されていることを確認してください。
本機や記録メディア、外部ストレージな
どを使用中、万一これらの不具合により
記録されなかった場合の記録内容の補償
については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行っ
てください。故障その他に伴う営業上の
機会損失等は保証期間中および保証期間
経過後にかかわらず、補償はいたしかね
ますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、ま
たは第三者からのいかなる請求につい
ても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレ
ージ等に記録されたデータの損失、修復、
複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービス
の停止、中断について、一切の責任を負
いかねます。

- XDCAM、SxS、SxS PRO、SxS-1、XQD、
i.LINK、、およびリモートコマンダーはソニー
株式会社の商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia
InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing
LLCの商標もしくは米国およびその他の国にお
ける登録商標です。
- ExpressCard®ワードマークとロゴは、Personal
Computer Memory Card International
Association (PCMCIA) の所有であり、ソニーへ
ライセンスされています。他のトレードマーク
およびトレード名称については、個々の所有者
に帰属します。

その他本機に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標、または商標です。

